平成29年度総会・懇親会のご案内

日　時：平成29年11月11日（土）午後1時30分～午後6時
会　場：大阪大学豊中キャンパス内　大阪大学会館
大阪府豊中市待兼山町1-13　TEL 06-6850-5977

豊中キャンパスへのアクセスマップ

大阪大学ウェブサイトより

■豊中キャンパスへのアクセス

○電車：
阪急電車宝塚線「石橋」駅
（特急・急行停車）下車
東へ徒歩15分（坂道です）

○モノレール：
大阪モノレール「柴原」駅下車
徒歩約15分（平坦です）

※自動車入構可能・キャンパス構内に駐車可能です（正門からお入りください）（懇親会でお酒を飲まれる方は、運転されないようにお願いいたします）

大学会館へのアクセスマップ

大阪大学ウェブサイトより

＜第Ⅰ部＞

●咲耶会総会：午後1時30分～午後2時30分
於2階講堂

●「咲耶出版大賞」授与式：午後2時30分～午後3時10分
於2階講堂
受賞者のスピーチ

●グリークラブOB合唱団演奏会：午後3時10分～午後3時40分
於2階講堂

●休憩（会場移動）：午後3時40分～午後4時

＜第Ⅱ部＞

●懇親会：午後4時～午後6時（於1階アセンブリーホール）
懇親会会費：5,000円（当日会場でいただきます）

※新卒業生会員（平成29年3月／9月卒業）・学生会員は無料です。
未加入の学生については、会費として、1,000円をいただきます。
※卒業後50年の会員には、記念品をプレゼントします。
多数のご出席をお待ちしています。

●参加ご希望の方は、同封のハガキにてお申し込みください。

＜お問い合わせ＞　咲耶会事務局　TEL & FAX：072-728-2327　E-mail：sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp

「おもてなしシニア隊」® 募集

年齢は背番号　人生に定年なし®

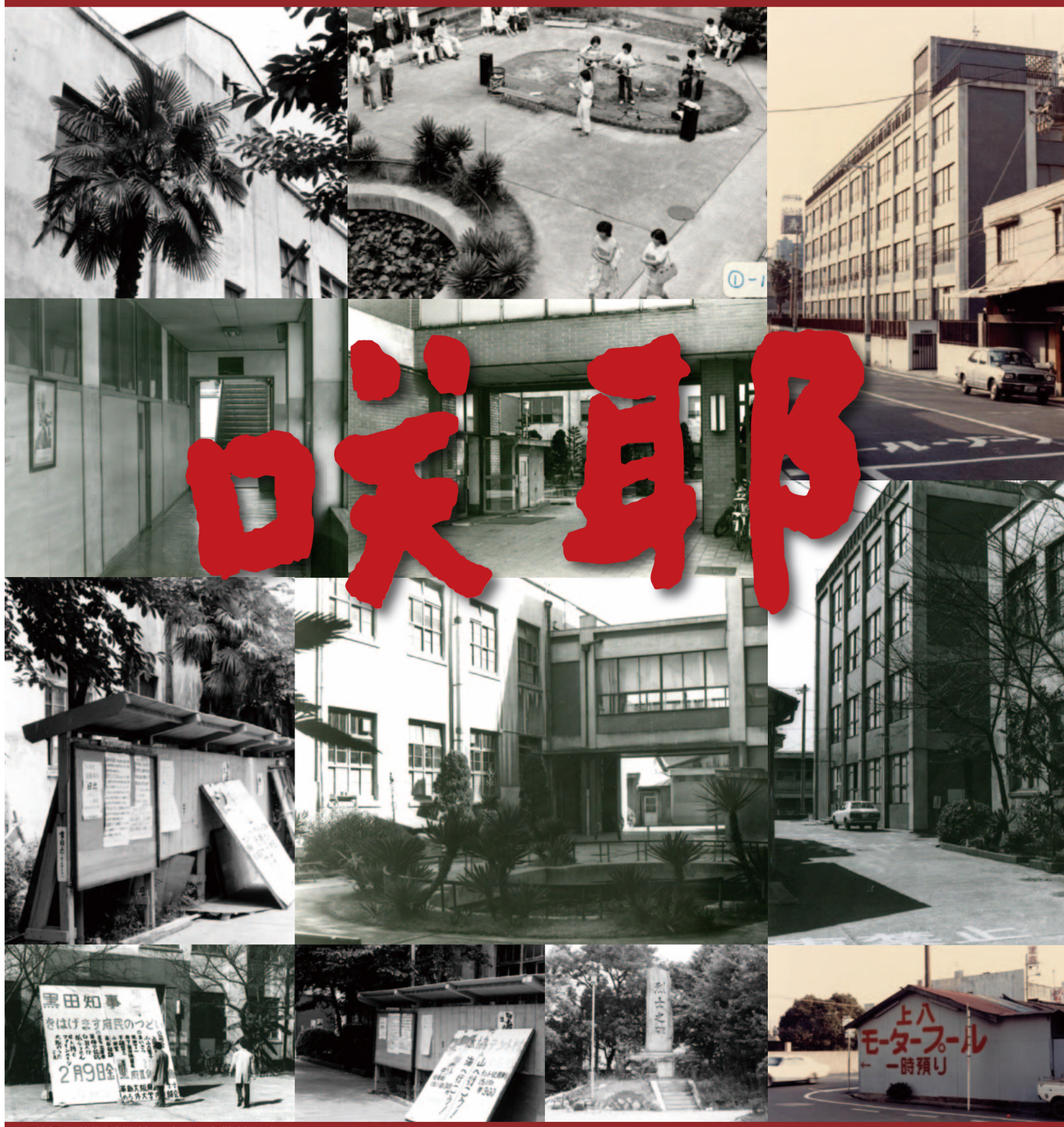
昔取った杵柄で、今までの海外経験と語学スキルを活かしてみませんか？
年齢・性別・居住地域は問いません
アテンドサービス、スポーツイベントの手伝い、語学研修の講師、
貿易事務など仕事の需要に応じて都度ご紹介いたします。

1990年に創業の、主にシニア人材を対象とした
人材派遣・人材紹介の会社です。

ME 高齢者会社
中小企業投資育成株式会社 設立投資第1号
株式会社 マイスター60

有料職業紹介事業許可番号 13-ユ-303702
労働者派遣事業許可番号　派 13-304122
http://www.mystar60.co.jp
TEL 03-6431-9362　（並木・井上）
TEL 06-6458-8620　（杉浦・三木）
お気軽にお問合せ下さい

裏表紙に『総会のご案内』があります。ぜひご覧ください



写真提供：笠井孝之様（大C25）・谷川毅様（大C31）

大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会
会報「咲耶」2017 No. 28

［**表紙のことば**］昭和24年（1949年）、新学制の施行によって「大学」となった時、上本町八丁目の学舎は、昭和20年（1945年）3月13日の大阪大空襲により大部分が焼失しており、授業は高槻の兵舎跡を借りて行われていたが、新校舎の建設や増築を経て、昭和54年（1979年）の箕面移転までの30年間「大阪外国語大学」はこの地にあった。最寄りの近鉄「上本町」駅前には戦後の闇市の雰囲気を色濃く残す商店街があり、学舎の周辺には民家の中に寺が点在する、まさに「市井の」大学であった。グラウンドらしいグラウンドがないため、運動部の多くは近鉄花園駅近くにあった「花園グラウンド」まで練習に行かねばならず、「キャンパス」という洒落た名前で呼ぶ気にならないような小さく古ぼけた学舎ではあったが、その狭さゆえに学生たちは不思議な愛着と連帯感を覚えていた。昭和44年（1969年）には念願の大学院も設置され、アカデミックな条件も整ってきた時代であったといえる。

目 次

2 会員の皆さまへ（会長 少徳敬雄）
ご挨拶（大阪大学総長 西尾章治郎）
ご挨拶（大阪大学外国語学部長 東 明彦）
3-4 平成29年度 大阪大学司馬遼太郎記念学術講演会
「デジタル世代におくる司馬遼太郎」
5-9 ［特集］母校は今 — 統合後10年
10 大阪外国語大学創立100周年及び学舎移転事業に係わるお願い
11-12 ［特集］留学体験記
13-14 私のキャリアレポート
15-19 CAMPUS NEWS
20 菜の花「菜の花」に寄せる
21-22 部活動の広場
23-26 咲耶会ニュース
平成28年度 決算報告・平成29年度 予算案
27-30 つどい
30-36 支部だより
37 懐かしの恩師は今
38-41 短信
41 物故者
42-44 年会費支払者・賛助金寄付者一覧
45 咲耶会（同窓会）本部・支部一覧表
46 平成28年度 咲耶会役員名簿
個人情報の取扱いについて
編集後記

学 士 会 をご存じですか？

学士会は旧七帝大（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・教員・学生からからなる、七大学総合同窓団体です。咲耶会の皆さまのご入会をお待ちしております！

学士会会員特典

1 『學士會会報』が届きます。

2 講演会・イベントへ参加できます。

3 「学士会館」会員優待があります。

他にも様々な活動が可能です。詳細は学士会公式サイトをご覧ください。
http://www.gakushikai.or.jp/

学士会案内が届く準会員（無料登録）制度もスタートしました

一般社団法人 学士会 〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28
03-3292-5933（平日9時～17時）

会員の皆さまへ

2017年度プライマリー・バランス達成のため、皆さまのさらなるご協力を！

会長
少徳敬雄

咲耶会会員、教職員の皆さまより、昨年1年賜りましたご協力・ご支援に感謝申し上げます。

咲耶会では、新規会員増と年会費制度の定着化に努力しておりますが、残念ながら新入会員獲得については、大学本部・学部の協力、合格・入学・卒業時のアピール、文書による直接の入会呼びかけをもってしても漸減は変わらず、平成29年度の入会者数は100人をやや上回る程度にとどまっております。入会制度については、入会金を含め、制度の抜本的な見直しが必要と思われます。

年会費制についてはGood Newsがあり、年会費納入者数が、前年度実績の1,222名から1,585名へとさらに増加して1,089,000円の増収。また、会報『咲耶』寄付者も、628名から812名、546,000円の増収となりました。これまで取り組んできた、年会費・賛助金のコンビニ支払いの採用、各支部組織の活性化、本部・支部の対話・連携強化、SNSなどによる情報発信が奏功し、年会費・賛助金制が根付いてきていると感じます。今後は、支払いのさらなる簡便化を図るとともに、特に本年度は、海外在住会員の方々からの支払いを容易にすることに挑戦したいと考えております。

現在まだ、先輩の遺産を切り崩して運営している状態ではありますが、平成28年度は、その切り崩し額が300万円にまで縮小しており、平成29年度にはプライマリー・バランスを達成できることが視野に入ってまいりました。

さて、来る2021年は、大阪大学の創立90周年、大阪外国語大学の創立100周年と、ダブル祝賀の年となるため、これにちなんでさまざまな事業・行事が企画されております。それに合わせ今後種々の寄付をお願いすることになりますが、より一層の同窓生の交流と後輩の育成、ならびに阪大の中での外国語学部の存在を輝けるものとするために、ぜひこの祝賀キャンペーンにご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

ご挨拶

大阪大学総長
西尾章治郎

大阪外国語大学が大阪大学と統合して、今年で10年になります。こうして節目の年を迎えることができましたこと、大変喜ばしく思います。

懐徳堂、適塾を源流とする大阪大学について、司馬遼太郎氏は、「政府がつくった大学ながら、私学だけが持ちうる校祖をもっている」大学と表現されています。そして、「大阪に国際人を育てる学校を」という林蝶子女史の篤志によって創設された大阪外国語大学も、極めて似通った成り立ちを持っています。これら二つの大学が統合したことには、必然性があったのかもしれません。

さて、東北から関東にかけて大きな揺れが襲った東日本大震災では、日本のみならず世界中にまで動揺が広がりました。その状況のなか、外国語学部の教員、学生の有志は、「いま、このくにで、なにがおこっているのか」を多言語で発信するボランティアを買って出ました。「需要があるのか」は関係ありませんでした。たった1人かもしれない不安におののく「その人」のために、必要と思われる情報を発信し続けたのです。そこには、林蝶子女史が求めた「国際人」の真の姿がありました。

統合により外国語学部を有する唯一の国立大学となった大阪大学は、その強みを活かした取組を進めています。今年、文系学部が中心となって取り組むマルチリンガル・エキスパート養成プログラムが、外国語学部と文系4学部との双方向の教育システムへと展開しました。例えば、外国語学部の学生が法律の専門教育を受けることも、経済学部の学生が専門語学教育を受けることも可能になりました。多言語に精通するとともに、専門的な学問の素養を備えた人材を育成すること。これは、私たちの悲願でもありました。

本学は、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、大阪の地で学んだ専門性を、世界で展開できる人材を輩出してまいります。世界へ羽ばたく学生へ、同窓生の皆様のあたたかいご協力、ご支援の眼差しを、引き続きお願い申し上げます。

ご挨拶

大阪大学言語文化研究科　教授・外国語学部長
咲耶会名誉会長
東　明彦

『咲耶』に最初の「ご挨拶」を書いてから早くも4年の月日が経ち、本年9月30日には外国語学部長の任期を終えることとなりました。この4年間、外国語学部の運営に多大のご支援を賜り、まことにありがとうございました。

今年は、2007年10月1日の大学統合から10年目の節目の年でもあり、その点でも感慨深いものがあります。この10年間、毎年600名前後の卒業生を送り出し、ほぼ同数の入学生を受け入れてきました。また毎年400名近くの学部学生を海外留学・研修に送り出しました。大学間・部局間の交流協定は順調に増加しており、海外大学と連携した外国語学部生用の研修プログラムも充実してきました。

大阪大学の講義の中に「大阪大学の歴史」というリレー講義があります。私もこの4年間「大阪大学外国語学部の歴史」を担当し、「大阪外国語学校から大阪大学外国語学部へ」の歴史を学生に講義してきました。1921年創設の大阪外国語学校が時代の要請に応じて大阪外事専門学校から大阪外国語大学となり、さらに統合により、日本の総合大学で唯一の外国語学部である大阪大学外国語学部となった歴史は、ある意味、「高度な外国語運用力と異文化理解能力を有した国際人」を養成するという教育理念を綿々と引き継いできた歴史でもあります。

いまから3年半後、2021年には、大阪外国語学校創設から100年目を迎えますが、同年に創立90周年を迎える大阪大学の周年行事の一環として、「大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年」の記念事業が盛大に執り行われる予定です。2021年4月には、それに合わせたかのように箕面新キャンパスへの移転が行われ、大阪市営地下鉄御堂筋線と相互直通運転を行っている北大阪急行電鉄の「箕面船場」（仮称）駅前に、最新のスマートキャンパスが誕生します。

咲耶会の会員の皆様には、引き続き、外国語学部へのご支援をお願い申し上げます。長い間、本当にありがとうございました。

平成29年度 大阪大学 司馬遼太郎記念学術講演会

主催：大阪大学
共催：産経新聞社
後援：司馬遼太郎記念財団
協賛：咲耶会（大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会）

テーマ：
「デジタル世代におくる司馬遼太郎」

【第１部】

講演「家族類型で読み解く司馬遼太郎」
明治大学教授・フランス文学者
鹿島　茂

ビブリオバトル
大阪大学の学生による、
司馬作品をテーマにした書評合戦

【第２部】

対談　鹿島　茂・落語家 桂　南光

司会：産経新聞大阪本社　編集委員　石野伸子
総合司会：NHK 金沢放送局キャスター　小川真由

鹿島　茂氏

6月17日、大阪市北区のサンケイホールブリーゼにて、恒例の司馬遼太郎記念学術講演会が催された。今年は「デジタル世代におくる司馬遼太郎」というテーマのもと、現役の阪大生が参加するイベント等、従来とは異なる趣向での開催となった。

はじめに明治大学教授でフランス文学者の鹿島茂氏が「家族類型で読み解く司馬遼太郎」と題する講演を行なった。鹿島氏によると、司馬は『この国のかたち』等において、日本の古層として、名田私有を軸とする関東の武士階級、そして西日本太平洋岸の総称である南海道の起源的核家族という、二つのルートがあると考えていた。著書『エマニュエル・トッドで読み解く世界史の真相』もある鹿島氏はトッドの家族制度論に依拠しつつ、家族類型を4つに分類する。

まず長子相続を原則とする権威主義的な《直系家族》であるが、これは司馬の言う関東武士の系譜に相当し、日本やドイツがその典型で、秩序と安定を好み、総じて教育熱心である。親子の同居と兄弟間の公平を基盤とする《共同体家族》は、絶対権威の下での平等を基盤とし、トッドが指摘するようにロシアや中国など20世紀に共産主義を体験した地域に多い。いっぽうトッドは核家族をも2つの類型に分ける。遺産の公平な分配を重視する《平等主義的核家族》は、自由と平等を共に重視する気風を育み、フランスなど南欧地域に多い。いっぽう自由を最大の基本的価値とする《絶対核家族》は、資本主義や男女同権志向と親和性を有し、イングランドや米国がその中心である。

鹿島氏は、関東武士の系譜が日本における直系家族という社会のあり方を形成してきたいっぽう、トッドが《アノミー的核家族》と呼ぶ起源的な核家族、すなわち東南アジア等に顕著な（子供の）自由と移動に対する（親側の）寛容と無関心を特徴とする家族のあり方が、西日本の南海道を中心に受け継がれてきたと指摘する。直系家族の権威主義や土地に縛り付けられた定住性とは異なり、アノミー的家族には自由で柔軟な精神性とフットワークの良さがある。

たとえば土佐藩出身の坂本龍馬は典型的なアノミー的家族の次男である。司馬は自由と冒険を愛する龍馬のような人間、すなわち南海道出身のリスクを引き受けることのできる自由人を個人的には好み、明治以降の近代日本は、関東武士的な直系家族のマインドと南海道的な自由人のマインドが合流して形成されてきたものと考えていた。南海道的な家族における息子は、早くに親の権威から離脱し、同じ年齢の若者たちと共住集団を形成して自治の気風を育む傾向にある。この種のいわば《若衆》的なグループの指導者だったのが西郷隆盛であり、こうした優秀な若衆組が一定数存在した藩を中心に明治維新は達成されたともいえる。しかし、動乱が終わり、明治政府が樹立された後は、日本古来の直系家族マインドが秩序を志向、冒険心に富むと言えば聞こえはいいが、ある種の危険要素でもあるアノミー的家族出身の若衆たちを排除した。日本最後の内戦、すなわち西南戦争とは、まさに直系家族がアノミー的家族の若衆集団を排除した戦争だったのだ。

司馬は、直系家族的による安定と南海道的な若衆による冒険の微妙なブレンドこそが、明治日本の飛躍的進歩を生み出したと考えていた。そして、軍部の若衆が統帥権を盾に日本の直系家族的基盤（政治）を乗っ取った昭和の戦争の時代に、激しい批判の眼差しを終生向け続けた。このような日本の人間関係の基盤にある二つの古層は、実は戦後の現代日本にも様々な形で受け継がれていると言える。たとえば大阪を中心とする西日本は南海道的な自由人が今なお多く、司馬の小説『俄―浪華遊侠伝』の明石屋万吉のごとき、にくめない愛嬌のある奴が多いのが現状であるが、いっぽうで、直系家族に特有の行動様式である規律に欠けるという側面もある。直系家族では構造体としての父親に権威を仮託し、実際の組織マネージメントは母親（かそれに類する陰の実力者）が仕切ることが多いが、現に日本の企業はそういう体制を基本としつつ、要所に南海道的で破天荒な人材を配した時がもっとも強いと言われる。司馬の指摘した「直系家族と南海道の微妙ブレンド」は今なお日本社会のひとつの理想モデルなのである。

チャンプ本に選ばれた、外国語学部・西畑宏紀さん
準チャンプ本に選ばれた、文学部・稲田紘子さん
ビブリオバトル出場者たち

講演に続いて、現役阪大生5名によるビブリオバトルが行なわれた。ビブリオバトルとは特定テーマで参加者が自由に選んだ本を5分で紹介、2分の質疑応答を経て、最後に観客が「もっとも読みたくなった本」を投票して勝敗を競うという、阪大に定着してすでに長い文化イベントである。当日は予選を勝ち残った5名が参加し、それぞれが選択した司馬の作品についてユニークかつ知的なスピーチを展開した。文学部の吉澤林助さんは『峠』の主人公の造形を熱く語った。同じく文学部の稲田紘子さんは『俄―浪華遊侠伝』の主人公の波乱万丈な生き方をユーモラスに語り、ちなみに本欄の報告者はこれがいちばん面白かったので、彼女に一票を投じた。経済学部の向井秋穂さんは『関ヶ原』を3度も読んでいると語り聴衆をうならせた。法学部の北田拓生さんは『燃えよ剣』の土方歳三への限りない共感を語った。最後に外国語学部・日本語専攻（専攻語・モンゴル語）の西畑宏紀さんが『空海の風景』について体験談も交えつつ説得力あるスピーチを行なった。投票の結果、司馬の遠い後輩にあたる西畑さんの紹介した『空海の風景』がチャンプ本（優勝）、稲田さんの『俄―浪華遊侠伝』が準チャンプ本（準優勝）を獲得した。会場に居合わせた人生の先輩たちからは、生きのいい若衆たちに対し惜しみない拍手が送られた。

対談の様子

最後に落語家の桂南光氏と鹿島氏による対談が行なわれた。南光氏はビブリオバトルでも取り上げられた『俄―浪華遊侠伝』の、鹿島氏は『燃えよ剣』のファンであるということで、鹿島氏の講演で扱われた南海道的な人間の話でしばし盛り上がる。その後は笑いをめぐる話や、生前の米朝師匠と司馬との関係、フランス的なユーモアの実情、枝雀の英語落語がどういう経緯で生まれたのか等々、二人の体験から滲み出てくる味わい深いエピソードが次々に披露され、聞いていて飽きることがなかった。

今回は現役学生が参加し、司馬の小説について様々な角度から語り、しかもそれが基調講演や対談内容と有機的にリンクする形で展開したという意味で、司馬記念講演会の名に恥じない充実した内容であったと言える。

（文責：松本健二）（写真提供：大阪大学広報・社学連携オフィス広報課）

統合後10年にあたって

元・大阪大学外国語学部長／
大阪大学名誉教授
杉本孝司（大E19/院E3）

私は3年前の2014年3月に大阪大学を定年退職致しました。従いましてこの3年間の外国語学部や大阪大学の内部事情はほとんど承知しておりません。その意味で「統合後10年」全体について語る資格はないのですが、最近話題の新キャンパスへの移転については、その性格は大幅に異なるとはいえ、2007年の統合時と重ね合わせて考えてしまうことが時々あります。中でも授業期間中の外国語学部教員のキャンパス間移動や学生のクラブ活動の場所確保の問題、キャンパスの駐車スペースや学生食堂の存続、更には付属図書館の今後などについては勝手にあれやこれやと思いを巡らせたりもしておりました。もちろんこれらも含め、今回の移転に伴う諸問題は、現外国語学部の構成員のみなさまが阪大執行部と連絡を密にされることにより、双方にとり納得のいく案に到達できるよう努力されていかれると堅く信じております。10年前の統合時とは異なり、今回は箕面キャンパスの移転、しかも敷地面積が大幅に異なるであろう場所への移転となるやに伺っております。1979年に大阪外国語大学が大阪市内の上本町八丁目から箕面へ移転した時は「より不便だがより広い場所へ」の「大移動」でしたが、今回は「より便利だがより狭い場所へ」の「中規模移動」ということにもなるのでしょうか。しかしことはそれほど単純ではないであろうことは想像に難くありません。10年前に深く関わる形で統合を経験したものとしましては、今現在移転問題に日々携わっておられる方々のご苦労に敬服致しますと同時に、皆様方のご努力によって学部・大学の双方にとって意義深いキャンパス移転とならんことを心から願っております。

移転を 3年半後に控え今後議論は更に煮詰まっていくことでしょう。そして私自身はその暁の空に光り輝く新生外国語学部を仰ぎ見ることを心待ちにしております。

変わったことと変わらないこと
―統合後10年を経て―

前・大阪大学外国語学部長／
大阪大学名誉教授
高階美行（大A19）

10年前の統合の日、同僚教員が「これからは臥薪嘗胆の5年だ、いや10年か」と述べたのを久し振りに思い出した。阪大との統合協議は数年に及び、その間に両大学間の歴史や学風に由来する発想の違いに苦しみ、私たちにとって自明なことへの理解を得るには主張と説明を続けなければならなかった。彼の言葉には実感があった。

臥薪嘗胆の現れ方は千差万別、専攻語や個人により様々であろうが、統合時の理念「総合大学の包括的な知の体系に参画して外大としての伝統を維持発展させつつ、人間の知の枠組みを広げる新たな次元への飛躍を目指す」（是永外大学長）から、10年を経過した外国語学部の今を考えてみた時、大枠としてこの理念は現実化しつつあるのではなかろうか。

阪大外国語学部で入学し卒業した学生たちが既に6期生にも及び、外大時代に卒業した同窓の先輩達と親しく交わり社会で活躍している姿を見聞すると、外大としての伝統（乱暴に言い換えれば、25専攻語の教育体制の保持）の維持発展は成功してきたとの思いを強くする。細かな指標により検証が必要であろうが、私が属していた専攻語ではこの6期生の中から3名が外務省に採用された事実は、往年の活力の再来を予感させる。

他方、大学内では専攻語教育に不可分の教員体制への理解が深まり、10年を経ずして微調整が合意されたとの報に接すると、冒頭に紹介した同僚の言の時期は通過しつつあると感じる。今後は、統合理念の後半部分への意識的努力が必須となろう。これには学部や研究科の枠を超えた人の交流や協働の仕組みが必要であり、個々の教員や学生諸氏の奮闘を祈念せざるを得ない。「新たな次元への飛躍」は私たちのモットー「言葉を究めて世界へはばたく」とも言葉が響き合う。その英語訳をもじり、関係者に送るエールとさせていただきたい：Let SFS be your wings to the new world!

建てよ　平和の旗

元・大阪大学外国語学部副学部長／
大阪大学名誉教授
南田みどり（大B18/院6）

統合から10年、退官から4年が経つ。わたしは、昨年度から週一回ビルマ文学の授業を持ち、今年度から引き続き5年間の科研の研究課題も抱えながら、キャンパスの片隅で外国語学部を見守る日々を過ごしている。

そんなおりしも、統合のメリットや課題や成果について咲耶会からお尋ねがあった。いまのわたしの念頭には、『大阪大学外国語学部の歴史（1992年9月～2013年11月）』（2014）巻頭で述べた以上のものはない。そこでは、1993年の改組、1997年の研究科（博士課程）発足、2004年の法人化、2007年の統合、2012年の世界言語研究センターと言語文化研究科の統合による言語社会専攻の再編拡大や、日本語・日本文化専攻の発足などで、この20余年が激震の連続のうちに過ぎ、その中で、「外国の言語及びそれを基底とする文化一般についての理論及び実際にわたって教授研究し」ながら、「国際的な活動をするために必要な広い知識及び高い教養を与え」、「言語を通じて外国に関する深い理解を有する優位な人材」として学生を育てることに努めたと述べている。

文系冬の時代の到来も囁かれるいま、またもや激震に見舞われぬ保障はない。「大学は、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探求して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより社会の発展に寄与するものとする」という教育基本法第二章第七条を銘肝して、外国語学部も輝き続けてほしい。

学生たちには、大阪外国語大学学歌の一節の「建てよ　平和の旗」という言葉を送りたい。世界に羽ばたくだけでなく、ひとりひとりが行く先々に平和の旗を建てていく。そのような行動が、いまほど必要とされるときはないのだから。

なぜ大阪外大は統合されなければならなかったのか
―知っておくべき2大要因―

山瀬靖弘（大SH56）

卒業まであと半年という段階で、大阪外国語大学は統合されました。当時の私は学生協議会の副代表であり、統合による学生側の不利益に対する予防と対策を、大学側に求めていました。また、統合の背景も調べ、外大生や学生新聞の記者らにも話しました。

私の調査では、統合の背景に「小泉元総理の聖域なき構造改革」と「医薬業界の活性化」の2大要因があると考えています。

「小泉元総理の聖域なき構造改革」は、2001年に発表され、国立大学の再編・統合を大胆に進め、民間的な経営手法を導入して歳出削減を行う、というものです。各大学は、大学改革プランを作って文科省に出さなければならなかったのですが、文科省が気に入るプランしか受け取らず、一方で実行の責任を各大学に押し付ける、というようなことをやっていたのです。

「医薬業界の活性化」については、バイオサイエンスと、海外製薬企業との合併等が主な背景です。1999年、当時の文部省が、バイオサイエンスに関わる人材育成に大学の再編成を含めた組織の検討が必要であると発表し、また2005年には、外大の隣の彩都に、政府が外大の年間予算11年分の費用をかけ、バイオ関連の研究施設を作りました。さらに、統合した2007年前後に、日系製薬企業の多数の特許切れによる収入減対策として、欧米系製薬会社との企業合併等が増えました。これにより、英語を中心とした語学力の高い人材が多数必要となりました。阪大が設立時から現在まで医薬業界と強い関係があることを考えると、統合で阪大が大阪外大の語学（特に英語）が堪能な人材を確保できれば、医薬業界に人材を輩出することがより容易になるのです。

このように考えると、歳出削減と医薬業界の利益優先のため、文科省や医薬業界らが動いて大阪外大が統合された、と考えることができます。こうした背景は統合前の外大生には知らされず、大学や文科省の説明に、私は今も疑念を抱いたままです。

外大の校風　専攻地域への愛着

福山泰海（大 H59）

私は2006年4月に大阪外国語大学に入学し、翌年2008年インド留学後、大阪大学との統合を経て、2011年3月に大阪大学外国語学部を卒業しました。

私にとって統合による変化は学生の専攻地域に対する愛着心の変化でした。外大は単科大学という性格上、医大や芸大と同様、専攻科目＝専攻言語を勉強するために日本全国から学生が集まっていました。専攻地域への愛着は地元から出て来たときの初心であり、先輩から受継いだ校風でした。

在学中、私がその「専攻地域への愛着心」を最も感じたのは語劇でした。（当時、秋の「間谷祭」以外でも各国の在日外国人クラブや総領事館などで語劇が一般公演されていました。）語劇では、関係者全員が30分ほどある台本を全て専攻言語で暗記し、音響・照明・服飾等も合わせて演技・演出します。先生のご指導のもと、台本の完成度や劇団員の一致団結が問われます。私は俗に言う「地獄のヒンディー」と言われている厳しい専攻語だったので、授業の予習・復習だけでも大変なのに、今思うととても「もの好き」じゃないと出来ないと思います。

さらに、語劇として成功するためには観客の存在が不可欠でした。総領事館や商工会議所、歴代の語劇団団長が印僑や卒業生に声掛けしてくれたおかげで、人が集まりました。これもひとえに毎年語劇を楽しみにしてくれている卒業生や在日インド人のご尽力のおかげで、外大時代は、こうした言語愛を軸とした人と人との繋がりが非常に濃密でした。

後進の皆様、大阪外大は、統合して総合大学の大阪大学になることで、よりジェネラルに才能ある方が多く入学し、地域のエリート集団となっていると思います。新生大阪大学の校訓どおり「地域に生き世界に伸びる」一方で、皆さんの今勉強している言語・地域に関する愛着心や誇りを忘れないでください。統合をチャンスに、真に「地域に生き世界に伸びる」学校になって欲しいと思います。

◀語劇で熱演中

無題に近いＴの徒然

礒永恋妃（阪大 A1）

大学時代と言えば、「アラビア語専攻の諸君に楽しい学生生活はない！学生生活のすべてをアッラーに捧げるつもりで勉学に励みなさい。そうすればアラビア語も君たちに微笑んでくれるでしょう。はっはっは！」と言い放たれた、T先生の爽やかな笑顔をいつも思い出す。（そんな先生が好きですよ。）

当初はとんでもない場所に来てしまった……と震えたものの、キラキラとした学生生活を楽しむような性質ではなかったからか、大学生活は大変楽しいものだった。分厚い辞書と教科書を担ぎ、一人でネチネチと言葉にこだわって、図書館で本を読み漁る。なんて贅沢！そんな私にアラビア語が微笑んでくれていたのかは、今となっては神のみぞ知るけれど。

ちなみに単独で行動していると、宗教勧誘者がどこからともなく湧いて出るが、「私の学生生活はアッラーに捧げているので（訳：勉強で忙しいので）」と真顔で言うと、彼らは謝罪までして、すぐに去ってくれた。

さて、個人の思い出はここまでにして、ちょっと真面目な話をひとつ。

大学では「T字型の知識を持ちなさい」とよく指導された。専門知識を深め、その他の知識を浅くても良いので広く持ちなさい、という意味だ。大切な心得だと思うが、これからの時代は、それだけでは不十分だと在学中から感じている。これから生きていくうえでは、Tの字にもう一本足が、日本についての知識が必要だ。

日本のことを知らなければ、外国と日本の何が違い、何が同じなのかを見極められない。そうなると、外国に対して変な劣等感や優越感を抱き始めてしまう。日本について説明できなければ、日本の本当の姿を伝えられない。間違った知識は、いつかレッテルになって私たちの所に戻って来る。

国際化（＝均質化）が進む世界で、自国についてのしっかりとした知識は、思わぬ形で武器や守りになってくれる。私たちはもちろん、外国語学部で学んでいる人たちは特に、大切にしなければならない。

外国語学部というチャンス

留学中に大使館で開催した講演会にて

尾崎圭朗
（阪大 C5）

「外国語学部」に求められるもの、それは、語学研究の底にあるべき精神、世界にチャレンジする精神だと思います。大阪外国語学校が誕生して以来、大阪大学外国語学部となった現在まで、この精神はつねに先輩方の間で受け継がれてきました。

世界へチャレンジしようという学生に向けて、本学は、留学への多くのチャンスを用意してくれています。私自身は、在学中に約１年間、中国の北京大学に、交換留学生として留学させていただきました。

留学中、私は、留学中でなければできないことにチャレンジすべきだ、ということを強く意識していました。いろいろな活動にトライしましたが、中でも心に残っているのは、「世代の垣根を越えた日中交流イベント」を行う団体を立ち上げて、活動を展開したことです。この団体は、たとえば北京の日本大使館で日本と中国の文化比較講演会を開催したり、大学の一室を借り受けて、現地で働く日本人や中国の企業人らとの交流会を催したり、というような活動を行いました。

現地での経験は、それまで自分が抱いていた中国、あるいは中国人に対する漠然としたイメージを根底から変えることになりました。将来確実に中国の指導的な立場につく北京大学生をはじめ、現代中国のさまざまな分野のさまざまな世代と接することによって、日本がアジアの国々からどう捉えられているのかをリアルに感じることができたのです。

中国の実情を目にし、現代中国人と直接交流して具体的な中国観を持つことができたことが、社会人となった今、自分の大きな財産となっていることを痛切に感じています。

日本を海外から見つめなおすチャンスを得ることができたのは、外国語学部ならではのことだったと思います。思いもよらないチャンスが待っていて、世界への一歩を踏み出そうとする学生の背中を、強く押してくれる場所、それが外国語学部です。ここで得るものは間違いなく一生ものだと感じています。

大学での学びを通して

竹下友貴
（阪大 M6／現・大阪大学人間科学研究科 M1）

2013年4月にモンゴル語専攻に入学しました。憧れの外語に入ることができた嬉しさを、いまでもよく覚えています。まず初めに、モンゴルにはキリル文字とウイグル式モンゴル文字の2種類があることを知りました。特に後者の方は単語を暗記することが大変だったので、試験前にはクラスメイトと集まって語呂合わせを作って覚えました。そのなかで、「干しブドウ」という単語がリストにありました。私たちは「この単語を覚えて意味があるのだろうか」と思いました。ところが、3年生の時ウランバートルのレストランに行くと「干しブドウ」ジュースは主要な飲み物の一つだということを知りました。しかも大変美味だったので、覚えていてよかった…と思いました。

学外では日米学生会議に参加しました。モンゴルの地政学的な役割に興味があったので、安全保障分科会に所属して活動しました。あるとき、誰かが「Mongol…cold war」と言いました。米国人にとってモンゴルはいわば敵国の兄弟国だったのです。広い草原と遊牧民というノスタルジックな気持ちを引き起こす憧憬の対象ではないということでした。視点を変えることは、難しいけれど面白い試みでもあると思いました。

卒業論文では「遊牧民の教育」について書きました。先行研究を読み進める中で、異文化理解の手助けとなるような学問を勉強したいと思うようになりました。文化人類学の様々な主義思想について勉強し、大学院入試を受験しました。現在は大阪大学人間科学研究科の人類学教室に所属しています。ゼミではレヴィ＝ストロースの『野生の思考』やスティーブン・ピンカーの『暴力の人類史』、エヴァンス・プリチャードの『ヌアー族』など多くの文献にあたっています。予習は大変ですが、充実した毎日を送っております。

外国語学部の素晴らしい環境で4年間過ごせたことを今でも誇りに思っています。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

キャンパス移転に際して

桂　元東
（大阪大学　外国語学部
ロシア語専攻4年）

大阪大学外国語学部での四年目も夏に突入し、なんだか寂しく感じる。このキャンパスがもうじきになくなる、と考えるととても複雑な心境になるのだ。

私は一回生の夏から、箕面キャンパス内に住み始めた。キャンパス北部にある学生寮の一室で、もう三年も住んでいた。多くの外語生よりはずっと長い時間このキャンパスとともに過ごしてきた。このキャンパスの春夏秋冬の姿をよく知っている。春は新入生や新二回生の到来で賑わい、夏は部活動で暑い空気に活力を与え、秋は学生が穏やかな語劇の練習で外国語学部らしさを知らせ、冬は年度末に備え勉学に勤しむ人々がキャンパスを巡る…そしていつも楽しそうに会話しながらキャンパス内を闊歩する外語生、優しい先生方、多くの国から訪れた留学生…食堂で、「ちかだん」で、世界時計前で、間谷住宅前のバス停で、夏まつりで、語劇祭で、そして海外留学で学生生活を謳歌している外語生がこのキャンパスをより色鮮やかに染めている。

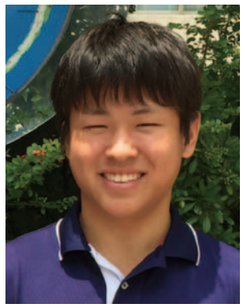
このような光景はもう見れないと思うと、やっぱりすこし悲しくなる。でもきっと、新しいキャンパスでも大阪外国語大学時代から培ってきた良き文化を継承し、そして独自な、新たな色を世界に見せてくれるだろう。私は今の箕面キャンパスが大好きだ。でも確かに不便なことが多い。それを解決し、大阪大学外国語学部をより魅力的にできるのであれば、これ以上の喜びはないだろう。いつか私もそのキャンパスに訪れてみたいと思う。そこは未知の場所であるかもしれないが、「外国語学部らしさ」はきっと似ていると思う。そしてワクワクしながらキャンパスを歩き回り、自分の学生時代を思い出せたら嬉しい。

この文章を書き始めて、そうだ自分はもう卒業してしまうのかと改めて実感した。長いようで短かった、大変そうで楽しかった大学生活がいよいよ幕を閉じてしまう。ここでの四年間は一生の宝物だ。母校が楽しい、素晴らしい思い出を与えてくれたように、母校のこれからの繁栄を祈る。

外国語学部で学ぶ

栗林利佳
（大阪大学　外国語学部
デンマーク語専攻2年）

二回生になってキャンパスが移り、世界各国の様々な歴史や文学、社会制度を学ぶ授業が増え、より一層外国語学部らしい生活となりました。私がデンマーク語の勉強をしていて一番強く感じるのが、言語というものの奥深さです。デンマークはアンデルセンの国ということもあり文学作品を読んで訳すという作業が多いのですが、表現が非常に難しく、しばしば文脈から意訳をしなければなりません。その時に気付いたのが、その文学作品が書かれた時代背景やデンマークの国風、歴史、デンマーク人の習慣や考えを理解していないと、正しい訳を見出すのが難しいということです。一見規則で成り立っているように思える言語ですが、深く学ぶとそれには各国の様々な情報が詰め込まれている事が分かり、それを一つずつ習得していくのが語学の楽しさであると共に醍醐味であると私は思います。



長崎健人
（大阪大学　外国語学部
デンマーク語専攻2年）

デンマーク語専攻を一言で表せと言われたら、私は間違いなく“hygge”という単語を選ぶだろう。この単語はデンマーク語独特の表現として欧米を中心にブームが起きた「まったり心落ち着く」と言ったニュアンスを含む言葉である。この言葉のもつ絶妙な雰囲気を、デンマーク語を通じてデンマーク文化や北欧のシステムを学ぶ私たちも共有しているのだ。私たちの学年は、デンマーク語専攻が誕生して50年の中でも、近年には珍しいほど男子学生が多い学年で、例年数人程度の男子がおおよそ半数もいる。しかし決して男子と女子が分かれることもなく、皆で協力して日々の授業や学祭などの行事を乗り越え、1つのまとまった“hygge”な空気感を作り出しているのだ。秋には語劇が控えている。今年はアンデルセンの代表作『雪の女王』を原作としたディズニーの大ヒット映画『アナと雪の女王』を演じる予定だ。会場で私たちの奏でる“hygge”な雰囲気を感じてもらえるように練習に励みたい。

大阪外国語大学創立100周年及び学舎移転事業に係わるお願い

2021年、母校はそのルーツである大阪外国語学校の創設から100周年を迎えます。同年、大阪大学が創立90周年を迎えることから、二つの記念事業計画が並行して進められています。外国語学部にとって、100周年は、過去の歴史を振り返り、先人から受け継いだ有形・無形の遺産を次世代に伝え、未来への発展につないでいく大きな節目となります。

また、奇しくも2021年には学舎が現在地から箕面市船場地区へ移転する計画が進行中で、2018年4月の着工に向けて現在「基本計画」の策定が進んでいます。新学舎は、北大阪急行線（地下鉄御堂筋線）延伸による新駅（仮称：箕面船場駅）に隣接する「都市型キャンパス」として利便性にすぐれ、外国語教育及び外国研究（Foreign Studies）の拠点として、また留学生に対する日本語・日本文化教育の拠点として最適の立地であり、豊中、吹田両キャンパスとの往来の便利さという観点からも、教育・研究活動の活性化、学生にとっての利便性の向上が期待されています。

現在、予定されている主要な記念事業は右記のとおりです。母校の発展のため、皆様のご理解とご支援を賜りたく、何とぞよろしくお願い申し上げます。

なお、この事業に対する募金活動等の趣意書については、今秋に公表の予定です。

咲耶会会長　少德敬雄　　外国語学部長　東　明彦

箕面新キャンパスとその周辺施設のイメージ図

【記念事業・記念誌関係】

○箕面新キャンパス竣工内覧会、記念式典、シンポジウム等の開催（2021年3月～4月を予定）
○大阪外国語大学創立100周年記念式典・講演会・祝賀会等の開催（2021年11月を予定）
○『大阪外国語大学100年史の刊行』（2021年を予定）

この他、語劇祭をはじめとする学生イベント等を実施します。

【募金活動】

○募金活動の期間は、2017年10月～2022年3月の予定
募金の目標額は大阪大学全体で、総額35億円（「大阪大学90周年関係」が33億円、「大阪外国語大学創立100周年関係」が2億円）「大阪外国語大学創立100周年関係」の募金により、「大阪外国語大学記念ホール」（箕面新キャンパス教育・研究棟1階に設置予定）の整備や記念事業の実施、記念誌の発行等が行われる予定です。

資料・写真等ご提供のお願い

2021年の大阪外国語学校創設100年、また学舎移転を控え、咲耶会では、大阪外国語学校以来の写真・資料（学校刊行物、語科誌、サークル誌、学祭パンフレットetc.）を収集・保管し、母校・同窓生の歴史を後世に伝えたいと考えております。

つきましては、お手元にある学生時代の写真・資料類をご提供いただきますよう、お願いいたします。学校行事はもちろん、日常のスナップ、あるいは、授業のノートなどどんなものでも結構です。また、お友達で残念ながら鬼籍に入られた方がおられましたら、その遺品の中にそのようなものがなかったかどうか、ご遺族にお尋ねいただければ有難く存じます。「古いしボロボロだし、もう捨てよう」と思われる前に、ぜひ咲耶会にご提供ください！

（お手元に残したいものは、データ化した後必ずお返しします）。

［特　集］ 留学体験記 ― ❶

インドネシアはバリ島へ。伝統舞踊を学びに。

田中千晶
（大 IN38）

バリ舞踊家。バリ舞踊プルナマ・サリ主宰。大阪を拠点に各地で出演、企画多数。2017年4月「天女 ～王の見た夢 マエストロ Ni Ketut Ariniを迎えて」(共催：インドネシア総領事館、大阪府)、2015年9月「彼方より～国宝イブ・アリニを迎えて」自主公演。

劇的な出会いを期待されますが、バリ舞踊との出会いはテレビ、という単純なものでした。大学受験のその時に、バリ舞踊団の来日ツアー公演をテレビで見、インドネシア語学科を選んだのです。入学後は学外の教室でバリ舞踊を学びました。卒業後、総合商社に就職。踊りはあくまで趣味で続けていましたが、入社後3年を過ぎようとした頃、転機が訪れました。当時西日本で唯一バリ舞踊を学ぶことが出来たその教室が閉じられることになったのです。ここで火が消えてしまうのは惜しいとの想いから、悩んだ末、インドネシア共和国教育文化省奨学金制度に申し込みました。合格通知を受け取ったことで、人生の舵を切る決心を付け、会社を辞め93年の秋バリ島へ。

バリでの初舞台。ペジェン村プナタラン・サシ寺院の開基祭にて。

STSI Denpasar（インドネシア国立デンパサール芸術大学）の舞踊科に1年間、聴講生として席を置き、毎日、踊りの先生のお宅にプライベートレッスンに通いました。華麗で神秘的なバリ舞踊。日舞やクラシックバレエにも並ぶ高い芸術性を持つバリ島の伝統舞踊。いくら頑張ったところで、バリ人のように踊れるようにはならないだろう、という諦めの気持ちも半ば、慣れない熱帯気候の下、洗濯機も、電話も、まともな公共交通機関も、温かいシャワーもない中、一体どれほどのものを身に付けて帰られるだろうかと、日々焦りながら、追われるように、がむしゃらに頑張り続けました。

開基祭中の寺院境内にて。カラフルなお供え物の前で。

鑑賞用の踊りを勉強に行ったわけですが、その精神性を理解するために、そのルーツとなるバリ・ヒンズー教の儀礼や祭礼の中で踊られる神聖な舞踊に触れること、バリの人々の日々祈る生活の中で暮らすことはやはり必須でした。地縁、血縁の密接な結びつきの中、日々執り行われる儀礼、祭礼。何に向かって人は踊りを捧げているのか。トランスになって踊る人に宿っているのは何なのか。バリでは命もはかなく、いつもすぐそこに死が控えている...。 踊りを媒介に目には見えない存在を感じることができる。それは鑑賞用の踊りであっても。踊り手の存在はなくなり、踊りだけがそこにある。目には見えない何かが確かにある...。

バリでの私の初舞台は、ペジェンという村の月にまつわる伝説を持つお寺での奉納でした。夜中の12時を過ぎて奉納を終え、空を見上げると満月。95年に帰国するとすぐに地元、豊中でバリ舞踊教室を立ち上げました。「満月のエッセンス」を意味する「プルナマ・サリ」と言う名は、お世話になったホームステイ先の奥さんの名前でもあります。お陰様で今年22周年を迎えることが出来ました。

踊りを学び始め30年。この春、長年夢に描いてきた公演を実現することがきました。人間国宝にも値する師、ニ・クトゥッ・アリニ先生をバリ島から大阪にお迎えし、30分にも及ぶ古典の大曲を踊って頂き、その相方を務めさせて頂きました。多くの人に助けられての30年。感謝の気持ちを胸に、これからも魅せられて止まないバリ舞踊の魅力をコツコツと発信し続けていきたいと思います。

2017年4月バリ舞踊公演「天女」にて師Ni Ketut Ariniの相方を務める。

［特　集］ 留学体験記 ― ❷

心のふるさと

山野井　茜
（大 HG60／院前期・言社）

2007年大阪外国語大学入学。2009年 9月～2010年 7月、ハンガリー政府奨学生としてハンガリー国立デブレツェン大学留学。大阪大学大学院言語文化研究科前期博士課程修了後、2014年～2016年、在ハンガリー日本国大使館専門調査員。現在は日系コンサルティング会社に勤務。

私が留学していたのはハンガリーの首都ブダペストではなく、第二の都市といわれる北東部にあるデブレツェンという街でした。ハンガリーはブダペストのみがいわゆる大都会であって、デブレツェンは、第二の都市といってもいくつかある人口20万人程度の地方都市のひとつでしたが、鉄道駅から中心街に真っ直ぐ続くトラム、そこを抜けて森に入り、その先に1930年代に建てられた荘厳な大学が見えてくる、という素敵な街でした。

留学していたデブレツェン大学

落葉したイチョウで黄緑色に染まるキャンパス、常に薄曇りで午後3時には日が落ちてしまうけど、しんと冷えて身が引き締まる冬、通学路のあちこちで咲き誇る花々、季節の移り変わりの全てが美しく、私の心を捉えてやみませんでした。特に夏のどこまでも透き通るように青く高い空を見た時には帰りたくない、と思ったことを覚えています。

辛い思いをしていた時に助けてくれたハンガリー人の2人の友人は留学途中からルームメイトとなり、一緒に楽しい思い出を作ってくれました。自分のことよりもまず他人を心配してくれる彼女たちの深い思いやりは、その後の私の行動規範を大きく変えました。私も異なる環境で困っている人にはとにかく救いの手を差し伸べようと思うようになったのです。

留学中は、ハンガリー語の勉強の他にも私がハンガリーに興味を持つきっかけを与えてくれた合唱団の練習に、毎週末参加しに行ったり、友人の実家に刺繍を習いに行ったり、とにかく自分の思うままに行動していました。生のハンガリー語に触れることで、大学の教室だけで学んでいた言語が徐々に自分のものになっていくのは大きな喜びでした。過去の日記に「ハンガリーでは生きているという実感がある」、とありました。人の顔を伺うことが癖になっていた自分にとって、ハンガリーはありのままで過ごすことができる場所で、いつのまにか第二の故郷になっていました。

留学から4年後の2014年、今度は日本大使館の専門調査員という仕事でハンガリーに戻ってきました。仕事内容は主にハンガリーの政治情勢のフォローで、日本とハンガリーの架け橋の最前線で働けたことは大きな宝物となりました。初めての仕事で楽なことばかりではなかったのですが、思い返してみると不思議と楽しかったことしか思い出せません。私にとってハンガリーはそういう力があるのかもしれません。

2年の任期を終え、今はハンガリーとは全く関係のない仕事をしています。私にはハンガリーの知識しかなく、もっと社会勉強をしたいと思い選んだ道でした。自分の知識の無さを嘆きつつも、毎日が勉強で刺激的な日々を過ごしています。折に触れてハンガリーの風景を思い出し、懐かしくなることがありますが、今のこの修行期間を経て、いつかまたハンガリーと自分を結びつけたいと考えています。

誰もが心の中に大切なものがあって、それを拠り所として困難も乗り越えているのだと思います。私にとっての心の拠り所はハンガリーなのでしょう。思い返してみると、そのきっかけはあの時の留学生活で、留学生活が私の心を豊かにしてくれ、また、ここまで今の自分を導いてくれたのだと思います。

ハンガリー語コースの受講生と先生と一緒に

公認会計士の道を進んで

1級ファイナンシャルプランニング技能士・公認会計士・税理士
亀井廉幸（大S19）

私は昭和62年から咲耶会の会計監査を仰せつかり、丁度30年を機にその任を辞することに致しました。その間、「遣い込み」事故もなく本日に至り、ホッとしています。

30年間に亘る同窓の皆様のご協力に、心から感謝しております。

米国ETFの調査で行ったＮＹ公共図書館にて 2014年5月

昭和42年の2回生のある日、外大の友人に誘われ、突然海外行きを決めました。それからの1年間は、昼間は電話帳の配達、夕方から家庭教師、夜は小学校の夜警と3つのアルバイトを掛け持ちして金を稼ぎました。小田実氏の「何でも見てやろう」という若者の海外雄飛に触発された2人は、シベリア回りでヨーロッパに向かいました。1ドルが360円の時代で、元より金の無かった私は、500ドルのT/Cと2万円を懐に入れ、モスクワまでの片道切符を握りしめて、横浜から船に乗りました。それは3月初めのことでした。

コペンハーゲンの王室御用達のレストランなどで合計5か月間働き、約50万円の金を握ってマドリード大学の外国人クラスに飛び込んだのが10月初めでした。途中ヒッチハイクの際に公認会計士の車に乗せてもらいましたが、私が「公認会計士の仕事は如何ですか?」と訊ねたところ、「まあ、良いんじゃない?」という返事が返ってきました。それより前に、外大卒の先輩が会計士試験に合格したという話を聞いていましたから、「帰ったら会計士試験を受けてみようか」と思ったのが、今の職業への入り口でした。3か月間のスペイン語漬け生活の後、英国行きの船中で知り合った米国人と同居して、新聞を題材に、1か月間毎日ディスカッションをして、英語力を鍛えました。翌年2月の初めにロンドンを発った私は、陸伝いにカルカッタへ辿り着きました。トルコ辺りからは刃渡り20㎝程のナイフを腰からぶら下げていましたが、幸運にもそれを使うことはありませんでした。

4月上旬に神戸に上陸し、直ちに3回生に復学しましたが、幸運?にも学生運動真っ只中です。神戸上陸まで残しておいた5万円の金を握りしめ、会計士の先輩を東京に訪ね、「どの本を買い、どのように勉強したら良いのか」を教えてもらい、翌日大阪で一挙に30冊前後の本を買って勉強を始めましたが、手持ち資金は零になっていました。簿記の3級から始め、2次試験の7科目は全て独学でした。当時あったのは関大天六学舎の日曜答案練習会だけでした。70人中の35番位からスタートし、1年後の卒業間近の時期には5番になっていました。

私の受験生活に組み込まれていたのは、①電話帳の配達という適度な運動兼 ②小遣い稼ぎ ③週1回の喫茶店での漫画の乱読 ④受験仲間2名(中国語)との情報交換 ⑤答案練習会の順位確認という5つのタスクでしたが、中でも③は高さ50㎝程の漫画を必死で読み続けるため、店から出た途端めまいを起こすほどで、集中力を高めるのに役立ち、また受験生活の緊張の中に大きな緩和をもたらしていたようにも思います。①の電話帳のアルバイトは、私が他大学から奪ってきたもので、私のお陰で学生生活をエンジョイできた生徒も10人や20人はいるでしょう。とにかく50年前で1日働けば5千円ほどになったのですから。

幸運が重なって、卒業した年の7月の会計士2次試験に受かりました。世界最大のプライス・ウォーターハウス会計事務所に入り、その後日系監査法人に移り、外国向け連結財務諸表の作成やその指導に当たり、また上場指導業務を行う中で、遣い込みを見つけたこともあります。昭和58年に個人事務所を開業し、一時は上海にも事務所を開設していました。今でも酒が入れば4か国語をチャンポンで喋れます。

私の上海事務所でアルバイトをしていた学生達は優秀で、大半が卒業時にはダブル学位を取得していました。外国語専門でも他に専門分野を持てば強力です。外資系の事務所の会計士なら海外勤務や国際機関勤務の機会も有るでしょう。私の小学生時代からの友人は神学部卒でしたが、私の後を追い、片道切符でスウェーデンに行き、言葉も判らないのに10年後には医者になっています。自分の未来を開くために、結構無茶なことに挑戦しているのです。

若い人達は外国語に加え、自らの理想像を掲げて、興味ある他分野の勉強も始められては如何でしょうか?

全ては「上がり」の際に、「色々あったけど、面白い人生だったなあ」と思えるかどうかなのです。

略歴

昭和46年	大阪外国語大学 イスパニア語学科 卒業
〃	会計士 2次試験合格
〃	プライス・ウォーターハウス会計事務所 入社
昭和49年	監査法人中央会計事務所 入社
昭和51・52年	公認会計士・税理士登録
昭和58年	亀井公認会計士事務所 開設
平成17年	上海にコンサルティング会社を設立し、中国の会計・税務業務開始
平成27年	1級ファイナンシャル・プランニング技能士試験合格

「グローバルな環境に憧れて」

久我勇人（大B57）

2009年3月に大学を卒業し、約8年の月日が経ちました。今の私は日本のグーグルの営業職として働いています。新卒の頃からこの会社に在籍しているのではなく、既に3社目となります。昨今、転職も徐々に一般的にはなってきているかと思いますが、この期間での転職回数としては多い方かもしれません。今に至るまでを一度簡単に振り返ってみたいと思います。

元々、大学には英語以外にも様々な語学を学んでみたいという思いから入学しました。専攻であるビルマ語や英語以外にイタリア語・リトアニア語・トクピシン語など様々な言語に手を出しました。大学3年時には休学し、イギリスのWolverhampton大学に自費での交換留学をしました。

元Googlerのリトアニアの友人。私の結婚式に出席の為、来日した際、Google東京オフィスにて。

留学帰国時には海外で働きたいという気持ちが醸成され、メーカー・商社を片っ端から受け、見事に全て落ちました。結局、ロンドンで開催されたロンドンキャリアフォーラムで内定を貰ったディスコ社に入社しました。同社は採用・教育広報支援という事業を行っており、ここで1年東京本社、3年は地元福岡の西部支社で営業として働きました。そして徐々にセールスとしてお客様の立場で考えるよう意識をすることである程度の活躍ができるようになった頃、地元福岡は好きでしたが、やっぱりもう一度グローバルな環境で働きたいなという思いが再燃しました。その思いが強くなり、退職をし、東京に行くことになりました。転職活動前は友人の居たポーランド・パリ・中国に行きました。

ポーランドで、イギリスの大学時代のリトアニアの友人とその同僚とポーランド各地を巡りました。とても意気投合し、その2ヶ月後に2週間の日本旅行を決行しました。とにかくこの2人が賢く、人生やキャリアの話を毎晩のようにしているとこの2人の働く会社である「グーグル」に興味を抱くようになっていました。ただ、この時は今までの仕事との関連性が遠く、イメージが湧かず、いつか行きたいという憧れ程度でした。

転職活動では当初の目標だったグローバルな環境の仕事は決まらず、結局は広告・メディアの会社から内定がいくつか頂けました。その中でグーグルに近いと考えたヤフーの子会社であるGYAOに広告営業として入社しました。主に消費財クライアントの宣伝部や広告代理店への営業を3年行いました。3年になる年にグーグルの人事からアプローチがあり、面接を受け、今に至ります。

今になって面白いと思っているのは、今の会社に入るきっかけは大学で偶然履修したリトアニア語でした。大学でリトアニア語を学び、イギリスで出会ったリトアニアの友人と親しくなり、その友人がきっかけでグーグルを志望・入社するまでが一連の繋がりを感じています。この一連の流れはアップルの故スティーブ・ジョブズ氏のスタンフォード大学でのスピーチの内容にあった「Connecting the dots」を想起しました。彼が言うように自分の関心があることに気持ちを持ち続けていればいつかは点が繋がる時があるのではないかと信じて日々を過ごしていければと考えています。

Google東京本社内での私。

略歴

2009年	大阪大学外国語学部 ビルマ語専攻卒業
2009年	株式会社ディスコ入社　東京本社勤務
	翌年 2010年同社　西部支社営業課へ異動
2012年	株式会社ディスコ退職、株式会社 GYAO入社
2015年	株式会社 GYAO退職、グーグル合同会社入社

アラビア語専攻の今　依田純和

大阪大学　言語文化研究科　言語社会専攻　准教授
外国語学部　アラビア語専攻代表

アラビア語専攻では長らくアラビア語専攻で教鞭を取ってこられた先生方(竹田新先生、高階美行先生、藤井章吾先生)がここ数年で次々と退職され、専任教員の顔触れがすっかり変わりました。2012年には依田が、2013年には福田義昭先生ーいずれも 1987年入学なので、「若返った」とは胸を張って言い難い年齢ー、そして本年度より仲尾周一郎先生(2005年入学！)ーこちらはまごうことなく若いーが次いで着任し、近藤久美子先生と共に大阪外国語学校以来の長い歴史を持つアラビア語専攻でアラビア語教育を行っております。また客員教員としては 2013年以来カイロ大学文学部よりアブドゥッラハマーン・アッシャルカーウィ先生が着任し、私たちのアラビア語教育に積極的に参加してくださっています。また非常勤講師として森口明美先生、岡崎英樹先生、中道静香先生にもお手伝いいただいております。また 2008年以来「高度外国語教育全国配信システムプロジェクト」の一環として、上記の中道先生制作の「アラビア語独習コンテンツ」を公開しております(http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/flc/ara/)。

現在アラビア語専攻には各学年30名前後、合計130名程度が在席しています。専攻内での学生の活動としては新入生向けの歓迎会(オリエンテーションの後に行われます)、夏まつり、語劇など古くからある行事に加えて2012年よりサウジアラビア大使館との共催で「日亜スピーチコンテスト」が行われています。残念ながら2015年からは共催ではなくなったので「アラビア語スピーチコンテスト」として断続的に開催しています。また昨年は箕面市との共催で「公開プレゼンテーション 阪大生たちが見た・学んだ!! アラビア語圏の国々～ “生きた学び ”～」というプログラムを行い、留学経験者たちが箕面市民の皆さんに各国事情を学生の視点で語るということも行われました。また昨今の状況では安全面で不安があるので留学先について学生達も苦慮していますが、毎年10名前後が中東諸国(エジプトーカイロ・アスワン、カタール〈いずれも学術協定校〉、チュニジア、モロッコ、ヨルダン、クウェート、UAEなど…この秋からはオマーンも)に留学しています。

卒論ゼミ(アラビア語語学特別演習)「卒論頑張ってま～す！」

ドイツ語専攻の今　高田珠樹

大阪大学　言語文化研究科　言語社会専攻　教授
外国語学部　ドイツ語専攻代表

早いもので外大が阪大と統合してもう10年、阪大生として外国語学部に入ってきた学生が最初に卒業してすでに5年の月日が経った。教員の顔ぶれも入れ替わった。塩路ウルズラ先生は、2009年の夏に神戸のドイツ人学校の校長として転任され、その後任として、かつて非常勤として授業を担当されたフォーグル先生が着任、6年半勤務された後、2015年の春に名古屋の金城学院大学に移られた。その後、ライモンド・ゼルケ先生が着任、今年で3年目になる。統合直前のドイツ語専攻の日本人スタッフは、友田、野村、小野、市川、高田、山元、進藤、中川の8人だったが、統合に伴い市川先生は文学研究科、小野先生は法学研究科、高田は、コミュニケーションデザイン・センターに移籍し、いずれも豊中に研究室を持つことになった。統合から間もなく友田先生が体調を崩されて休職され、一旦、復職されたが、2010年3月に早期退職された。この判断は正しかったようで、その後はむしろ体調を回復され、お元気で過ごしておられる。2013年には野村先生、翌2014年には市川先生と小野先生がそれぞれ大阪大学を定年退職された。統合前の2004年、芦田先生が病気休職中に、さらに同じ年の12月、78年に退職されてご高齢であった赤阪先生が亡くなられたが、90年代後半に相次いで退職された乙政先生、布施先生はお二人ともご健在で、それぞれ2013年と2016年、叙勲の栄誉に浴された。

友田先生の後任として黒谷茂宏講師(言語学)、野村先生の後任として安田麗助教(音声学)が着任し、高田も昨年の夏に豊中のセンターから派遣という形で箕面に戻っている。

阪大生として入学し、石橋周辺に下宿する学生が多いなど、学部の空気やアイデンティティーに多少の変化はあったのは事実だが、その中であの語劇の伝統が今も受け継がれているのは心強い。ちなみに昨年のドイツ語の学生による出し物は、『大どろぼうホッツェンプロッツ』、今年は『アルト・ハイデルベルク』が予定されている。アルト・ミノオベルクの灯が消え去ることがありませぬように……。

ゼルケ先生のゼミ▶

私(高田)の授業

「受け継がれる伝統」　志智太郎

大阪大学外国語学部　ドイツ語専攻４年
2017 年度語劇祭実行委員長

大阪外国語大学時代から連綿と続く伝統ある語劇祭ですが、咲耶会の皆さま方のご支援により、今年度も11月25日(土)26日(日)の2日間に渡り開催の運びとなりました。外国語学部生を代表し、心よりお礼申し上げます。今年度も多数の専攻が参加を表明しており、各々が専攻語圏の文学や文化を下敷きに持ち味を活かした特色ある脚本を作り上げ、現在練習に明け暮れております。

さて、大阪大学との統合に続き、キャンパスの移転を予定している外国語学部は現在変革の只中にあります。その中で、名称や場所の変化に関わらず受け継がれ続ける伝統を堅持するということは、本学部がアイデンティティーを保ち、歴史を次の世代に伝えるという点において大きな意味があると考えます。そういった伝統の中でも、語劇とは普段学習している専攻語を披露する機会であるだけでなく、学年の垣根を越えた取り組みによって専攻語の結束を固め、絆を深めることのできるまたとない機会でもあります。そうして専攻語一丸となって一つの劇を作り上げようとする後輩の姿を、是非皆さまにご覧いただきたく存じます。

私自身、卒業を控えた今、こうして伝統の担い手として責任のある役職を任されたことを嬉しく思っております。実り多く活気ある語劇祭となるよう各員取り組んで参りますので、皆さまお誘いあわせの上、会場まで足をお運びいただければ幸いです。語劇祭当日、皆さまにお会いできることを学生一同楽しみにしております。

転機を前にする夏まつり　手嶋友寛

大阪大学基礎工学部　システム科学科　生物工学コース３年
大阪大学夏まつり実行委員会　第 38 代実行委員長

私たち夏まつり実行委員会は、毎年7月初旬に開催される「大阪大学夏まつり」に向けて活動しているサークルです。このお祭りは、旧大阪外国語大学時代から続いており、今年で第38回目を迎えることが出来ました。10年前に大阪大学と大阪外国語大学が統合したことで、当委員会には、今では外国語学部生だけでなく、様々な学部の学生が在籍しております。学部を問わず、夏まつりを盛り上げたいという学生が増え、ようやく“大阪大学 “のお祭りになってきたところです。

今年度は、「viva! 夏ま! わくわくを彩発見」をスローガンとして準備を進めてきました。4年後に、大阪大学の箕面キャンパスは船場地区へと移転することが決定しています。移転を前に、粟生間谷住宅地、また、彩都西の地域住民の方々のご協力のありがたさを再発見・再認識しようという思いがこのスローガンには込められております。この夏まつりは、大阪大学の学部公認の学祭ではなく、学生が主体となり行うサークル活動という位置づけにあります。そのため、地域にお住いの方々、また、箕面を拠点とする企業様方のご協力が大変重要です。今年度の夏まつりを行うにあたり、協力していただきました皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。委員会を代表し厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

毎年、実行委員達は今まで以上の夏まつりを作り上げるために、日々努力を積み重ねております。そのため来年もまた、素晴らしい夏まつりが行われると信じています。今後とも夏まつりをよろしくお願いします。

未来基金「夏まつり」プロジェクトにご協力ください！　夏まつり実行委員会より

大阪大学夏まつり実行委員会は、大阪外国語大学時代から箕面キャンパスで実施されている“夏まつり”を運営する委員会です。夏まつり実行委員会は1979年に発足し、2年間の準備を経て、1981年に初めての夏まつりが開催されました。盆踊り大会や各専攻語を活かした模擬店など、現在も続くイベントの他、コンサートや女装大会など多彩なイベントを実施。学生だけでなく周辺住民の方が家族連れで参加する、地域に根付いた行事として定着していきました。

そんな伝統ある夏まつりですが、2010年の大阪大学と大阪外国語大学の統合に伴い、存続の危機にさらされていました。学部の公認ももらえず、大学からの予算も下りないという状況で、夏まつりの実施は厳しいと思われました。しかし、『外大時代からの伝統を大切にしたい』『箕面キャンパスに活気を取り戻したい』、そんな想いをもった学生が集まり、必死に署名活動や大学との話し合いを行いました。また、学生だけでなく箕面市長・大阪大学21世紀懐徳堂をはじめ、多くの周辺住民の方が働きかけてくださいました。そうした様々な人の努力の結果、夏まつりは存続が認められ、今日まで実施されてきました。

夏まつりは学生だけで運営を行っています。そのため、出展団体への連絡や装飾の作成などはもちろん、スポンサー集めや消防・警察への挨拶回り、近隣小中学校への広報から、当日の交通整備までをすべて自分たちで行っています。苦労も多いですが、夏まつりを楽しみにしてくださっている学生や地域の方々のため、日々頑張っています。

2021年に箕面キャンパスが船場へと移転します。

移転後は、現在様々な器具を置くのに使用している部室の確保が見込めませんし、そもそも、夏まつりを実施できる運動場や広場のようなスペースもありません。したがって、多くの公共機関を借りたり、多くの人に協力していただいたりしながら準備・実施をしていくことが予想されます。その他、様々な問題が起こると考えられ、移転の4年前である今から準備を進めています。かつて、先輩方が必死に活動して存続させた夏まつりを継続できるよう、私たちも必死に準備を進めていきますが、今後も変わらぬ夏まつりを実施するためには、皆様のご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

◎基金の活用プラン

皆さまからいただきましたご寄付は、例年の夏まつり開催と移転に向けての準備に活用させていただきます。

◎ご寄付の方法

クレジットカード、銀行振り込みでご寄付いただけます。詳しくは、「大阪大学未来基金　夏まつりプロジェクト」（下記URL参照）をご検索ください。なお、本事業にご寄付いただく場合には、「大阪大学未来基金」の寄付目的を「大阪大学箕面キャンパス夏まつり支援事業」とご指定していただきますようお願いします。

https://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/foundation/?donate_purpose=

司馬遼太郎ビブリオバトルに優勝して
「司馬先生と私」

西畑宏紀

大阪大学外国語学部 日本語専攻（専攻語モンゴル語）3年

はじめまして。日本語専攻3年（専攻語モンゴル語）の西畑宏紀です。司馬遼太郎記念学術講演会で行われたビブリオバトルでは「空海の風景」を紹介し、チャンプ本に選んでいただきました。中学生のときに「坂の上の雲」を読んで以来、勝手ながら司馬先生に弟子入りした気でいましたので、弟子になってもう5年がたちます（笑）。弟子入り5年という節目の年に、このような賞を頂き感無量です。中学、高校時代は「坂の上の雲」、「竜馬がゆく」といった長編の歴史小説を読んで、登場人物のカッコよさに胸打たれました。作中に出てくる幕末の志士や明治の書生に感化されて、やたら大きな志を抱いて、むやみに高いレベルの大学を目指そうとした結果、受験期は司馬作品から離れてしまっていたのは何とも皮肉な話です。

しかし、大学入学と同時に司馬先生は忽然と私の前に現れました。専攻語として何気なく選択したのが司馬先生と同じモンゴル語だったからです。師匠の出身学部すら知らずに弟子(?)を名乗っていた自分が恥ずかしいですが、私はそこに運命を感じました。それからというもの、民族や文化にまつわる随筆や対談集を中心に読み、シルクロード周辺の文化や言語に心惹かれました。「辺境の民族から中国文明を見る」という司馬先生の考え方は、私の大学での学びに大きな影響を与えています。西域への憧れから、長安で留学生活を送った若き空海に興味が転じ、紹介本であった「空海の風景」を手に取るに至ります。そして、司馬先生から与えられた宿題発表の場だと思って学術講演会に臨みました。

講演会後、外国語学部の先生方・咲耶会少徳会長と

これからも引き続いて、司馬先生から与えられた宿題をひとつひとつ、じっくり考えていこうと思います。

～ロシアのことならJICにお任せください～　ロシア旅行＆留学・ロシア語講座
ジェーアイシー旅行センター株式会社

ロシアへ旅行！　ロシア（旧ソ連地域）の専門旅行社。モスクワ・サンクトペテルブルグに連絡員在住。スタッフ全員がロシア滞在＆渡航経験者です。

ロシア語留学！　28年間で3300名以上がJICからロシア留学。1週間～10ヶ月間までバリエーション豊富。企業研修などの手配も可能です。

＊ロシア語講座やイベントも開催しています＊

http://www.jic-web.co.jp
詳しくはホームページで
E-mail：jictokyo@jic-web.co.jp

◆東京◆〒160-0004　東京都新宿区四谷2-14-8　YPCビル7F
Tel :03-3355-7295 Fax :03-3355-7297
◆大阪◆〒540-0032　大阪市中央区天満橋京町2-13 ﾜｷﾀ天満橋ﾋﾞﾙ8F
Tel :06-6944-2341 Fax :06-6944-2318

告知板

受賞者のご披露

●平成28年秋の叙勲・瑞宝中綬章

塩尻　宏氏（元・駐リビア大使）（大A15）
布施俊夫氏（大阪外国語大学名誉教授）（大D7）
巣山靖司氏（大阪外国語大学名誉教授）
辻　忠氏（大阪外国語大学名誉教授）

●平成29年春の叙勲

瑞宝中綬章
山下勝男氏（元・駐パプアニューギニア大使）（大IN14）

瑞宝双光章
山内貴子郎氏（元・大阪外国語大学学生部次長）

第4回　三笠宮オリエント学術賞

加賀谷寛氏（大阪外国語大学名誉教授）

第三回　日本翻訳大賞

松本健二先生
（大阪大学言語文化研究科
言語社会専攻 准教授 スペイン語）
受賞作：『ポーランドのボクサー』
（エドゥアルド・ハルフォン著
松本健二訳　白水社刊）

『ポーランドのボクサー』紹介

田辺　欧（大阪大学言語文化研究科 教授 デンマーク語）

グアテマラ出身のスペイン語作家としてにわかに国際的な注目を集めるエドゥアルド・ハルフォンの初邦訳。本書は3冊の原書が作家ハルフォンによって12篇の短篇に再構築された日本オリジナルのリミックス版である。短篇としても、続き物の長篇としても読むことが可能だ。個々の物語のあいだに暗示されるものを探し求めつつ、物語を行きつ戻りつするうちに迷路に迷い込んだような錯覚にとらわれる。表題作のタイトル、本のジャケットデザインから勝手にイメージを膨らませて読むとこれまた裏切られるが、面白い。話の舞台もグアテマラ、イスラエル、ポーランド、セルビアと国境をいくつも越える。それは作者自身の自己探求を照射しているかのようだ。本の扉に記されたエピグラフ「人には詩を読むべき時とボクシングをすべき時がある。（ロベルト・ボラーニョ）」は作者が日本版に対して選んだ言葉だそうだが、妙に納得させられる。

平成28年度退職教員

杉村博文
言語文化研究科 教授（中国語）

鈴木　睦
言語文化研究科 教授（日本語）

加藤昌彦
言語文化研究科 教授（ビルマ語）

藤井章吾
言語文化研究科 准教授（アラビア語）

着任のメッセージ

大阪大学　言語文化研究科　言語社会専攻
朝鮮語　准教授

裵　妗美（ベ　ヨンミ）

アンニョンハセヨ（こんにちは）、2017年4月より言語文化研究科言語社会専攻（朝鮮語）准教授に着任しました、ベヨンミと申します。教育と研究に対する先生の熱意、真剣なまなざしと明るい笑顔の学生、いつも親切に応じてくださる職員の皆様に驚きと感謝の気持ちで大学生活を楽しんでおります。2年という短い間ですが、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪大学　言語文化研究科　言語社会専攻
中国語　助教

中田聡美（なかた さとみ）

中国語の助教として2017年4月に着任いたしました。専門は中国語学で、特にモダリティに関する研究に関心を持っています。修士課程、博士課程を過ごした母校で教壇に立つことができ、非常に嬉しく思っております。中国語の面白さを多くの学生に伝えられるように、一生懸命研究、教育に取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪大学　言語文化研究科　言語社会専攻
ビルマ語　助教

大塚行誠（おおつかこうせい）

このたび、ビルマ語専攻の助教として着任した大塚行誠と申します。現在、ビルマ語と言語学に関する授業を担当する傍ら、チン語など、ミャンマーの少数言語について記述言語学的な観点から調査しています。これまでの研究と教育の経験を活かし、ビルマ語教育に尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

大阪大学　言語文化研究科　言語社会専攻
アラビア語　助教

仲尾周一郎（なかおしゅういちろう）

2017年4月に着任いたしました。これまで南スーダンなどの東アフリカ諸国をフィールドとしてアラビア語クレオールに関する記述言語学的研究を行ってきましたが、最近ではその発生・発展の社会史的背景に興味を持っています。本格的に教育活動に携わるのはこれが初めてですが、皆様のご鞭撻を賜りつつ職務を全うして参ります。宜しくお願い致します。

大阪大学　言語文化研究科
日本語・日本文化専攻　助教

永原順子（ながはらじゅんこ）

2017年4月に着任いたしました。専門は、伝統芸能・祭礼・怪異伝承の研究、及び自然科学の視点を用いた日本文化研究です。教職員の皆様にお導きいただき、日々の研究と教育に励んでおります。ありがとうございます。初心を忘れず研鑽を積んでいきたいです。今まで10年近く海沿いの平野部におりましたので、頭だけでなく足腰も鍛え直しております。よろしくお願いいたします。

■ 平成28年度 外国語学部卒業者数

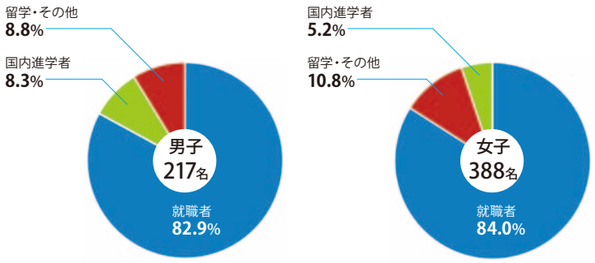
【旧課程】

専攻等	平成28年 9月23日卒業			平成29年 3月22日卒業			合計		
	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	総計
地域文化学科昼間主	0	1	1	0	0	0	0	1	1
地域文化学科夜間主	1	0	1	0	0	0	1	0	1
計	1	1	2	0	0	0	1	1	2

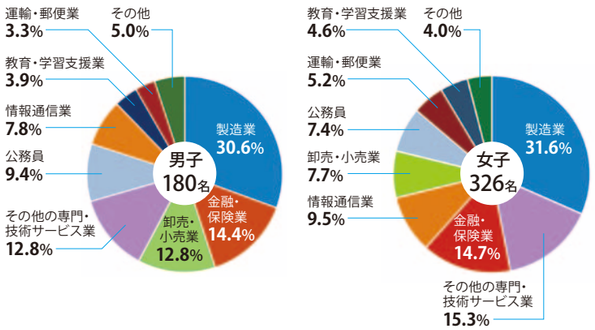
【新課程】

専攻等	平成28年 9月23日卒業			平成29年 3月22日卒業			合計		
	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	総計
中国語専攻	0	0	0	17	21	38	17	21	38
朝鮮語専攻	0	0	0	4	13	17	4	13	17
モンゴル語専攻	0	1	1	10	6	16	10	7	17
インドネシア語専攻	0	0	0	4	5	9	4	5	9
フィリピン語専攻	0	0	0	4	11	15	4	11	15
タイ語専攻	0	0	0	5	16	21	5	16	21
ベトナム語専攻	0	0	0	4	9	13	4	9	13
ビルマ語専攻	0	0	0	5	10	15	5	10	15
ヒンディー語専攻	0	0	0	9	11	20	9	11	20
ウルドゥー語専攻	0	0	0	9	15	24	9	15	24
アラビア語専攻	0	0	0	12	10	22	12	10	22
ペルシア語専攻	0	0	0	3	11	14	3	11	14
トルコ語専攻	1	0	1	4	13	17	5	13	18
スワヒリ語専攻	0	1	1	5	16	21	5	17	22
ロシア語専攻	0	0	0	7	14	21	7	14	21
ハンガリー語専攻	0	0	0	1	12	13	1	12	13
デンマーク語専攻	0	0	0	1	17	18	1	17	18
スウェーデン語専攻	0	0	0	4	17	21	4	17	21
ドイツ語専攻	0	0	0	13	28	41	13	28	41
英語専攻	0	0	0	38	32	70	38	32	70
フランス語専攻	0	0	0	8	22	30	8	22	30
イタリア語専攻	0	0	0	8	19	27	8	19	27
スペイン語専攻	1	0	1	12	22	34	13	22	35
ポルトガル語専攻	0	0	0	19	8	27	19	8	27
日本語専攻	0	1	1	8	26	34	8	27	35
計	2	3	5	214	384	598	216	387	603

● 平成28年度卒業生　進路・就職状況



● 平成28年度卒業生　業種別就職者数



■平成29年度 外国語学部入学者数

専攻等	一般入試 前期日程				世界適塾 AO入試				特別入試 私費留学生		特別入試 帰国生徒		海外在住私費外国人留学生特別入試	国費留学生	外国政府派遣留学生	合計		3年次編入学	
	募集人員	合格者数	入学辞退	入学者数	募集人員	合格者数	入学辞退	入学者数	募集人員	入学者数	募集人員	入学者数				募集人員	入学者数	募集人員	入学者数
中国語専攻	36	41	2	39	4	0	0	0								40	39		
朝鮮語専攻	16	18	0	18	2	1	0	1								18	19		
モンゴル語専攻	16	19	1	18	2	0	0	0								18	18		
インドネシア語専攻	9	11	0	11	1	0	0	0								10	11		
フィリピン語専攻	10	13	1	12	2	0	0	0								12	12		
タイ語専攻	13	16	1	15	2	0	0	0								15	15		
ベトナム語専攻	13	16	1	15	2	0	0	0								15	15		1
ビルマ語専攻	16	19	0	19	2	0	0	0								18	19		
ヒンディー語専攻	16	19	0	19	2	0	0	0								18	19		
ウルドゥー語専攻	16	19	1	18	2	0	0	0								18	18		
アラビア語専攻	22	26	0	26	3	0	0	0								25	26		
ペルシア語専攻	16	19	1	18	2	0	0	0								18	18		
トルコ語専攻	16	19	0	19	2	0	0	0	若干名		若干名					18	19	10	
スワヒリ語専攻	16	19	0	19	2	0	0	0								18	19		
ロシア語専攻	22	26	1	25	3	0	0	0								25	25		
ハンガリー語専攻	13	16	0	16	2	0	0	0								15	16		
デンマーク語専攻	16	19	1	18	2	0	0	0								18	18		
スウェーデン語専攻	16	19	0	19	2	0	0	0								18	19		
ドイツ語専攻	31	35	0	35	4	1	0	1								35	36		
英語専攻	54	54	3	51	6	3	0	3		2		2				60	58		
フランス語専攻	22	25	0	25	3	0	0	0				1				25	26		
イタリア語専攻	16	18	0	18	2	1	0	1								18	19		
スペイン語専攻	31	35	0	35	4	1	0	1								35	36		
ポルトガル語専攻	27	31	0	31	3	0	0	0								30	31		
日本語専攻	27	30	0	30	3	0	0	0	10	9				1	2	40	42		
計	506	582	13	569	64	7	0	7	10	11	-	3		1	2	580	593	10	1

■平成29年度 外国語学部入学者数

専攻等	1年次入学			3年次編入学		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
中国語専攻	13	26	39	0	0	0
朝鮮語専攻	1	18	19	0	0	0
モンゴル語専攻	8	10	18	0	0	0
インドネシア語専攻	3	8	11	0	0	0
フィリピン語専攻	3	9	12	0	0	0
タイ語専攻	4	11	15	0	0	0
ベトナム語専攻	6	9	15	0	1	1
ビルマ語専攻	10	9	19	0	0	0
ヒンディー語専攻	8	11	19	0	0	0
ウルドゥー語専攻	8	10	18	0	0	0
アラビア語専攻	16	10	26	0	0	0
ペルシア語専攻	9	9	18	0	0	0
トルコ語専攻	8	11	19	0	0	0
スワヒリ語専攻	8	11	19	0	0	0
ロシア語専攻	12	13	25	0	0	0
ハンガリー語専攻	1	15	16	0	0	0
デンマーク語専攻	3	15	18	0	0	0
スウェーデン語専攻	5	14	19	0	0	0
ドイツ語専攻	14	22	36	0	0	0
英語専攻	27	31	58	0	0	0
フランス語専攻	9	17	26	0	0	0
イタリア語専攻	7	12	19	0	0	0
スペイン語専攻	16	20	36	0	0	0
ポルトガル語専攻	13	18	31	0	0	0
日本語専攻	10	32	42	0	0	0
計	222	371	593	0	1	1

「菜の花」に寄せる

元・大阪外国語大学学長／
大阪外国語大学名誉教授
山田善郎（S24）

私ごとで恐縮であるが、齢を重ねすぎて余生を惜しむ老残の身ともなると、来し方のことどもが折にふれて去来する。司馬遼太郎さんとの思い出もその最たるものの一つである。

母校の大阪外国語大学に奉職してすぐに親しくなった蒙古語学科の荒井伸一さんを通じて、直木賞をもらわれた『梟の城』の進呈を受けたのが、その後、氏との交流を重ねる発端であった。たまたま手許にあった、ある新聞の「座談の名手たち」という囲み記事によると、司馬遼太郎さんを中心にして、同窓の陳舜臣さん、京都大学の西田龍雄さんに加えて歴代の学長たちが年に一度会食を共にしていたとある。名手たる所以は三人三様、その該博な知見にあった。「座談」と言えば、ひところ大阪府が主催していた山片蟠桃賞の審査員である座長の司馬さん、田辺聖子、小松左京、伊藤正義、木村重信、谷澤永一ら各氏の末席に私も参加していたことがある。審査に2，3時間を費やした後、昼食をはさんでそれからの数時間は、それこそ「座談」の粋を極めたものであった。おきまりの文芸批評から始まって世事にまで及ぶさまざまな話題が俎上に載せられて談論風発、縦横無尽に切り刻まれた。世に言う「司馬サロン」である。いつもそうであったが、二人きりの時は「おい、山田君」と後輩に対する打ち解けた素振りが、他の人が混じると、ご自身の母校である大学の学長に対する振舞に一変する。こちらがその応対に途惑うくらいの変わりようであった。母校に対する氏独特の敬意や愛着がこのような形になって表れていたので

司馬遼太郎氏と

故・林屋永吉　元スペイン大使（S17）と

あろうか。同窓のよしみということで言えば、あれはたしか昭和の50年代も終りに近づこうかという頃、「山田君、取材の為にスペインへ行ってくるからな。ところで君の先輩である駐スペイン大使、林屋永吉さんに会ってくるつもりだ。君の先輩ということは私にとっても先輩だからな」とかなんとか言って旅立たれた。その辺のことは『街道をゆく南蛮のみちII』に記載されているが、そこには盛られていない後日譚があって、「林屋さんご夫妻には随分と歓待されて、実に愉快な一夕を過ごしたんだが、驚いたことに奥様はあの『坂の上の雲』に出てくる主人公の縁につながる方だったんだ。これにはさすがの私も魂げたねー」とその奇遇に興奮の語り口が暫く続いていた。それにしても誰しもが司馬さんから受けていた恩恵のおこぼれに私も与っていた。平成の初め、関西スペイン協会の発会式での講演をお願いしたところ、「約束はできないなぁ、それは。座談会ならまだしも講演はしないことにしている、嫌いなんだ」とにべもなかった。ところが当日になって、「かわいい後輩の頼みだからなぁ、来てやったぞ」と本音をさりげなく冗談に紛らわせて、一頻り洒脱な講演さながらのお祝いの言葉を頂いた。話し終えるや否や締め切り間際の原稿用紙を広げたままなんだ、と笑みを挨拶代わりに出口に急がれる後姿に、人情味あふれる大人の風格を垣間見る思いがしたものだ。

取り留めのない思い出話に紙数を費やしてしまったが、残念なことにここに登場してくるほとんどの人物とはすでに幽明境を異にしてしまった。今となっては、「一期一会」、その折々の出会いをもっともっと大切にしておけば良かったのにと悔やまれる今日この頃である。

『OUFS会』大阪外国語大学＆大阪大学外国語学部バスケットボール部 OBOG 会

幹事 **堀内秀規**（大 IP26）

大阪外国語大学が平成19年に大阪大学に統合されたために、当年をもって東京外国語大学との定期戦（通称：東外戦）が最終戦となりました。

『最後の東外戦を見よう!』と有志（1974年～1980年入学）が集まり箕面キャンパスへ応援ツアーを企画したのがきっかけで、OBOG会の組織作りをしようという話になりました。

咲耶会名簿や、当時の名簿を頼りに、途切れかけた糸を繋ぐがごとく、縦と横の繋がりを辿り紡ぎ、結ぶ作業を進め、平成27年5月に「大阪外国語大学＆大阪大学外国語学部バスケットボール部OBOG総会」を開催することができました。現役大学生も参加し約40年の縦のつながりをもつことができ総会を開催することができました。海外や全国各地から集まっていただき約140名の盛会となりタイムスリップして楽しいひとときを過ごすことができました。上本町にあった学舎（現在は大阪国際交流センター）には体育館が無く、学舎と学舎の間にある土のグラウンドが練習場所。水まきをしながら練習をしていたことなど懐かしく歓談しました。

関東圏で活躍するOBOGも多く、「来年は東京で開催しよう!」ということで、昨年は東京外国語大学OBOG会と合同で開催し盛会となりました。今年は大阪で開催。次回は平成 30年に大阪で開催予定です。

十分に名簿が整理されておりませんが、バスケットボール部OBOGの皆様がおられましたら、咲耶会事務局を通して連絡をいただければ幸甚です。

平成27年5月の総会にて

ハンドボールコートと青い空

西川（今井）まさき（大 IN34）

学生時代の記憶をたどると、語科での思い出と併せて、部活でのさまざまな出来事が思い出されます。

私が入部した女子ハンドボール部は、当時 4回生だった先輩達が作ったまだ若い部で、三部リーグに所属していました。弱小チームではありましたが、リーグ昇格を目指して日々練習に励みました。キャンパスの片隅にあったハンドボールコートで、男子ハンドボール部とコートを半面ずつ分け合い、暑い夏のさなか真っ黒に日焼けして練習していたことを思い出します。

印象に残っているのは、一回生時の野沢温泉での夏合宿です。8日間でしたが、一回生でまだ体力がなかったせいか、本当に長く感じられました。合宿最終日の明け方、部員の一人がウーンウーンと唸りだしたので、何事かと思って飛び起きたら、エアサロンパスを塗りすぎて身体がカッカすると半泣きになっていました。みんなで「大丈夫？」と気遣いながらも爆笑、本人も泣き笑いしていたことなど懐かしい思い出です。

近い学年の女子ハンドのメンバーとは卒業後も連絡を取り合っていましたが、男子ハンドのメンバーとはすっかり疎遠になっていました。しかし、facebookで同期の男子ハンド部員の一人とつながったことをきっかけに、2014年、ほぼ30年ぶりに大阪でミニ同窓会を行いました。関西在住の人は少なく、集まったのは20名弱でしたが、思い出話に花の咲く楽しい時間を過ごしました。

引退試合の後で

箕面キャンパスの移転も決まり、母校は変化していきますが、思い出の中にあるあのハンドボールコートと見上げた空は、いつまでも変わりません。

2014年 ミニ同窓会

星期四会の思い出：北京合宿

池田　晋（大 C50）

最近はどこの大学にも語学研修プログラムがあって、簡単に短期留学に行けるようになったが、私が学部生の頃は、外大であってもそうした制度は一般的ではなかった。留学は短期だろうと長期だろうと自分で行き先を見つけ手続きをするのが当たり前だった。

そんな中で当時の学生に人気があったのが、星期四会が春休み1、2年生向けに実施する「北京合宿」であった。北京語言学院（現・北京語言大学）での授業と自由旅行がセットになった星期四会の目玉行事で、これを目当てに入部する学生も少なくなかった。

もちろん部員になればタダで参加できるわけではなく、1年生は夏と秋の2回、先輩から課される長文の暗唱試験をクリアする必要がある。2年生はもっと大変で、自分たちが企画をする側に回る。語言学院との打ち合わせ（通信手段はFAX）から、推薦状の用意、航空券・ビザの手配に至るまで、全て教員の手助けなしに2年生のみで進めていた。いわば手作りの語学研修であった。

北京合宿参加者全員で、万里の長城を訪れる。

思えば2年生の拙い語学力で先方とやりとりをしていたわけだから、きっと失礼もあったことだろう。しかし、そうした体験を通して、中国語も鍛えられたし、何より度胸が付いた。そのことも含めて、北京合宿は星期四会の中で最も思い出深いイベントであった。

残念ながら、各種の語学研修プログラムが乱立する今のご時世では、北京合宿のようなイベントに魅力を感じる学生はもうほとんどいないだろう。時代の流れとは言え、寂しいことである。

UEDA GAKUEN
学校法人 上田学園
http://uedagakuen.ac.jp/
学校法人 上田学園は、70 年以上の歴史を持ち、ファッションやデザイン分野の第一 線で活躍するクリエイターを輩出し続けています。
（学）上田学園 理事長
上田哲也 大 R24

ファッション、ファッショングッズ、靴、バッグ等の企画から生産、商品の販売までのプロフェッショナルな人材を育成
学校法人 上田学園 上田安子服飾専門学校 UEDA COLLEGE OF FASHION
http://www.ucf.jp/

ビジュアルデザイン、インテリアデザイン、マンガ、アニメ、イラスト、声優、コミックアート、フィギュアのプロを養成する
学校法人 上田学園 大阪総合デザイン専門学校 OSAKA SOGO COLLEGE OF DESIGN
http://www.oscd.jp/

マンガ、アニメーション、ゲームを核に、タレント性と情報通信技術やエンタテイメント領域において活躍できる人材の創出
学校法人上田学園 大阪エンタテインメントデザイン専門学校 Osaka Academy of Entertainment Design
http://oaed.jp/

古典芸能案内人 ⅡＥ１７
文楽、落語、歌舞伎の面白さを伝えます。
天野光（本名・天野豊子）
AMANO HIKARU
文楽、落語、歌舞伎のセミナー依頼受付中。古典芸能案内人で検索!!!
アメブロ：https://ameblo.jp/koten-geinou-guide/ 早期退職者の知的生活：http://artcoodinator.com/
e-mail：kotengeinou@nike.eonet.ne.jp フェイスブック：amano.hikaru.2

税理士法人杉本会計プログレ
代表社員 杉本和恵 税理士 FP 技能士
〒 920-0910 石川県金沢市下新町 6 番 24 号
TEL. 076-263-1511 FAX. 076-263-1585 携帯電話：090-1635-1956
E-mail. sugimo3@siren.ocn.ne.jp

化学薬品・食品添加物
磯田商事株式会社
代表取締役 磯 田 良 一 （大 IN3 / 昭和30年卒）
〒336-0936 埼玉県さいたま市緑区太田窪3 -15-14
TEL：048-887-2943

平成28年度咲耶会総会の報告

企画総務委員会

平成28年度咲耶会総会が10月22日(土)、大阪大学中之島センター、堂島川を見下ろす10階の佐治敬三メモリアルホールにて開催された。上本町学舎時代の卒業生にとっては、中之島界隈は懐かしい思い出の場所である。来賓、先生方を含め、約150名の参加者があり、盛会のうちに終えることができた。

懇親会には、熊谷信昭大阪大学同窓会連合会会長、工藤眞由美大阪大学理事・副学長をはじめ、交流のある阪大文系学部同窓会の幹事、東京外語会関西支部の役員の方々を来賓としてお迎えした。先生方にも強く参加を呼びかけ、現職、旧職を合わせて24名の恩師にご出席いただき、旧交を温めていただいた。

第1部の総会では、少徳会長が「2017年度末(2018年6月末)のプライマリーバランスをめざして」のタイトルで、パワーポイントを用いて財政改善への取り組みを報告。「会員増・収入増・支出減」策の組み合わせにより、活動の質と回数は落とすことなく、2017年度末にはプライマリーバランスの取れた同窓会となることを達成し、2021年には、大阪外国語大学100周年、大阪大学90周年を共に祝う基礎固めとしたいと、締めくくった。平成27年度決算と28年度予算案の承認に加えて、「5年以上の間一度も年会費の支払いがなかった会員に対しては、会報『咲耶』の送付を停止できる」という支出削減のための提案が承認された。

総会の最後は、平成28年にスタートした「咲耶出版大賞」の授与式が行われ、石野伸子選考委員長から、大賞1名、特別賞2名に賞状と副賞が手渡された。

第2部の講演会では、「イスラム国の野望」という演題で、高橋和夫放送大学教授の講演が行われた。氏は1974年に旧大阪外国語大学ペルシア語学科を卒業。アメリカ合衆国コロンビア大学国際関係論修士、クウェート大学客員研究員等を経て、1985年から放送大学の教員となった。中東研究の第一人者として多数の著書があり、講演、テレビの解説等でも広く活躍されている。氏の講演を目当てに参加した会員も多く、時宜を得た話題の数々に、会場は熱気に溢れた。

第3部の懇親会では、会長、来賓の挨拶につづき、磯田相談役の発声で乾杯。宴たけなわとなったところで、インドネシア語学科1990年卒のバリ舞踊家、田中千晶氏の見事なバリ舞踊が披露され、外国語学部らしいエキゾチックな雰囲気に包まれた。

終盤、語劇祭実行委員長のポルトガル語専攻2年、赤澤佑真さんが、咲耶会の語劇祭支援への感謝の言葉とともに、多数の来場を訴えた。

(文責:井上泰子)

平成29年度総会・懇親会のご案内

日　時:平成29年11月11日(土)午後1時30分〜午後6時
会　場:大阪大学豊中キャンパス内　大阪大学会館
大阪府豊中市待兼山町1-13　TEL 06-6850-5977

■阪急宝塚線「石橋」駅より 徒歩約15分
大阪モノレール「柴原」駅より 徒歩約15分

＜第Ⅰ部＞

●咲耶会総会:午後1時30分〜午後2時30分
於2階講堂

●「咲耶出版大賞」授与式:午後2時30分〜午後3時10分
於2階講堂
受賞者のスピーチ

●グリークラブOB合唱団演奏会:

午後3時10分〜午後3時40分
於2階講堂

●休憩(会場移動):
午後3時40分〜午後4時

＜第Ⅱ部＞

●懇親会:午後4時〜午後6時(於1階アセンブリーホール)
懇親会会費:5,000円(当日会場でいただきます)

※新卒業生会員(平成29年3月/9月卒業)・学生会員は無料です。
未加入の学生については、会費として、1,000円をいただきます。
※卒業後50年の会員には、記念品をプレゼントします。
多数のご出席をお待ちしています。

＜お問い合わせ＞
咲耶会事務局　TEL & FAX:072-728-2327
E-mail:sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp

●参加ご希望の方は、同封のハガキにてお申し込みください。

2017年版「同窓生名簿」まもなく刊行です。

名簿編集委員会

昨年の『咲耶』でお知らせしたとおり、「2017年版・同窓生名簿」は10月末の刊行を予定しております。同窓生の皆さまには今年初めより、ハガキ・電話・メールなどによる「現況確認」にご協力いただいたのはもちろん、広告掲載、名簿購入のご予約など、多数のご支援をいただき、誠にありがとうございました。

個人情報にからむ犯罪も多発している折から、より一層情報の保護に留意しつつ、同窓生の親睦・交流に、また、在学生支援に活用してまいりますので、今後ともご住所等に変更がありましたら、忘れず咲耶会にもお知らせいただきますよう、お願いいたします。

なお、購入予約をしていない方でも、咲耶会会員であれば名簿をご購入いただけますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。また、在学生会員の方には、就職活動等にご活用いただけるよう、無料で進呈します。会員証をお持ちの上、事務局までおいでください。

【名簿の内容】
●収録者:学校創立から現在までの同窓生　約51,000名
●発行日:2017年10月下旬　●頒布価格:1冊　6,200円

外語マガジン『sakuya』は一旦終了します。

咲耶会事務局

「外語の先輩に、会おう。」をテーマに掲げ、2015年11月にスタートした「外語マガジン『sakuya』」は、今年(2017年)2月更新のvol.9「金廣邦高さん編」をもって一旦終了します。サイトは残してありますので、今後はアーカイブでお楽しみください。最後に、サイトを作ってくれたスタッフ4人の思いを、サイトから転載してご紹介します。

●他の学部や大学でも、卒業後は一人ひとり生き方が異なると思います。それでも、外語卒業生の考えや生き方はとても個性的で、共感できる部分もあって、ワクワクするものばかりでした。
(直感系プランナー　後藤　峻)

●外語の卒業生って、社会人になってもこんなに自由で面白いんやで…!っていうのを在学生に伝えたくて始めたインタビューでした。でも、私自身が一番楽しんで、一番刺激をもらったと思います。またやりたい!　(ライター　菊池　藍)

●学生時代に外大・外語生の生き様に魅かれて以来、外大生全体のファンですがsakuyaを通してその想いはさらに大きくなりました。外大・外語生は永遠の憧れです。これからも彼らと出会い、うっかり寄り道するのが楽しみです。　(デザイナー　松本彩香)

●あの友達…あの先輩…記事にしたい人、まだまだ思いつきます。そして今後、新たな外語卒業生の「〜で生きる」もきっとおもしろいものばかりのはず。そう考えるとほんの一部、たった9名ですが、ご紹介できて心うれしく思います。(デザイナー　増澤　圭)

なんの報酬もお支払いできない中、この4人の熱意だけに支えられていたサイトでしたが、毎回7千人近くの方に見ていただきました。チャンスがあればぜひ復活させたいと思いますので、ご支援よろしくお願いいたします。

外語マガジンsakuyaで検索

「新入生 Welcome Party 2017」、今年もにぎわいました!

咲耶会事務局

今年も新入生を迎え、4月22日に、豊中キャンパスのカフェレストラン「宙(そら)」で、「新入生Welcome Party 2017」を開催しました。

外国語学部に入学したとはいえ、2年までは箕面キャンパスとは無縁な彼らに「箕面」の魅力、外国語学部の面白さを伝えようと、10あまりのサークルの代表もアピールに駆け付けてくれて、自己紹介を組み込んだゲームやクイズを楽しみました。参加者は上回生合わせて約50名ほどになり、日が暮れてお開きとなるころにはすっかり打ち解けた雰囲気になっていました。今年もプロデュースを引き受けてくれた後藤峻(夜F42)さん、サークル代表の皆さん、何より参加してくれた新入生の皆さん、ありがとうございました!

「夏まつり」に定着した「咲耶会の古本屋さん」

咲耶会事務局

咲耶会が、箕面キャンパス恒例の「大阪大学夏まつり」(7月1日)に古書店の模擬店を出店するようになって、今年で5年目となりました。例年梅雨の真っ最中とあって雨が降らない年はなく、テント内に並べるのも来場者に見ていただくのも気遣いながら、でしたが、今年は、陽射しが痛いほどの晴天の下、テントの中だけでなく、グラウンドにも本を広げてじっくり選んでいただけました。在学生や近隣の住民の中には「昨年もたくさんいただきました!」と声をかけてくださる方もおられ、この出店も「夏まつりの常連」として定着したように思います。専攻語の辞書・原書はもちろんですが、近隣の方や子どもも多数来場されますので、一般書・絵本・マンガなども大歓迎です。多数のご寄贈をお待ちしております!

私の生き方、ここが好き!咲耶茶論(さくやさろん)

講演会・勉強会組織員会 委員長 **河井洋子**

咲耶会では昨年の冬より「咲耶茶論」というサロン風講演会を開き、各語科の卒業生の方をお招きして、お話をして頂いています。内容は、主にご自分のお仕事、それに関わる事柄、趣味の話、ご自身の事などなど、あまり専門的に過ぎず、お茶を飲みながらという雰囲気の中で、気楽にお願いしています。

第1回は昨年12月3日、ロシア語学科卒で元NHKアナウンサーの中林速雄さん(大R7)がお話をされました。演題は「日本語あれこれ」で、日本を「にほん」と読むか、「にっぽん」と読むかという話題から始められ、いろいろな例を挙げて解説されました。さらに、地方の発音やアクセントに関わる面白いエピソード、アナウンサーの歯の話、ご自身の生い立ちや外大時代の活動など、興味深いお話が一杯でした。

2回目は今年6月24日、タイ語科卒業で、現在登録有形文化財「藤岡家住宅」(NPO法人 うちのの館)の館長をしておられる川村優理さん(大TV29)が講演されました。話題は「藤岡家へようこそ〜江戸時代の旧家の調査は、見知らぬ国の探検のようです〜」でご自分の生い立ちから、タイ語との関わり、学芸員になられた経緯、実際のお仕事でのいろいろなエピソード、など話されました。講演後のQ&Aでは、聴きに来られた方々も熱心に質問されていました。

今後も、人材がとても豊富な各語科の卒業生の方々の中からお話をして頂こうと考えています。自薦、他薦、どなたでも随時募集しておりますので、宜しくお願いします。

第2回 咲耶出版大賞が決定しました

石野伸子（大 D22／選考委員長）

卒業生や教員によって書かれた本の中から、外語精神にあふれる出版物を顕彰しようとスタートした「咲耶出版大賞」。2回目を迎えた今回の受賞作は、南田みどり氏（大阪大学名誉教授）が訳出した『ビルマ1946 独立前夜の物語』（段々社）に決まった。

著者はミャンマーの国民作家、テインペーミン。1948年に獄中で書いたもので、独立前夜の混乱を、新しい社会づくりに燃える男女の恋愛をたて軸に生々しく描いている。軍事政権下では問題作として長く封印されていたが2013年に復刊。遺族とも交流をもつ南田氏が翻訳にこぎつけた。

当時の混乱に、現在のミャンマー理解のカギがひそんでいるとして、南田氏は文中に詳細な注釈をつけ、また舞台となった場所を取材して長いあとがきを書いている。その点が「単に外国語の本を翻訳するという役割を超え、長くビルマに心を寄せてきた訳者の心意気が感じられる」と選考委員から高い評価が寄せられた。

このほか、特別賞には福岡まどか氏の『ジャワの芸能ワヤンその物語世界』（スタイルノート社）が選ばれた。インドネシア社会に深く根をおろした独特の芸能ワヤン。その物語世界の中核には古代インドの叙事詩がある。ワヤンの豊潤な世界を、著者は多彩な調査・研究活動からひもといている。福岡氏は東京芸術大出身。大阪外大インドネシア語助教授をへて現在大阪大学准教授。

選考委員は卒業生や大阪大学教員ら5人。昨年1月から12月の間に出版された本の中から応募形式で寄せられた候補作8点から選考した。受賞作のほか、民間信仰や文学論、EU、イスラム国を含む海外リポートなど、卒業生たちのグローバルな関心と活躍ぶりが実感できる選考作業でもあった。

学内業界研究会・ワールドジョブフェスタ

幹事　大辺理恵

1月16日～20日にかけて、箕面キャンパス福利会館2階、ほぼ全フロアを利用して、「学内業界研究会・ワールドジョブフェスタ」が開かれました。このイベントは、外国語学部の学生を対象に、3月採用広報解禁前に企業による業界説明・仕事説明を受ける場を設け、業界研究及び仕事研究を支援することを目的としたものです。開催された5日間には、計81社が出展し、のべ536名の学生の参加があるなど、非常に活気のあるイベントでした。咲耶会もこのイベントに共催という形で関わっており、1月のイベントでは、社会で活躍する先輩と話せる談話ブースを用意するなどの形で協力をさせて頂きました。このイベントを運営している idG株式会社のアンケート調査によれば、参加した学生からは、「OB、OGの方に実際の社風などを聞くことができた」、「外語卒の方の話を聞くことができたのでイメージがしやすかった」などといった反響があったそうです。また参加した学生の7割強が、「先輩の就職企業を意識する」と回答しており、今後も同窓会・咲耶会として何らかのサポートができればと考えております。

卒業生の皆様にご協力を依頼することが今後もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

咲耶会・女子会を始めました

若手活性化委員会　幹事 大辺理恵

これまで東京支部の方では「木の花会」という素敵な名称の女性卒業者が中心となった集まりが企画されていましたが、咲耶会本体としては、女性の卒業生が多いにもかかわらず、女性を対象と企画が催されることはあまりありませんでした。今後も女性の卒業生が増えていくことに鑑み、このたび「咲耶会・女子会」という名称のもと、女性卒業者を対象とした集まりを、関西を中心として始めてみようということになりました（将来的には、地方への出張女子会なども実現できればと思っています）。

去る6月3日には、大阪府立図書館内にある「スモーブローキッチン中之島」にて、第1回咲耶会・女子会を開催しました。当日の参加人数は19名、参加者の専攻言語は14言語（英語、中国語、インドネシア語、フランス語、ロシア語、朝鮮語、ポルトガル語、ドイツ語、モンゴル語、ウルドゥー語、スワヒリ語、スウェーデン語、デンマーク語、日本語）にわたり、また子供連れでの参加もありと、非常に賑やかな会となりました。今回の女子会では、みなさんでデンマークの郷土料理の1つsmørrebrød（オープンサンドイッチ）を頂きました。

今後も咲耶会・女子会では、各国の料理を囲みながら、専攻語そして年代を越えたつながりを増やしていけるような機会を皆様にご提供できればと思っております。

次回の女子会は、10月14日（土）13:00–15:30 ロシアレストランキエフ（京都祇園）を予定しております。参加申込また詳細情報は、女子会HP（https://riefive6.wixsite.com/sakuyakaijoshikai）をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております！

咲耶会行事・会議

平成 28年

10月 22日（土）　平成28年度咲耶会総会・講演会・懇親会（於：大阪大学中之島センター）
第3回幹事会（幹事・支部長会議）会長・副会長会議

12月 3日（土）　第1回「咲耶茶論」（於：大阪大学会館 国際ラウンジ）

12月 22日（木）　会長・副会長会議（於：大水綜合法律事務所）

平成 29年

1月 16日（月）～ 20日（金）　World Job Festa（於：箕面キャンパス 福利会館）

2月 4日（土）　第4回幹事会（於：中之島センター）
※ テレビ会議システム併用

2月 25日（土）　第1回「咲耶出版大賞」選考委員会（於：中之島センター）

3月 1日（水）・ 11日（土）　World Job Festa（於：箕面キャンパス 福利会館）

3月 22 日（水）　大阪大学卒業式・学位記授与式（於：大阪城ホール）
入会案内を配布

4月 3日（月）　大阪大学入学式（於：大阪城ホール）

4月 4日（火）　新入生オリエンテーションでの入会案内（於：箕面キャンパス）

4月 22日（土）　新入生歓迎会（於：豊中キャンパス「宙」）

4月 30日（日）～5月 1日（月）　大阪大学いちょう祭

4月 30日（日）　大阪大学ホームカミングデイ（於：豊中キャンパス）

6月 3日（土）　第1回「咲耶会女子会」（於：府立中之島図書館「スモーブローキッチン中之島」）

6月 17日（土）　司馬遼太郎記念学術講演会（咲耶会協賛事業）（於：サンケイホールブリーゼ）

6月 24日（土）　第2回「咲耶茶論」（於：中之島センター）

7月 1日（土）　大阪大学夏まつり（於：箕面キャンパス）
模擬店「咲耶会の古本屋さん」出店

7月 2日（日）　第2回「咲耶出版大賞」選考委員会（於：中之島センター）

7月 10日（月）　会長・副会長会議（於：大水綜合法律事務所）

7月 23日（日）　平成28年度会計監査（於：咲耶会事務局）

8月 5日（土）　第5回幹事会（於：中之島センター）

10月 14日（土）　第2回「咲耶会女子会」（於：京都「キエフ」）

11月 3日（金）～ 5日（日）　大阪大学まちかね祭（於：豊中キャンパス）

11月 11日（土）　平成29年度咲耶会総会・懇親会（於：大阪大学会館）
第6回幹事会（幹事・支部長会議）
※詳細は裏表紙「咲耶会総会案内」をご覧ください。

11月 25日（土）～ 26日（日）　語劇祭（於：箕面キャンパス）

★各委員会活動については省略しています。

平成28年度 決算報告（平成28年 7月 1日～平成29年 6月 30 日）

		通常会計	積立金会計	学生支援特別積立金会計	咲耶（同窓会会報）会計	内部消去	合計
収入	入会金収入	2,525,000	受取利息 7,988	受取利息 1	咲耶賛助金 2,478,000		
	年会費収入	4,755,000			咲耶広告収入 220,000		
	名簿及年史収入	18,000			補助金（通常会計から） 2,400,000		
	総会収入	442,000					
	積立金会計から	3,000,000					
	雑収入	240,977					
	合計（その他共計）	10,980,977	合計 7,988	合計 1	合計 5,098,000	-5,400,000	10,686,966
支出	咲耶補助金	2,400,000	通常会計へ 3,000,000	留学就職援助金 233,763	咲耶作成費 2,424,531		
	援助金	744,984		通常会計へ 1	咲耶通信費 1,984,006		
	事業費	2,048,712			振替手数料 47,588		
	運営費	4,577,842					
	合計（その他共計）	9,771,538	合計 3,000,000	合計 233,764	合計 4,456,125	-5,400,000	12,061,427
収支差額		1,209,439	-2,992,012	-233,763	641,875	0	-1,374,461

期首正味財産（前期より繰越）	1,643,884	48,142,137	233,763	70,750	0	50,090,534
期末正味財産（次期へ繰越）	2,853,323	45,150,125	0	712,625	0	48,716,073

平成29年度 予算案（平成29年 7月 1日～平成30年 6月 30 日）

		通常会計	積立金会計	咲耶（同窓会会報）会計	内部消去	合計
収入	入会金収入	2,500,000	受取利息 7,900	咲耶賛助金 2,400,000		
	年会費収入	4,800,000		咲耶広告収入 193,000		
	名簿及年史収入	620,000		補助金（通常会計から） 1,800,000		
	総会収入	700,000				
	積立金会計から	0				
	雑収入	240,100				
	合計（その他共計）	8,860,100	合計 7,900	合計 4,393,000	-1,800,000	11,461,000
支出	咲耶補助金	1,800,000		咲耶作成費 2,500,000		
	援助金	800,000		咲耶通信費 1,800,000		
	事業費	1,560,000		振替手数料 50,000		
	運営費	4,751,000				
	合計（その他共計）	8,911,000	合計 0	合計 4,350,000	-1,800,000	11,461,000
収支差額		-50,900	7,900	43,000	0	0

期首正味財産（前期より繰越）	2,853,323	45,150,125	712,625	0	48,716,073
期末正味財産（次期へ繰越）	2,802,423	45,158,025	755,625	0	48,716,073

大IN21回生同窓会

小田敏治（大 IN21）

各地区持ち回り幹事で、今年は大阪幹事となり懐かしい上本町六丁目「南海飯店」にて開催となりました。昔親しんだちょっと怪しい路地から明るいビルの地下街に移転したとのことで、移転後初めての訪問者も多く、何はともあれ「餃子」「ビール」を注文し変わらぬ味に舌ツヅミを打ちました。

今回初めての参加となる方もあり、各地あっちこっちと転居がありましたがやっと所在掴み連絡を取り合い今回めでたく初参加となりました。住所不明者2名を除きほぼ全員の出席（16名）となり昔話に花を咲かせました。

次回は四国開催で阿波踊り見物をするということで開催日は阿波踊り最終日の8月15日と決定しました。

大阪外国語大学体育会合氣道部 和氣會（わきかい） 創部55周年総会

合氣道部 OB会　会長　**戸倉光明**（大 IP17）

大阪外大が上本町八丁目に在った時代の昭和37（1962）年に、合氣道同好会は、高志睦夫・吉井正幸が土尾克巳・長岡慧らを伴って発足させた。当時は大阪府警曾根崎警察署・福島道場で指導されていた小林裕和師範八段の指導下で、稽古をしていた。

初めて出場した全日本合気道演武大会の昭和42（1967）年に、大阪外国語大学体育会の合氣道部に正式昇格をした。その後は毎年度連続して日本武道館での「全日本合氣道演武大会」に出場してきた。外大の体育会の中では希な、全国大会出場する運動部と自負している。OB会活動として、2017年は2月18日（土）、箕面学舎の大阪外国語大学記念会館に於いて恒例の「合氣道部和氣會のOB会年次総会」が開催された。当年度は卒業部員の追出し稽古会に並行して「合氣道部創部55周年記念式典」が有り、合氣道部のOB.OGが集い武道場にて稽古をし演武の披露をして、旧交を温めた。合氣道部名誉部長の塚本 勳名誉教授（朝鮮語）ご夫妻もお越しくださり、後段の和氣會懇親会にも出席された。

植芝盛平（1883–1969）翁が創始した合氣道は、相手と競わず争わず勝敗を求めない、体術を主とする総合武術である。現在は、世界130余の国と地域に広がり国内では約2,500箇所の合氣道道場がある。

武道館での全日本合気道演武大会にて

勝敗を求めない事から、和の武道・平和の武道、海外では「動く禅」とする向きもある。老若男女が交互に技を仕掛け合う稽古方法は、合氣道の特徴である。

大阪大学外国語学部の合氣道部は、大阪外国語大学合氣道部の流れを引継いでいる。外国人の部員やOB.OGがいる事が特徴である。ルーマニアのFlorin Popescu（32代）は、阪外大から京都大学院卒で日本文学博士であると共にブカレストで合氣道をまなぶ道場を開いている。国内では、池田憲夫（8代）が和氣會として合氣道部を指導し、また野村直美（21代）野村美佐（22代）は夫妻で福井市に愛結会道場を開きロシア和氣會へも指導をしている。各道場には、国籍に拘わらない合氣道の愛好者が参加している。

2017年6月11日に新入部員を迎えて、滋賀県和爾浜で恒例の新入部員歓迎合宿をした。昨年秋から入部した3名の留学生と3名の日本人新入部員を含む部員12名とOB.OG7名の19名新歓合宿となった。

和爾浜での合宿の様子

第1回キンキラ会東西合同ゴルフコンペ

東京キンキラゴルフ会　会長　**鈴木庄太郎**（大 D9）

大阪キンキラゴルフ会は1968年8月に発足し、今年第132回目の会を、又、東京では、1962年4月に咲耶会東京支部ゴルフ同好会として発足した後、1969年10月に大阪に名前を合わせて東京キンキラゴルフ会と改名し、今年春第120回目を夫々行ったと言う歴史あるゴルフ会です。

1970年には第1回東西対抗戦が行われ、大阪外大学長杯の争奪をやっていたとの記録があるが（当時は名古屋支部も大阪勢に加わっていた由）、その後長年中断していました。

2016年に、関東・関西在住の1957・58年度英語科卒業の方々がやっていたOEGゴルフ会に合わせて、再度東西キンキラ会合同ゴルフ会をやってはどうか、との話があり、東西両会関係者で検討の結果、2016年9月末に改めて「第1回キンキラ会東西合同ゴルフコンペ」として行うことになりました。

（1）開催日: 2016年 9月 29-30日
（2）場　所: 静岡県かんなみスプリングス カントリークラブ
（3）参加者: 東京 23名、大阪 9名　合計 32名
（4）東西対抗戦の結果:
　団体戦（夫々の上位 7名のネットスコア合計点での争い）
　東京 512.8点／大阪 531.2点で東京の勝利
　個人戦　優　勝　一色宏明（大 B30/ 東京）
　　2 位　岩垣健治（大 E4/ 大阪）
　　3 位　松本　良（大 S11/ 大阪）
　ベスト・グロス賞　楠本　渉（大 S12/ 東京）
　※ 40・39 = 79

尚、29日夜の前夜祭は、大阪キンキラ会・内山正克（大 E4）のピアノソロ演奏会で始まり、全員聴き惚れた後宴会場に席を移して楽しく杯を上げ、大いに盛り上がりました。

今年は、9月27-28日に「第2回キンキラ会合同ゴルフ会」を、昨年と同じ「かんなみスプリングスカントリークラブ」で行うことにしております。昨年同様大勢の人に参加願って、大いに盛り上がることを切望しております。

グリークラブOB合唱団

大阪外国語大学グリークラブ記念誌編集委員会　代表　**南野均**（大 F9）

『グリークラブ記念誌への寄稿お願い』

大阪外国語大学グリークラブは昨年創立90周年を迎えましたが、このたびOB有志が集い、この機会に「記念誌」を編纂することとしました。記念誌の内容は、グリーOBからの寄稿を主体とし、今までグリーに蓄積された多くの資料、データ、写真、年表、などで構成する予定です。

グリーOB以外の皆様からも、外大グリーにまつわるご自身の思い出やグリーの演奏活動へのご感想、今後のグリーOB合唱団への期待など、ご寄稿いただければ大歓迎です。原稿は1600字までとさせていただきます。締め切りは本年11月末です。お寄せいただいた玉稿のすべてが掲載できない場合もありますが、ご協力いただいた皆様には記念誌を一冊謹呈申し上げます。発刊は遅くとも2018年8月の予定です。なにとぞ奮ってご寄稿くださいますよう、お待ちしております。

＊原稿送付・ご照会: 新出武雄（大 S11）
メール: takeos@image.ocn.ne.jp
郵　便: 〒248-0025 鎌倉市七里ガ浜東 3-25-3までお願いします。

ロシア語大27期・大28期同期会

河井洋子（大 R27）

大阪外大ロシア語学科27期、28期卒業生は、2016年7月2日に京都のロシアレストラン「キエフ」にて同期会を開きました。当初、ロシア語基礎文法を教授してくださった小野堅先生、石田修一先生、そして特別ゲストに山口慶四郎先生をお招きする予定でしたが、山口先生がご逝去され、小野先生は体調不良で（同年ご逝去）欠席となり、石田先生が参加されました。先生は退職後もとてもお元気で、社会活動などに参加されています。

総勢18名がロシア料理を楽しみながら旧交を深め、最後に岩田正美さんがチェロでロシア民謡「黒い瞳」を熱演しました。2次会は、八坂神社の近くの長楽館カフェでさらに懇親を深めました。次回は 2020年、オリンピックの年ですが、晩秋の頃、東京で開催を予定しています。

卒業して、もう56年

36会幹事役　**鈴木庄太郎**（大 D9）

我々ドイツ語学科・昭和36年（1961年）卒業生は、第1回同級会を卒業後の25年目におこない、36会（さぶろくかい）と名付けました。その後、卒業後30年・35年等5年毎に会を持って来ましたが、昨今は亡くなる人も出て来たので、出来るだけ多く会うことにしようと毎年おこなっています。当初は夜の宴会とか一泊旅行とかでしたが、卒業後40年目（2001年）の会合から、出来るだけ多くの出席が可能な昼食会形式となりました。そのうちに朝飯会になるかも?と心配ですが…。

同期生は、卒業時18名だったのが、死亡者・所在不明者もあって現在は12名と少なくなり寂しい限りですが、第15回目の会は、今年6月22日に東京・新丸ノ内ビル内の四川豆花飯荘に10名が集い、楽しい3時間を過ごし、その後更に近くのコーヒーショップに席を移して夕方まで積もる話に時を忘れました。話題は矢張り健康のこと・高齢者社会福祉制度・家庭内の諸問題・現在やっているボランティア活動などでしたが、安倍政権のやろうとしている憲法改定問題も話題になりました。当時、我々が大学3年生の春、岸首相（安倍総理のお祖父さん）、の安保改定問題で反対運動が激しくなり、東大生だった樺さんが反対デモに参加して死亡すると言う事件が起こったし、上八の学校も殆ど授業が行われず連日御堂筋をデモ行進したことを思い出した者もいました。

将来の話になった時、丁度今年80歳の傘寿となるものが殆どなので、これを記念に来年春にドイツ国内を列車で旅行（錆びたドイツ語をもう一度使う）しようとの声が出て、今後具体的に煮詰めることとなりました。

名残惜しい散会でしたが、来年春の再会を約して夫々帰路につきました。

モンゴル語科同窓会「朔風会」懇親会の開催

阿部博司（大 M21）

平成29年6月10日（土）、ホテルアウィーナ大阪で、約2年振りの朔風会懇親会を開催致しました。参加者は昭和と平成の卒業生の割合はほぼ半々で、橋本勝会長（大阪外大名誉教授）をはじめ計27名。関東、四国、中国そして九州と遠くからも参加あり、久しぶりの対面に、懐かしい想い出話や近況報告等に花が咲き、会は盛り上がっておりました。

会場では若い方々からは、外語・語科の旧制時代からの歴史や大先輩方々の活躍状況等を知りたいという声が多くありました。このような懇親会が、熟年組は在学および在勤等当時に学び知りえた種々知識・情報を若い卒業生に発信し、そして現役や若い人は最近の学問研究内容・社会経済情勢や企業情報等をリタイア組に発信していくような交流の場になればと願うものです。

今後は、モンゴル語科卒業生のさらなる交流、情報交換の活性化を目指し、今回のような懇親会、会報の発行や新規企画を含む各種行事を実施し、多くの卒業生に参加をしていただければよいかと思っております。

そしてできるだけ多くの卒業生の方々に連絡、コンタクトできるような体制をつくるべく朔風会の皆さまのみならず咲耶会の皆さま方にもお知り合いの方々へのお声掛け等ご協力、ご支援をお願い申し上げる次第です。

大阪大学福井県同窓会が発足

咲耶会福井支部長　山下裕己（大 S23）

大阪大学、大阪外国語大学、両大学院の卒業者でつくる「大阪大学福井県同窓会」の設立総会が9月3日、福井市内のホテルで開かれました。県内出身および在住のOB・OGら約200人が出席しました。

同窓会 設立総会
阪大 本県同窓会が発足
連携アピール

福井県同窓会の設立を伝える福井新聞の記事
（2016年9月4日朝刊）

初代会長に前田征利（前田工繊社長／基礎工学部卒）を選出。前田会長は「幕末の福井藩士・橋本左内が学んだ適塾の流れを引き継ぎ、福井や日本のイノベーションを起こす役割を果たしてほしい」と挨拶しました。

総会には阪大の西尾章治郎総長や小川哲生副学長ら7名、さらに福井県の西川一誠知事が来賓として参加され、実学重視の伝統を持ち、開かれた大学を目指す阪大と、多様な産業が集積し「幸福度日本一」といわれる福井県が連携を深めるために、同窓会が積極的に貢献するという「福井と大阪をつなぐ同窓会宣言」を採択。三者が産学連携を進めることを誓ってがっちりと握手を交わしました。

引き続き記念パーティーが開かれ、女性団長が率いる阪大応援団が力強い演舞を披露。「咲耶会」からも多くの会員が出席し、お互いの近況を報告するなど親交を深め合い、学生時代の思い出を語り合うなど、初めての同窓会は盛況のうちに進行しました。

釣り銭で途上国の子供たちの就学を支援

辻　秀和（大 S23）

私は、在学中はハンドボール部に所属していました。卒業後、就職場所の関係で東京在住・在勤の同期や先輩後輩のメンバーと不定期に会っていました。会の特徴は、先輩後輩の垣根のないことでした。そんな中、1998年7月、私が会社（OKI）の社会貢献を推進する部門に配属されました。企業の資金・人材・資産を活用して様々な社会貢献活動をする中で、様々なNPO・NGOと交流しました。同じ頃、ハンドボール部メンバーの会も更なる先輩後輩に加え、部以外の外大卒業生にも拡大していきました。これを機に、会の名前をU8R（Upper Eight Renaissance：上八再生会）と名付け、定期的に集まる会（2ヶ月に1回）が発足し、会で余った釣り銭で途上国の小中学生の就学を支援する公益財団法人民際センターの「ダルニー奨学金制度」に参加することが決まりました。1999年12月より釣り銭募金を開始し、2001年度からタイの中学1年生を卒業まで、3年間支援しました。当時は一人1年間1万円で支援できました。それ以降、タイ中学生1名、ラオス小学生7名のそれぞれ卒業までの3年間を支援してきました。2015年からはミャンマー中学生1名を4年間支援中です。現在U8Rメンバーは様々な事情で10名程度に減りましたが、年1回送られてくる奨学生のプロフィールを見る度に、お父さんたちも「世の中のために役立っている」と感じているそうです。

2017 年 7 月 21 日、ダルニー奨学金証書（抜粋）

2004 年 4 月 15 日、初期U8Rメンバーと会食会にて

大外大IP10同窓会

久保泰三郎（大 IP10）

2017年5月10日、11日と二日にわたり、大外大 IP10同窓会を高松で行いました。茨城・東京・名古屋・大津の各地よりそれぞれ1名と小生、計5名で当日午後金毘羅山へ。年齢を考え、中腹より一段一段とゆっくりと上り本宮参拝。健康を念じました。

夜は瀬戸内海鮮料理を堪能し、翌日は三大美庭園栗林公園を散策。その後源平の古戦場・屋島山頂へ。山頂は瀬戸内海の眺めは抜群でしたがかなりさびれており、兵どもの夢のあと…。昼は名物讃岐うどんを食し、空港より2名、JR高松駅より2名、再会を約し帰路につきました。

『アヴローラ』ロシア語学科22回総会で「森友学園問題」

塚田雅子（大 R17）

『アヴローラ』は大外大ロシア語科同窓会・阪大外国語学部ロシア語専攻同窓会です。去る6月17日、阪大待兼山会館2F会議室にて、卒業生・在校生約40名参加のもと22回総会が開催されました。

今回の目玉はⅡ部卒業生（ⅡR25）で、現在豊中市会議員の木村真さん。今話題の森友学園をめぐる国有地払下げ問題に関してその疑惑に誰よりも早く気づき、情報公開を求めて財務省近畿財務局を相手に提訴したことで知られる、いわば「森友問題」の火付け役となった方です。同窓会のためならと、快く講演を引き受けてくださいました。

講演の前半は学生時代の失敗談や卒業後のユニークな職業体験が中心でしたが、後半は件の森友学園問題に話が及びました。疑惑を感じるきっかけやマスコミ各社に取り上げられるまでの苦労話など当事者だから話せる様々なエピソードを、ユーモアを交えながらも熱心に語られる木村さん。不正を許さない確固とした信念に溢れ、臨場感たっぷりのスピーチに引き込まれ、時が経つのを忘れて聞き惚れた 1時間でした。

場所を1Fの学食『リブレ』に移しての懇親会は、出席者最年長の藤川さんの乾杯の音頭で和やかに始まりました。一段落した後は恒例の近況報告会。参加者一人ひとり、少しの時間でしたがマイクの前で近況を語っていただきました。木村市議のお話に刺激されたのでしょうか、10代の学生さんから80代の同窓生まで、皆さん例年になくお話に熱が入り、予定終了時間をオーバーしたほど。様々な人生に出会えたひと時となりました。

今年25号を数える会誌『アヴローラ』と共に、今後とも引き続き皆さんのご支援とご参加をいただけましたら幸いです。

北海道支部

喜多義憲（大 M20）

総会に過去最多の出席　持続可能な活動めざす

6月24日、咲耶会北海道支部の第4回総会・懇親会が、東北以北最大の繁華街札幌ススキノにあるグランド居酒屋富士で開かれ、来賓の樽井一仁・咲耶会副会長（本・支部連携委員長）、黒木一吉・東北支部支部長夫妻を含め19人が出席しました。

総会は、久保田法順さん（大 A27/札幌）を議長に、喜多義憲支部長（大 M20/札幌）が1年間を振り返り、「総会・懇親会、秋の園遊会、本部総会出席、東北支部との交流など地道な活動ができた」と総括。「引き続き広大な支部エリアに住む会員同士の心の交流の場として持続可能な活動を探っていきたい」と抱負を述べ、承認を得ました。

続く懇親会では最長老の大谷昭三さん（IN26/小樽）ら出席者全員がスピーチに立ち、学園生活の思い出や近況を語り合いました。

道内からの出席者は過去最多の15人。初出席は6人。居住地も道央から函館、室蘭、滝川、新得と広がりました。総会出席は難しい人も、会報寄稿やメール、Facebook「咲耶会北海道支部」を通じた双方向交流をお願いし、地方都市開催も視野に、親睦本位の活動を続けたいものです。

総会に先立ち、アイヌ民族史を研究する平山裕人さん（北海道教育大卒、小樽・高島小教諭）が記念講演。来年、明治150年を迎えるにあたり、中央からとは異なる歴史認識で北海道史を捉えなおす原点として、今から約350年前の「シャクシャインの戦い」に焦点を当てて解説、出席者に感銘を与えました。

過去最多の出席者が楽しく語り合った第 4 回北海道支部総会。右上の顔写真は、一足先に退席された最長老の大谷昭三さん＝札幌ススキノの「グランド居酒屋富士」にて。

東北支部

黒木一吉（II E10）

仙台観光を兼ねて支部総会へご参加下さい！

着実に参加者が増える支部総会を目指しましょう！

東北支部の28年度総会は、紅葉が目にまばゆい11月5日、杜の都・仙台駅ビル1階中国料理店「中嘉屋」で、本部から少徳敬雄会長ご夫妻、僚友支部の喜多義憲北海道支部長を迎えて開催した。

少徳会長は咲耶会の財政運営について、次年度以降のプライマリーバランス化に向けた協力を要請。ニューヨークを表敬した際、在住OGと懇談できた喜びも披露した。出席者の自己紹介の後、東北大学名誉教授の箱木眞澄先生（大E7、福島市在住）が「上杉鷹山公の産業政策～その現代的意義～」と題し記念講演。石高120万石から30万石、15万石へと減封されながらも改革の灯を燃やし続け、35歳で隠居後も疲弊した米沢藩の立て直しに尽力し、見事に黒字化した史実を紹介した。

支部総会を機に会員同士の相互交流も盛んになり、横手かまくら見学や被災地訪問、また神戸市や川西市在住の先輩OBから「宮城がんばれ！」との激励が相次ぎ、交流を続けている。

東京支部

樽井一仁（大R23）

咲耶会東京支部ビアパーティ

咲耶会東京支部恒例のビアパーティを7月22日（土）に清澄庭園で行いました。参加人数は100名で、内訳は男性65名・女性35名、昭和卒業生60名・平成卒業生40名でした。大阪外大・大阪大外国語学部以外の参加者は大阪大卒7名、東外大卒1名でした。仙台からは黒木東北支部長夫妻が特別参加されました。

今年は趣を変え、東京都指定名勝に指定されている「大正記念館」が会場でした。由緒ある建物ですので、歌や踊りは禁止、ゴミは持ち帰りとなりました。いつもの喧噪さとは違い静かに進行しました、と書きたいところですが、参加者は話に夢中になりそれなりの騒音と熱気に溢れていました。今回は、子連れ参加を推奨したこともあり、ベビーカーを押すヤング・ママの姿も見られ、子育て世代に好評でした。

最近のビアパーティと比べて男性、昭和卒の割合が高くなりました。これは、会場に落ち着いた清澄庭園を選んだことが影響しているものと思われます。

来年の夏もまた若手幹事による新しい企画で、多くの方々に楽しんでいただけるビアパーティを実施したいと考えています。

名古屋支部

白岩　修（大D19）

平成 28～ 29年度咲耶会名古屋支部活動状況

当支部では恒例の月例会「三水会」（毎月第三水曜日正午から約2時間の昼食懇談会　於アパホテル名古屋錦 Tel.052-953-5111日本料理「伊勢」）を開催しており、毎回活発な意見交換に花咲き楽しい会となっております。毎回6～9名の参加を得て、政治問題、外交問題、宗教問題、趣味、孫その他諸々の話題で楽しい会となっています。是非、ご参加ください。お待ちしています。なお、8月と12月の「三水会」は休会です。

平成28年12月10日（土）には総会（忘年親睦会）を開催し25名の参加がありました。本会ではゲストスピーカーとして吉田春生氏（大D18 集合写真前列右から4人目）をお迎えし「観光立国の現在――観光マーケティングの視点から」と題し、1970年卒業後（株）日本交通公社（現：JTB）に入社して約20年間勤務したご経験と、更に後に 16年間鹿児島国際大学に勤務した（専攻：観光論）ご経験に基づく、大変興味深い講演をしていただき参加者一同大変感銘を受けました。

又、平成29年1月18日（水）夕刻には新年会を開催し、12名の参加を得ました。日本料理「伊勢」の美味い料理と飲み放題の為歌も出たりして非常に盛り上がり、会員間に尚一層強い絆が生まれました。

本年12月9日（土）には昨年同様「アパホテル11Fビルゴ」で総会（忘年親睦会 12：00～ 14：30）を開催する予定です。ゲストスピーカーとして中林速雄氏（大R7）をお迎えし「日本語あれこれ」と題し講演をしていただきます。詳細は36ページの「支部総会案内ページ」をご覧ください。

平成30年1月17日（水）には今年同様「アパホテル5F日本料理 伊勢」で新年会（17：30～20：00）を開催する予定です。こちらもご参加をお待ちしています。

お問合せはTel/Fax：052－806-7873　E-mail：shiraiwa1123@yahoo.co.jp 白岩 修（名古屋支部幹事）まで。

岐阜支部

安田哲司（大IN30）

平成29年6月18日（日）に岐阜支部総会をじゅうろくプラザの欧風料理ラ・ローゼプロバンスにて実施いたしました。参加者は、玉木功一氏（大R4）、日比志郎氏（大S6）、松尾充哲氏（大IN9）、髙木嘉彦氏（大F13）、奥田一夫氏（大F26）、加藤健二氏（大DM32）、安田哲司（大IN30）の7名でした。

はじめに、少徳会長より頂いた資料より咲耶会の非常に厳しい現状及びその対策を踏まえて、支部として今後どのように進めていくかを話し合いました。

玉木氏は、外務省を定年退職後は関西外国語大学で教鞭をとり、その後の平成17年から岐阜市内で市民にロシア史などを教えられていて、今年で10年目となるとのことです。

高木氏は、関ヶ原町が推し進めているベルギー王国のワーテルロー古戦場、アメリカ合衆国のゲティスバーグ古戦場と連携して世界三大古戦場共同宣言を行い、外国人観光客にも楽しんでもらうという活動に参加されるとのことでした。

また、加藤氏は、高等学校で英語の教師をされていて、吹奏楽部の部活動後駆けつけてくれました。

時間がたつのも忘れ楽しいひと時を過ごしました。

来年度の岐阜支部の総会は6月ではなく、11月に開催いたします。案内はこの会報36ページに掲載しておりますので、ご参加の程よろしくお願いいたします。

石川支部

吉田孝子（大IT37）

設立総会開催　11名参加

平成28年10月8日（土）ANAホリデイ・イン金沢スカイで石川支部が、ようやく産声をあげました。

支部長に楠根重和（院D7）、事務局長に私、事務局は伊藤美貴（大D37）、得田麻美子（大V53）を役員として選出し、支部規約の承認を得ました。

ここまでの道のりは平成27年9月の意見交換会、直前の7月の設立準備総会と、いつも参加者はいるのだろうかとドキドキしましたが、石川支部があったらいいなという思いが集まった結果だと思います。

大阪大学ホームカミングデイでも司会をされている小川真由さん（日本語大56）の協力を得て、華やかに最初の会を催すことができました。咲耶会副会長の樽井様には準備段階の支援の他、当日はミニ講演をして頂き大阪大学の現状を知ることができました。後半の自己紹介も和気あいあいと楽しい会でした。私は感動して少し泣いてしまいました。

石川支部はまだひよっこですが、これからも息の長い活動ができるように事務局の女性3人が力を合わせてまいります。また新しい出会いがあることを期待して。次回はホテルを離れてカジュアルに開催する予定です。皆様の参加をお待ちしています。

福井支部

山下裕己（大S23）

平成28年度の福井支部総会は8月27日（土）、JR福井駅前の「福井セントラルホテル」で開催されました。ここ数年は一桁台の出席者でしたが、今年は恒例のメンバーに加えて、若い女性を含めニューフェイスも参加していただき、総勢 12名のにぎやかな会合となりました。

例年通りの活動・会計報告に続き、今回は1週間後の9月3日に設立される「大阪大学福井県同窓会」について説明がありました。大阪大学・大阪外国語大学・同大学院を卒業した福井県出身者および福井県在住者が対象で、咲耶会県支部の会員数名も準備委員会に参加しています。来年度以後の咲耶会支部総会は阪大の開催時期と近接するため、これまでの夏季開催から春先の3～4月開催で調整することにしました。

この後、森茂前支部長（大 E4）の乾杯の音頭で酒食を囲みながら懇談に入りました。角智子さん（大 K41）ら若手卒業生からは箕面キャンパスが2021年度に箕面船場に移転する話題が提供され、学生時代の思い出話に花が咲きました。また加藤みどりさん（大DM57）が赤ちゃん連れで参加され、和やかな雰囲気の懇親会となりました。

最後に万歳三唱で県支部の発展、会員の健康と健闘を願い、来春の再会を誓い合いました。

京都支部

西尾　齊（大E11）

2016年度京都支部例会が11月19日（土）、例年どおり京都ガーデンホテル「彩宴」（京都市中京区室町御池）で開催。最高齢（90?歳）の寺田傳さん（S21/大阪外事専門学校・イスパニア科1944年9月卒）や滋賀県湖南市から参加の正保富三さん（大E1）をはじめ会員27名と神谷・奈良支部長が出席されました。

○ **講演**　NPO法人「介護保険市民オンブズマン機構大阪」事務局長の、堀川世津子さん（大P27）から「介護施設への入居を考えたとき～施設選びをする前に知っておきたいこと～」と題して、介護保険にまつわる実務経験に基づいた示唆に富むお話をしていただきました。

○ **総会・懇親会**　講演に引き続き、総会議事に移り、会務・

会計についての報告を承認。また咲耶会本部幹事(京都支部推薦)に、荒木泰子(大E10)さんに代わり中塚博己(大S18)さんを選出。次いで総会のあと行なわれた懇親会は、会員相互の交歓の場として大いに盛り上がりました。

2017年度例会は、講師に正保富三・元大阪外国語大学教授を迎え(演題:「英語の冠詞の考え方」)、10月28日(土)に開催します。

奈良支部

神谷忠雄(大E4)

本年度の支部総会は、去る6月4日(日曜日)に、奈良市の外れ古市町の「東市地域ふれ合い会館」を借りて年度決算報告・承認と新年度の人事承認の議事を済ませて、会食の後、地元の篤志家で、得意のAccordionを肩に、毎月、大阪は“釜ヶ崎”三角公園で、その近辺に住む人々の為に音楽奉仕をしていらっしゃる、杉本好弘さん(73歳・浄土宗僧侶)を囲んで「明治以来の懐かしい歌より」を歌う会をしました。時間のせいか、盛り上がりに欠けていました。

平成28年度の決算報告他要点: 支部会計の平成28年度決算は、収入が32万、支出43万。平成29年3月31日の支部余剰金残高は123万円となっております。監査役・高畑滉さんの監査報告のあと、本決算は承認されました。

支部役員人事:この平成29年6月4日にて、その2年間の任期が満了する事になっていましたが、改めて、現在の役員全員が2年間、平成31年6月の総会時まで再任されました。実は「あと2年だけ」という懇願で、押し切られた役員諸兄姉には本当に申し訳なく、これからの2年間に次期役員の目途を立てないと、平成31年6月に奈良支部は解散という憂き目に逢うかも知れない、ので有ります。課題の重さにいささかタジログ感じですが、現行の関係事業企画〜英書購読、中国語上級、サンスクリット語入門〜などを減らさず、若い会員の皆さんの参加を期待します。どうか、ご支援をお願いする次第です。

宣伝を一つ。奈良支部会員の片本善清さん(大C9)が、「友好商社を知っていますか?」と題して、昭和40年当時、野村貿易の尖兵として難しい諸条件下で中国貿易に従事された秘話を詳しく書いた素晴らしい回想記を出版されたので、それに付いて短くお話を聴きました。この本は支部に置いておりますのでどうぞ。

播但支部

岩田正美(大R28)

咲耶会播但支部から報告　(開催地: 東天紅姫路店)

咲耶会播但支部は、姫路を中心に播州、但馬地方にわたる約600名の会員から構成されており、釜谷支部長の下、50年近く活動を続けています。平成24年には京都亀岡に日帰りバス旅行をするなど世代を超えて交流を深めてきました。

毎年開催される総会・役員会では、30人近い会員が集い、高槻校舎、上八校舎で学んだ頃の懐かしい話や、世界にかけて仕事に飛びまわった貴重な体験談など、他の大学とは異なる“さすが外大”といった雰囲気があります。

会員の中には、地元の“播磨風土記”を研究されている方、日仏友好モニュメントの事業にも関わって来られた方、在学時から陸上を続け、大阪マラソン、神戸マラソンに記録をかけて挑戦されている方など、様々な方がおられます。

最近は、若い会員の大阪、東京方面への流出も多いのですが、本部事務局とも協力しながら、まずは会員の皆様に、より的確な情報をお送りできるよう支部長とも協力して支部が盛り上がるよう工夫していきたいと思います。

香川支部

小野　博(大E5)

平成28年度の香川支部総会は、2016年8月20日(土)午後5時より、栗林公園北門近くの「ルポール讃岐」で開かれました。出席者は10名でしたが、和やかな雰囲気に終始しました。

さて、今回は悲しいニュースが飛び込んできました。それも、この「支部だより」を書いている最中に。岡田常さん(R20)と、赤垣(岡野)睦雄さん(大E7)、お二人の先輩のご逝去のお知らせです。岡田さんは、昭和20年7月4日のB29による高松空襲の際、戦闘機に乗り交戦されたとの由。その後、国鉄・旅行会社に勤められました。赤垣さんは兵庫県出身ですが、勤務の関係で香川県に来られ、高校で英語教育に尽くされました。両先輩のご冥福を心からお祈り申し上げます。

終わりに、香川支部会員の皆さまにお知らせします。香川支部総会は、毎年8月の終わりから2番目の土曜日に行っています。前もってご一報くださり、お気軽においでくださいませ。

平成28年香川支部総会にて。後列左より、三谷(大E9)、高井(大E13)、廣瀬(大S10)、岡田(大R14)、谷(大IP9)、前列左より、黒田(真屋/大E14)、小野(大E5)、小林(大C8)、大西(R24)、森本(大S15)　姓のみ・敬称略

徳島支部

小田敏治(大IN21)

平成28年11月6日(日)ホテルグランドパレス徳島にて開催いたしました。今回は参加者少なく初参加の東さん(阪大H2)には申し訳なく寂しい会となってしまいました。今回は参加者を増やす試みとして「サラト」に記載されている県内在住者宛全ての方に、ご案内差し上げました。今後の開催のご案内の送付等についてご返事をいただき、ご自身が現在海外にいらっしゃる方ではご家族よりご連絡をいただきました。

現役でお仕事をされている方々には時間の制約もおありだと思いますがランチをする気分で気軽にご参加いただければ有難いと考えております。

今年は(平成29年)例年通り11月第1日曜日にと考えておりましたが3連休に絡んでしまいますので第2日曜日(11月12日)に開催したいと考えております。後日ハガキにてご案内差し上げますのでお時間の許すかぎりご出席くださいますようお願い致します。

宮崎支部

近藤哲二(II S10)

宮崎支部は、毎年同窓会を本部の総会の前後に開催しています。本年(2017年)は、6月15日に幹事会を開き、今年の同窓会開催の時期などを協議しました。

昨年は同窓会の案内状を会報『咲耶』に同封する方法を利用しました。これは期待した効果はありませんでした。今年は一昨年のように「サラト」を利用できるよう交渉してみようと思っています。

写真は、平成28年10月29日開催の同窓会出席者(16名)です。参加者は次の方々です(敬称略)戸高昭彦・黒木國益・松井宏益・宮田泰雄・笹原敬生・米田健一・前田陽一郎・竹前望美・櫛山桐加・木崎宣博・杉田亨一・井手田篤・川野道生・男成健一・梶英聖(熊本支部長)および投稿者

この会の特徴は、老若男女の幅広い世代が集いあうこと。2時間あまりですが、それぞれが近況を語り、また、それを聞くことにより、みなさんがそれぞれの立場で社会に貢献されているなーと感じ、さあ、私も明日から頑張ろう!という気持を起こさせてくれるところにあるのではないかと思います。

昨年の同窓会には、隣県の熊本支部・支部長も参加されました。今年も一人でも多くの同窓生が参加されますよう、しっかり取り組んでまいります。

サンパウロ支部

平野　茂(大S20)

咲耶会サンパウロ支部では年に最低一回の同窓会開催を目標としていますが、会員数の減少に伴い忘年会の集いが精一杯という状況です。思い起こせば、日本企業のブラジル進出ブームに沸いた1970年代から80年代初頭には、サンパウロだけで約30名駐在していた大阪外語大卒業生も今では僅か11名となり、タイミングが合って忘年会へ参加できる人は毎年5〜6人程度と寂しい状態が続いています。

そんな中、女性会員による積極的な広報活動の甲斐あって、大阪大学外国語学部在籍の留学生や研修生がサンパウロに複数人滞在していることが判明、昨年2016年の忘年会では留学生ら5名の特別参加を得て10名出席の盛大な忘年会を開催することができました。

現役の学生から昭和30年代の卒業生まで、世代は実に5世代近くにまたがりましたが、大阪外語大校舎の変遷史話や治安が悪いサンパウロでの暮らしなど話題に事欠くことなく、世代を超えた同窓会は愉快で楽しくあっという間に時間が過ぎていきました。

写真は、向かって左側手前から、川合真瑚(ポルトガル語3年生)、重本湧気(ポルトガル語3年生)、道下エレーナ(ポルトガル語3年生)、板屋誠(大A37/アラビア語・平成元年卒)、平野茂(大S20/イスパニア語・昭和47年卒)、右側手前から、山野美桜(ポルトガル語4年生)、草薙綾子(中南米大PB48/ポルトガル語・平成12年卒)、古谷敬治(大S7/イスパニア語・昭和34年卒)、富田祐司(大A33/アラビア語・昭和60年卒)、佐々木晴奈(南欧大PB60/ポルトガル語・平成24年卒)　(以上、2016年12月14日時点、敬称略)

マニラ支部

大矢　南(比較文化 大57/ペルシア語)

2009年に卒業し、フィリピンで暮らして8年目を迎えました。咲耶会マニラ支部の先輩方との出会いなくして、公私共にここまで充実した人生経験を積むことはできなかったと確信しています。20代前半から80代まで老若男女が集い、「○○語卒」から話を切り出せば、世間的な肩書きと時代空間をいとも簡単に飛び越え、笑い話からアカデミックな話題までフィリピン談義や様々な国・地域での経験談に花が咲きます。

いい意味での「コネ」や「ご縁」の大切さを感じています。それは「群れる」こととも違う。日本人で固まって群れることに抵抗のある私ですが、咲耶会だけは完全に別でした。外大の先輩方は自主独立、迎合せず個人の価値観を持って生きておられる方ばかり。仕事に限らず人生に複線を持っておられます。自立した個の集まりなので、過剰な付き合いやしがらみもない。

一方で相互扶助のパワーは脈々とつながっていて、時には初めての海外旅行で睡眠薬強盗に遭った外国語学部の学生を総出で救出、帰国までサポートしたり、仕事や活躍の機会を紹介してくださることも。でも徒党を組むことも、ひいきも存在しない。プロフェッショナルな個の集まりです。大阪外大らしい、マニラ支部の雰囲気に救われています。

「関取」にて（2016年11月17日）

香港支部

小林敏子（東アジア大 C57）

さて、今年も恒例の咲耶会香港支部の慰安旅行の時期がやってまいりました。いつも2泊3日ではちょっと物足らないということで、今回は3泊4日にしました。日程はイースターで、目的地をミャンマーに定めてたものの、ミャンマー正月とかぶっているらしく、どこのお店も営業してないと言われてしまい、東南アジアあちこちを検討した結果、カンボジアに決まりました。カンボジアでも正月なのですが、観光客に人気の街であるがゆえに、観光地エリアは開いているとのことでした。子供も参加してくれて、7名での決行です。

1日目、まずは香港からプノンペンへ。朝早いフライトだったこともあり、関西人らしく皆さん少し遅れてきます。笑。飛行機で爆睡したのち、到着後はいつもの専用車とガイドがお出迎え。学習がてらに王宮や歴史博物館を訪問し、夕食は川辺でカンボジア料理。この日のホテルはカンボジアにふさわしくない、デザイナーズブティックホテルで、女性陣と子供は120㎡ほどの広さがあるお部屋でくつろぎ、翌日に備えました。

2日目、カンボジアの代表的な観光地アンコールワットに向けて出発。シェムリアップ空港に到着するやいなやでアクシデント発生。予約していた車とガイドが正月の渋滞でまだ空港に着いてない!! 催行会社と連絡を取り、とりあえず自分たちでホテルに向かい、ホテルで合流。無事に合流して、すっかり安心したところで観光地に行くと思いきや、外大生らしく暢気にまずはご飯。笑。その後、メインのアンコールワットは翌日に残して、まずは遺跡群の小さな遺跡巡りで残りの時間を過ごし、夕食は伝統舞踊を見ながら優雅に高級ホテルで過ごしました。

3日目、ついに今回の最大の目玉であるアンコールワットです。正月っていうこともあり、観光客に加え、現地人もたくさん訪れてました。その圧巻さは言葉では表現できないほど、身体全体で歴史を感じた1日でした。夕食はカンボジア式しゃぶしゃぶで、徒歩でホテルまでの間に水をたくさんかけられ、否が応でも正月気分を味わわせられました。（笑）

4日目最終日は、特に時間もなかったので、お土産ショッピングで時間をつぶし、最後のアンコールビアを飲んで帰路につきました。

すでに来年の企画が始まってますが、どうやら香港のイースターは東南アジアの正月と必ずかぶるみたいなので、それを避けてミャンマーやブータンに行きたいと思います。

ヤンゴン外語会

一色宏明（大 B30）

赤い糸で導かれ、ミャンマー企業で働き始めて、早いもので7ヵ月。初めての雨季を迎え、インド東部地域に見られたベンガル湾気候に近いものを感じながら、往復約1.5時間の通勤の車中を過ごしている今日この頃。思った以上に早く環境に適応できたのは、ヤンゴンに住む大阪外国語大学（大外大）B語卒業生、大阪大学（阪大）になっての同卒業生並びに留学生とインターンの集まりで、振り返りができ、お互い励ましあうと共に、何か共通点を感じあえる「和み」が一助となりました。

ヤンゴン外語会的集まりとしては、不定期ですが忘年会とその勢いからの新年会を軸に、年4～5回実施。最近では、昨年12月14日に阪大と東京外国語大学（東外大）からの留学生を含めて約15名の火鍋会、今年2月9日に東外大副学長他のご出張者と共に、他語科卒業生も含めて20名強が集まる大阪王将会（写真参照）、それに有志で集まる数回の山賊の会。

ミャンマーに長く貢献されている諸先輩とは異色ですが、19年間の商社時代に連続10年間、英国と中国で生活。転職後の14年のメーカー時代に、中東/東アフリカを管轄するUAEで4年、その後 7年以上インド事業に従事、ほぼ毎月出張。この間、学んだミャンマー語に触れることは皆無。しかし、縁が縁を呼びこの地に辿り着き、この歳で共同水浴び生活から始め、蚊との闘いを克服、水の影響もさほどなく塩味のするプールで泳ぎ、譲り合いの精神が残るとはいえ、現地免許で交通渋滞の中を運転。将来、中国とインドの接点になるであろうこのミャンマーで「わくわく感」を共有しています。皆さん、是非お立ち寄りください。

ハノイ支部

勝原尚実（大 B24）

先の天皇皇后両陛下のご訪問等で昨今、注目を浴びておりますベトナムのハノイ支部です。昨年暮れにハノイ支部として登録させて頂きました。ハノイ支部は東京外大と合同で「ハノイ外語会」と称して、長年、活動を続けてきております。ここハノイには、ベトナム語専攻の卒業生を中心に、登録メンバーだけでも15名程の方が在住、様々な分野で活躍され、躍進著しい当地の発展に貢献されております。会は不定期開催ですが、年に数回は会合をもち、メンバーの親睦と情報交換などを行っております。加えて、毎年、阪大ベトナム語専攻の留学生にも参加してもらい、卒業生との交流を通して、ベトナムをより深く知ってもらうべく、こちらも積極的に懇親を図っております。

このようなハノイ支部ですが、これからも在住卒業生及び留学生の親睦を積極的に推進してまいります。今後、ハノイへご赴任の際には、ぜひハノイ支部へご参加ください。皆様のご来越をお待ち申し上げております

北米同窓会

北米同窓会 日本支部担当理事 久保井亨一

7月3日（月）午後6時から、恒例の“阪大北米の会”の特別バージョン（学生交流イベント）“OU-UC Get Together”が、北米同窓会日本支部主催、UC/UCEAP大阪オフィスや阪大日米学生会・咲耶会などの協賛で開催され、日米の学生を中心に、教職員・会員・ゲストらが賑やかに集い、予定の130名を越える大盛況で、開催されました。

会は、阪大日米学生会・副代表の島谷くんのパワポを使った司会進行で、竹中教授・Ino教授のOU, UC両サイドからの挨拶の後、星野前副学長から乾杯の挨拶があり、学生たちの活躍への賛辞・激励とともに、いつもUC大阪オフィス主催の特別講義でお世話になっている Ino先生とDebbieさんのご結婚（7月22日@ハワイ）に対して、お祝いの言葉を送っていただきました。またお二人には、阪大日米学生会・代表の白川さんから、花束の贈呈があり、ワニ博士（マッチーくん:マチカネワニ=写真中央）との記念撮影もありました。このワニくんに”マチカネFM”のマイクを持たせて、インタビューしてもらいたかったのですが…。この暑い大阪で、ワニくんの着ぐるみに入って頑張っているだけでも大変な学生には、これは少し酷過ぎますよね。しかし次の機会には、何とかマイクだけでも持たせたいと思っています。もちろん目的の日米学生ネットワーキングのための交流イベント（ゲーム:Complete）や、アカペラ学生サークルAirlyの出演などでも盛り上がりましたが、UCSBの山内陽子先生の締めの挨拶で無事終了しました。

このパーティは、準備から撤収まで、全て阪大日米学生会・シグマ留学生会をはじめとして、自発的に応募してくれた学生ボランティアスタッフによって運営されました。また会員からは寄付、協賛のSOYNETからも寄付をいただき、ゲームの賞品（阪大グッズなど）に使用させて頂きました。記してお礼を申し上げます。

これら学生さんたちの活躍の詳細は、是非今後の“マチカネFM”のインタビューをお楽しみに！

支部総会・イベントのご案内

■ 2017年（平成 29年度）第 5回東北支部総会の開催案内

と　き　平成 29年 11月 18日（土）午後 4時～ 6時
ところ　JR仙台駅ビル1階　中国料理「中嘉屋食堂」（電話 022-722-2801）
会　費　男性 4,000円、女性 3,000円
講演会　講師 フリー通訳　三神　徹氏（大 S11、仙台市在住）
　　演題「メキシコ、ドイツあれこれ」
申込み　10月 31日（締切）
申込先　東北支部事務局長・中村勝彦（大 M34/モンゴル語・1986年卒）
　　電話 080-6560-6708/メール; nakamura.shokado11@gmail.com

■ 平成 29年咲耶会名古屋支部総会（忘年親睦会）のご案内

日　時　平成 29年 12月 9日（土）12：00～ 14：30
場　所　アパホテル名古屋錦　11Fビルゴ
　　名古屋市中区錦 3丁目 15－ 30　Tel.(052)953-5111
会　費　4,000円（和食弁当と飲み物）
会次第　12：00～ 13：30：総会（食事）13：30～ 14：30：特別講演
講　師　中林　速雄（ロシア語 /1959年卒）
演　題　「日本語あれこれ」
　　講師プロフィール：外大卒業後、NHKにアナウンサーとして就職。1996年定年退職。以後フリーアナウンサーとして、文化センター講師、司会、講演などを務める。現在は 2グループに朗読を指導。名古屋在住。
参加申し込みは11月10日までに！下記のメール/TEL/FAXでお願い致します。
お申込み・お問合せ：咲耶会名古屋支部幹事　白岩　修 まで
TEL/FAX：052-806-7873 /メール：shiraiwa1123@yahoo.co.jp

■ 大阪外語同窓会京都支部例会

日　時　平成 29年 10月 28日（土曜日）午後 4時～
会　場　京都ガーデンホテル「彩宴」
　　〒 604－ 6175 京都市中京区室町通御池南入る西側
電　話　「彩宴」 075 － 221－ 2725
講　演　（演題）「英語の冠詞の考え方」
　　（講師）正保富三氏（大Ｅ1）1974年京都女子大学助教授、1982年同大学教授。1980年～81年ロンドン大学留学。1989年より大阪外国語大学教授。1997年～2008年まで龍谷大学教授。
　　著書：「英語の冠詞がわかる本」（研究社）
懇親会　講演会終了後
会　費　5,000円（当日、会場で受け付け）
★出席のご連絡は、下記あてメールまたは Faxで10月7日（土）までにお願いいたします。
メール：dkals108@kyoto.zaq.ne.jp FAX：075-751-2450

■ 奈良支部・ 新年会のご案内

奈良支部では、来年（2018年）、1月 20日（土曜日）、奈良は東大寺・ 総合文化センターの A教室にて新年の会合、学術講演会、その後、近くで新年会を予定していますので、ご興味ある諸兄姉の参加をお待ちします。特にお若い方に多数来ていただいて、老人会の様相を呈しています支部の現状に「活！」を入れてほしいです。ご出席の方は、支部役員までご連絡ください。
日　程　2018年 1月 20日（土） 時間未定
会　場　東大寺・総合文化センター B1F 会議室 A
　　奈良市水門町 100番地
申込・問い合わせ：奈良支部長・神谷忠雄
E-Mail：mahoroba-nara-kamitani@iris.eonet.ne.jp／Tel. (0742)62-2521

■ 宮崎支部総会　案内

日　時　平成 29年 11月 17日（金）19時から
場　所　ホテルマリックス ラグーン 1Fレストラン「シーアマーレ」にて
　　宮崎市清水 3-105
申込み先：近藤哲二（Ⅱ S10/イスパニア語・1979年卒）
　　メール：tkondo@yahoo.co.jp

懐かしの恩師は今

インド講演旅行にチャレンジ

溝上富夫

（大 IP13／大阪外国語大学名誉教授 ヒンディー語）

退職して早くも10年が経ち、喜寿を迎えました。現役時代にやり残した仕事や書類の整理に追われるこの頃です。また在職中からやっている法廷通訳の仕事が退職してから飛躍的に増えて、各地の裁判所や警察署を忙しく行き来しています。遠くは福岡県・大分県・富山県まで出張することもあります。南アジアの複数の言語に通じているためか、集中的に私のところに声がかかります。語学の実践を説いてきた私の主義から言って、断る理由はなく、通(翻)訳は非常に集中力を要する仕事なので、ボケ防止の観点からも引き受けています。

さらに今年は10年ぶりの「日印友好交流年」にあたり、「日印関係―歴史と展望―と題する4言語でのインド講演」というテーマが外務省から交流事業として認定され、お墨付きをもらって、この秋インド各地での長期講演旅行にでかけます。在職中、学生達のヒンディー語劇団を率いて何度もインド各地の公演旅行にでかけていたことが思い出されます。語劇の公演は集団で行うものですが、講演は個人が行うものです。「公演」はエンターテインメントで、学術「講演」とは客筋も違います。しかし、インドの言語を使い、インド人に訴えるという点は共通です。そして、過去に語劇の「公演」を見に来てくれていた人の中で、10年を経た今も、私の「講演」を聴きに来てくれる人がいるのがとても嬉しいです。昨年は病を患い、現在もまだ治療中ですので、この講演旅行は病への挑戦でもあると思っています。

「忙中閑あり」の日々

藪　司郎

（大 B15／大阪大学名誉教授 ビルマ語学）

平成21(2009)年3月定年退職して早いもので、もう8年余りになります。退職後間もないころは、旧知の人に会ったとき悠々自適ですねと言われることもありましたが、ここ数年は高齢の両親の世話で毎週郷里に帰省する慌ただしい日々を送ってきました。

そのあいまに、自分の専攻分野である言語学関係の研究会に出て研鑽を積み(？)「忙中閑あり」と楽しんでおります。そのうちのひとつは、京都大学に出講していたころ受講生たちと京都で始めたチベット＝ビルマ言語学研究会です。春、夏、冬の年3回の会合で、参会者の研究発表を聞いたり関連の研究情報を交換したりする、緩やかな運営の研究会ですが、もう14年になります。今年から夏には大阪大学で開くことになりました。

まとまったものを読んだり書いたりはあまりできませんが、時間の合間に、肩の凝らない英語の散文を読んで気になる構文や文法事項に遭遇した時、辞書や受験参考書で確認して納得したりしています。時折、自分なりに思わぬ発見があり言語事象の妙味に感じいっています。NHKの基礎英語のテキストを見ることもありますが、近年、日常の口語表現がめっきり多くなりました。No way!、How come?、For here or to go. の類の表現も出てきて面白いですが、英語の骨格をつかむのにはあまり役立たないなあと思ってみたりもします。

お蔭さまで、ともかく、元気で暮らしています。

（昭和 57/1982年～平成 21/2009年在職）

短　信

総会出欠ハガキの短信欄からの転載です

三藤　勝（C12）
100 才になりました。近所の散歩が漸くできる程度の健康度です。

村上悌三（IN13）
兵庫県知事より今年百寿の御祝いを頂きました。

山本　耐（D14）
今年数えの百才を迎え、学区から賞状も頂戴し、元気にさせて頂いて居ります。

近藤　魁（C21）
卓球部にも所属。但し左利きなので関西学生大会の外語は「C」クラスだったが、先攻を命ぜられ、立命館大学と対戦、「下手」に「くそ」がつきバックも全然打てなく、色のあせた相手のユニフォームに圧倒され、全く試合にならず、それでも帰りはどこかの食堂で先輩におごってもらった記憶あり。そう云えば顧問の長谷川先生（英）も時々愛用の木コルクの単打用のラケットで我々部員の上手ばかりを相手にして得意になっておられたのを想い出します。

福田玲三（F21）
完全護憲の会をやっています。

寺田　傅（S21）
佐藤先生・国澤先生・ビリヤベルデ先生・アルバレス先生に教わった語学感覚は、今も磨いている。終生の楽しみ。Hope dies last.

田村　滋（C22）
両手に杖を持って、しばらく歩けるが、家の中だけで外出には車か車椅子が必要。病院通いの毎日です。

若住　昇（C22）
歩行はカート、行動半径小。同窓会出たい・無理・校歌→立派、力作。時に独唱す。「われらの歴史」良いのは書けたかなあ、反省す。

藤井　浩（IP22）
92 才です。曽孫 2 人。ひまごでき齢（よわい）身に沁む秋の風

田島孝弥（M24）
元気でやっております。一度会いたいものです。

金井　清（E26）
私達のクラス会、次の通り細々と続いています。 ●2015 年 11 月 27 日、みのお山荘「風の杜」出席者：岸田・林・二井・由里・金井 ●2016 年11月25日、京都先斗町「多から」出席者：岸田・佐々木・二井・由里・金井　欠席者：荒木（大）・武 田・林（1998 年 5 月 24 日 ～ 25 日）高槻旧校舎跡・箕面新校舎歴訪時の出席者 22 名なりしことを憶えば、転た今昔の感に堪えず。

芦田茂幸（大 C1）
86 才になりましたが、まだまだがんばります。

荒木大山（大 E1）
健在です。毎朝約 5 キロをウォーキングしています。

片山　黎（大 E1）
曽野綾子さんの「戒老録」に導かれての日々を静々と送る現状であります。

日台松子（大 F1）
引き続き、高齢消費者問題とまちづくりに取り組んでいます。

渡部（山口）蔦子（大 F1）
85 才になって外出しなくなりました。近くの卓球場へ通っています。外語時代少し卓球しました。

磯田良一（大 IN3）
現役として毎日元気に働いております。20 年来行っております水泳を、近くのホテルのプールで、週 2 ～ 3 回続けて居ります。

前川清一郎（大 TV3）
S26 年頃、高槻学舎に毛布で祖母が作ってくれた防寒着を着て行った頃思い出しなつかしい。食う米なく、祖母も「白い御飯をたべたい」と言ってその後亡くなりました。富田先生も佐藤先輩も亡くなり、85 才でがんばっています。孫も二人で大きくなり、家のローンも少なくなり、楽になりました。

小平恒郎（大 IP3）
昔は遠くなりにけり、老令相応に生きています。

玉利　虹（大 S3）
オーストラリア駐在中シドニーフィル合唱団で 7 年間歌っていました。帰国後合唱団から身を引いていましたが、昨年末縁あって神戸フロイデ合唱団員として芸術文化センター大ホールでベートーベン第九交響曲を歌いました。我が生涯の歌い納めになるでしょう。

園田成起（大 C4）
83 才になりましたがまだ現役のゴルファーを続けています。大学時代の硬式テニスは 15 年前にやめました。

奥出 (小薮) 良吉（大 E4）
大脳の血管年齢が若いようで、元気に遊んでいます。

竹中清蔵（大 F4）
10 年を経ずして、女子学部になりましたか。女性パワー大いに結構。「大村益次郎」大先輩の DNA を大切に受け継いで下さい。

三好憲治（大 F4）
今の処元気で過しています。

薩美智行（大 C5）
関東地区の同窓生の仲間とは月に 1 回集って楽しい会食会をやっております。

富永邦夫（大 C5）
『永遠の武士道』『樅の木は残った』直後『咲耶』拝読。よし司馬先輩を心読しよう。好きなところはノートに。市民花壇の一部をバラ園にしよう。なに 85 才。いいじゃないか。外大精神を燃やし、晴耕雨読。楽しいな、多謝。

西　俊彦（大 IN5）
咲耶会年会費に関するご提案を拝読しました。卒業後は払込もうと思っても高齢者は忘れてしまうことが多いと思います。未納者にすぐ会報の発送を止めるのではなく、何年か未納が続けば予告して止めるようにされると良いと思います。また、在学生には加入を促すとともに、卒業後の情報について名簿に載せるのは、氏名・住所・電話・職業であってその他の情報が出るのではないと安心させることが必要です。

岩津英資（大 E5）
返信ハガキの「短信のない欠席は連絡不要」とは事務の煩雑を避ける為でありましょうが「不要」とは無情な言い方ではないでしょうか。言われた方は「もうお前なんか要らないよ」と告げられているみたいな気持ちになります。私は元気です。

小野　博（大 E5）
栗林公園を早朝散歩するようになって 5 年。心身共に快適です。

西　彰（大 D5）
満 82 才の誕生日を健康に迎え、間もなく生後 30,000 日を通過します。現在も大阪日独協会の理事を務めています。

野田健史（大 F5）
一人暮らし。読書の毎日。今、百田尚樹「プリズム」を読了。

首藤正登（大 S5）
平成 8 年にリタイア帰郷後、今年 5 月迄にアパート四棟を建て、別府に Casa Segunda も建て、84 才の老春を謳歌しています。

中村　徹（大 IN6）
82 才になりましたが、いまだに趣味（囲碁・カラオケ）に熱を上げています。

野村敏一（大 A6）
同級生は殆んど物故者になりましたが、私は元気に仕事をしています。

金川弘美（大 E6）
未だ仕事は現役です。時間を見つけては卓球に汗を流しています。10 月も競技場と東京武道館での試合に出ます。

保田武司（大 D6）
傘寿も過ぎ 83 才となりました。余生 ENJOY しつつ、のんびり過しています。深謝・深謝。

恒成喜久子（大 F6）
八十路をすぎても、大阪支部、奈良支部の例会・催し物に参加して、先輩・後輩の交流を楽しんでいます。外大咲耶会の絆は宝物です。

覚田　滋（大 IN7）
81 才になりますが、元気に暮らしており、ボランティアで市内在留外国人への日本語の指導の手助けをしております。

前田正一（大 IN7）
横浜での外来者案内などボランティアで元気にして居ります。

岩﨑嘉蔵（大 E7）
私はイスパニア語を 2 回生で卒業して、英語科 7 回生で（学士入学）卒業した者です。お世話になります。86 才です。

岸田　洋（大 E7）
体力の衰え顕著で、趣味の将棋だけが生き甲斐です。

芳賀直美（大 E7）
①年会費不払者への『咲耶』送付停止は当然です。②電子版による配信も実現して下さい。

酒井　斌（大 F7）
2002 年からほぼ毎年、インド洋に浮かぶ天国の島・モーリシャスへ渡航して、のんびりした時間を満喫してきましたが、今年は当初からの相棒 C 君と話し合って、急遽テロへの懸念から行先をベトナムに変えました。但し、この国フランスの統括を脱して長いためか、フランス語の通じない国になっていました。

増田次郎（大 IP8）
今年は作家司馬遼太郎氏（M21）の没後 20 年の節目にあたる。「菜の花忌」は毎年、ご命日の 2 月 12 日の前後に大阪と東京で交互に開催されているが、「第 20 回菜の花忌シンポジウム」は 2016 年 2 月 20 日、日比谷公会堂・東京で開催された。1929 年竣工の日比谷公会堂は老朽化及び耐震化対策が必要で大規模改修工事のため 2016 年 3 月より長期休館になる。歴史ある建築物の風情を記憶に留めたい気持ちもあり、堺市から参加した。シンポジウムで東出昌大氏（俳優）が「司馬作品は自己の人間形成に大きな影響を与えた」旨述懐したことが印象的であった。因みに、司馬遼太郎氏の友人で 1 学年上の作家陳舜臣氏（IP20）は昨年 2015 年 1 月、90 歳で天寿を全うされた。在学中に第 2 次世界大戦を体験した先輩たちも数少なくなっている。

奥井淳一（大 E8）
S31 年入学、高槻校舎最後の一年が懐かしく阪外大史のエポック期に在したとの感慨です。八十路をこえ級友の物故報がさびしい。飛翔せよ、阪大外国語学部！！

屋敷　潔（大 E8）
今年は傘寿の年にもなり、アメリカ市場中心の仕事も殆ど整理出来たので、準現役的仕事から徐々に退き、咲耶会を始め各種のイベントに参加させて頂きたいと思っています。よろしくお願いします。

永渕秀夫（大 D8）
ブラッセル・デュッセルドルフ・アムステルダムと合計 12 年近く滞在し、日本製自動車の販売を行い、子会社に移ってからはアフリカ・中近東・中南米・日本で車販売の半世紀でした。

平岡　豊（大 C9）
大阪外語創立百年、新キャンパスの誕生となると、もう少しがんばってぜひ訪ねてみたいと気持ちをはずませております。

氏家重幸（大 E9）
来年は 80 才になりますが、幸い今の所元気です。

杉本秀一（大 F9）
79 才半、上本町も遠くになりました。阪大となりましたので若人の会になっていくことを祈っています。

短　信

総会出欠ハガキの短信欄からの転載です

加来洋二郎（大 C10）
本年（2016 年）9 月まで 1 年間、台湾台南市の国立成功大学（鄭成功由来の大学）文学院に留学、帰国しました。今後華語を活用して台湾の良き隣人の為、聊か貢献するつもりです。日本人はもう少し台湾に関心を持ってもらいたいと思いました。

折口靭負（大 IN10）
3～4 年前に体調を崩しましたが、其の後何とかやって居ります。

片岡利昭（大 E10）
2015 年末、7 年半のベトナム駐在から帰国し、今年は孫を連れてロシアに遊びに行き、ベトナムには 4 回出張しました。元気の秘訣は年を忘れる事です。

廣瀬彰彦（大 S10）
スペイン語を学んだものとして注目しています。いま、四国の地をスペインの雑誌・放送関係者が報道目的の来話を盛んにしています。四国の八十八ヶ所巡りとスペイン北西部の巡礼の縁です。“国際化”の現実に接する思いです。

今川彰男（大 S10）
24 年間勤めた保護司を平成 28 年 5 月に定年退職し、ホッとしたのか 6 月初めに不注意でケガをして、3 ヶ月程ブラブラして過ごしました。今はお蔭様で回復して愛用の 125cc バイクで走れるようになりました。そろそろ不動産管理の仕事に戻ろうと思っています。

山口勝三（大 S10）
76 才、お蔭様で元気です。中小企業顧問、NPO 理事、地域の自治会役員等忙しくしています。

大建雄志郎（大 R10）
喜寿となり神慮の老年を生きています。半世紀経てチェーホフを読み（原文）趣味の短歌を楽しむ日々です。

小原一浩（大 IN11）
外大卒業後、大阪市大法学部（Ⅱ）商学部（Ⅲ）放送大学で学んだ現役時代、定年退職後のボランティア活動や市議生活で活きています。その原点は勿論外大。心身共に健康なら再来年の市議（大阪狭山市）三選を目指します。

岩崎友彦（大 IP11）
母校の繁栄をお祈りします。世界に敬意を表します。

西村泰作（大 E11）
マスターズ水泳のメダルが 44 個になりました。次の目標は 50 個。

弓庭喜和子（大 E11）
会報『咲耶』の表紙ならびに各ページの写真やレイアウトも大変ダイナミックで魅力がありますね。編集お疲れさまです。

千田　享（大 F11）
外国語と専門学課の知識をそなえた後輩諸君の国際社会での活躍を期待しています。

庵原専三（大 S11）
昭和 38 年卒業イスパニア語科同期「SS38 会」の恒例旅行を平成 28 年 11 月 20 日～ 21 日開催し、今回は錦秋の京都嵐山「保津川下り」で参加者計 21 名で盛会でした。

田中邑美（大 E12）
同窓会の存続のために時間と体力・Money をつぎこんでいただいていることに深く感謝しています。外大での生活は人生最高に有意義な日々でした。

藤川昌良（大 R12）
ロシア語卒業生で「アヴローラの会」を年 1 回集って、会報も全卒業生に送っています。このメンバーから R21 山口慶四郎さん、大 R6 徳岡雲平さんが相次いで亡くなりました。寂しさがつのります。

川原一行（大 C13）
なんといっても大阪外大（上八）は青春を送ったひとつのふるさとだ。多くの友人・知人が世に出た。私は政治の世界で大半を送った。宇治市議を 34 才～ 71 才まで 36 年つとめた。それまでは日本と世界を飛び回っていた。いまは大学院で 6 年勉強した外大の学生時代より長く学生している。国民救援会（府副会長）、日中友好協会（府連副会長）、日本陸連、地域の老人会会長とフルタイムで動き回っている。よりよい世を共に作りたいものです。

橋本　勝（旧教員 大 M13）
学会活動にもかかわり年相応に元気に過しております。『咲耶』の充実にご尽力される編集委員会の皆さまに感謝しております。

江田明雄（大 E13）
何とか生きてます。大酒・大煙草よう生きとんじゃと思います。懐かしい朋友と会える日を楽しみにしてます。

阪本好伸（大 S13）
がん再発で今後病気との戦いが再び始まる現状です。

立入俊司（大 C14）
ゼロ金利、マイナス金利になり、約 20 年が過ぎました。カネがカネを生まない世の中となり、資本主義崩壊が始まっていると言われている。このパラダイム変化を見届けたい。

有瀬尚憲（大 M14）
60 才から小説を書いています。「雑記噺子」の同人で毎月の例会ではきびしい批判をもらい、大恥をかいています。テーマは故郷の人吉のことが多いです。

井上久生（大 IN14）
昨年から毎年同期会を行い、お互いの健康と友情を確かめあっています。私が永久幹事です。

菅原邦城（旧教員 大 A14）
まだ生きていることに驚かれるほどの大病からようやく立ち直りつつあります。公的な催しに参加できるほどに至っておりませんが。

久保義昭（大 S14）
小 3 の孫娘が、英検準一級に合格し、読売新聞 9 月 14 日朝刊神奈川版に 4 段抜きで取り上げられました。

柴田季蔵（大 S14）
お陰で元気にしています。

薮　司郎（大 B15）
退職して早 7 年半、両親の世話を含め結構慌しい毎日を過しておりますが、ありがたいことに、なんとか健康を保持できております。合間の時間にチベット = ビルマ言語学研究会や京大言語学懇話など身近な研究会に出て、鋭気を養っております。

松本俊史（大 F15）
阪大外国語学部の更なる発展を祈りつつ。

稲岡俊一（大 IP16）
元気に過ごしております。

林　徳子（大 E16）
お世話になっています。Retire して趣味の明け暮れです。『咲耶』の送付、いつもありがとうございます。

吉川昌宏（大 D16）
16 年 7 月から「ラテン語の道しるべ」というブログを立ち上げました。http://m9a2.blog.fc2.com/ お気軽にお立ち寄り下さい。

本田正伸（大 IN17）
タイのチェンマイを中心にシーズンステイを楽しんでいます。

戸倉光明（大 IP17）
咲耶会報に合気道部の OB 会会長として合気道の紹介や本学内での状況を投稿致しました関係で、同期卒業のタイ語科の T 君と 40 数年振りに連絡が取れました。咲耶会の会報の中で尋ね人欄などを設けてはいかがでしょうか。

中川裕二（大 S17）
咲耶会が益々発展されることをお祈り致します。その為には新入学生の参加数増量が胆だと思います。入った学部に誇りを持てる様、関係者のご努力に一層期待致します。

柄谷　勝（大 R17）
シルバー人材センターに所属し、近所の公民館の留守番をして 5 年目です。

中塚博己（大 S18）
英語は身近に楽しんでいます。

白岩　修（大 D19）
咲耶会名古屋支部の幹事をしています。年に数回、ドイツ語の仲間と会って飲んでいます。ジム、健康麻雀、テニス、カラオケ、男の料理等を楽しんでいます。

神崎康彦（大 F19）
テニスと軽いヨガを楽しんでいます。

諏訪忠泰（大 S19）
何かと多忙になると、上八のキャンパスで楽しんだ部活を思い出し、クラシックギターを弾くようになりました。皆様のご健勝を祈念申し上げます。

喜多義憲（大 M20）
非常勤講師として、私大で週 2 講座、カルチャーセンターで月 2 回の講座を秋から受け持ち多忙になりました。

交野正隆（大 E20）
完全リタイアして妻と二人暮し。元気で暮らしています。趣味のカラオケに精を出す毎日です。大好きな英語は毎日欠かさず勉強しています。現在東京住まいで年に数回は大阪に行きます。

岡本　修（大 S20）
学生時代勉学そこのけで熱中したギターを、大分前に還暦過ぎて練習再開しました。頭脳と指の老化に苦労していますが、「最後のトレモロ」という曲を YouTube に upload する夢を持ち続けています。

村中敏則（大 S20）
咲耶会報楽しみに読ませてもらっています。毎度毎度お世話様です。親の遠距離介護 13 年目になりました。

畑山康幸（大 K21）
今年（H28）5 月、韓国で「朝鮮における創作版画の始まりと展開」と題して研究発表をしました。また「北朝鮮現代版画事情」という冊子も作成しています。朝鮮半島の文化と社会の関わりをテーマにして老体（?）にむちうってガンバロウと考えています。

阿部博司（大 M21）
仕事もそろそろ卒業し、仕事で駐在した LA、ヨーロッパへのセンチメンタルジャーニーを計画する今頃です。

神田　長（大 E21）
現在も「ノルウェー語」勉強中です。今年は約 2 週間オスロへ行ってきました。語学力はまだまだ、今後も勉強を続けます。ご指導をよろしくお願いします。

寺尾裕子（大 DM21 院 J16）
2015 年 3 月に兵庫教育大学大学院学校教育研究科を定年退職しました。現在は現役の大学院生をしています。

村中明美（大 S21）
有史以来初めて女性が正当な評価をうける時代が近付きました。社会のシステムも有史以来の変化を必要としています。

岸本直己（大 R21）
ロシア語科に入学して 50 年近くたちましたが、当時は大学紛争もあり、ロシア語を習得できませんでした。2016 年 6 月にツアーでロシアを初めて訪問しました。サンクトペテルブルクではプーシキンの家、ドストエフスキーの住んだアパートも保存されており、ロシアの文豪の偉大さを認識しました。

井上清昭（大 M22）
今年からウィーン美術史美術館のミュージアムグッズを輸入しています。エルミタージュ美術館のミュージアムグッズを輸入すべく交渉も始めました。（駐日ロシア大使のサポートもとりつけたので、何とか成功させたいと思っています）

樋口正次（大 E23）
4 年前に大阪教育大学附属高等学校池田校舎を副校長で停年退職しまして、現在は大阪市天王寺区にあります興國高等学校（男子校）で進学特別顧問として英語を教えています。孫 2 人（男・女）がいます。

木林　茂（大 B25）
一昨年 3 月、35 年の教員生活を終え退職致しました。現在も再任用で阪南高校に勤務しております。国際交流行事で、関西研修センターの様々な国々の留学研修生とも交流し、久しぶりにビルマ語を使いました。

堤　雅昭（大 R25）
卒業して早くも 40 年余。その間様々なことが起こっては消えを繰り返しつつ今日に到っている。外大に関しては阪大と吸収合併して単科大学としての看板から阪大の一学部としての看板になってしまった。東の方の外大は単科大学のまま存続中なのがくやしい限り。今後とも会発展を祈ります。

清水和彦（大 C26）
今年、中国語科同窓会「鵬翼会」に初めて出席しました。立派な先輩の方々でした。

江藤修平（大 B26）
61 となってもまだ働けています。同窓会やりたいですね。

上山光夫（大 E26）
2016 年 7 月でサラリーマンを卒業して自営業準備中です。

須田　和（大 IN27）
2016 年 8 月タイ語・インドネシア語科 ’79 年卒の女性 10 人でミニ同窓会を京都で行いました。「アセアン」のことや文化、先生方の思い出話に花が咲きました。

諏訪修英（大 B27）
一昨年より監査室に在籍しています。学生時代～社会人になってから、もう少し法律・経理を学んでおけばよかったと悔んでいます。

大橋章子（大 E27）
姉の孫（8 才・6 才・2 才）の成長を楽しみにしています。

脇坂洋子（大 D27 院後期言語 9）
子育てが一段落してから箕面キャンパスの院に入りました。院を修了した後、就職口がなく、邦楽の習いごとを始めたら邦楽ワールドにはまっています。

井上俊二（大 C28）
昨年より中国蘇州にて勤務しており、大 C28 野口さんと一年上のモンゴル語の谷口さんと時々食事をしています。

中田昌孝（大 K34）
外語ラグビー部、東外大府中キャンパスにて H28.10/15（土）東外戦実施します。

横山博史（大 A28）
単身赴任生活も 6 年半が経過しました。2017 年 7 月に定年を迎えます。今後の働き方について色々と考えているところです。

笹尾久美（大 S28）
孫まで得て還暦を迎えます。大阪→福岡ではや 28 年。支部会のご縁を得て再び語学で遊んでいます。

川村優理（大 TV29）
登録有形文化財「藤岡家住宅」で館長を務めています。この秋総務省主催全国過疎地域優良事例表彰を頂きます。阪外語で学んだ力を活かし、地域文化の活性化に努力していきたいと思っています。

芳賀麻里（大 S29）
2016.5 よりスペイン語の通訳の活動を開始しております。

川辺　亮（大 R29）
今年の春にカザフスタンからロシアのウラジオストクに転勤しました。

圓山　望（大 IP30）
院生 1 人大学生 2 人の父親。しおくり、授業料で四苦八苦。身すぎ世すぎのぜひもなく♪おどけたれどもわがピエロ♪

上杉和哉（大 TV30）
同級生だった家内が 1 月に他界しました。家内も楽しみにしていた咲耶会に参加させて頂きます。

北村典子（大 TV31）
箕面キャンパスで移転の年から 4 年大学生活をすごしました。建物すらなくなるなんて残念です。

末永成美子（大 B31）
SE として少し変わった言語（?）と毎日向きあっています。

日高宏子（大 C32）
咲耶会が永遠に喜びの花を開かせ続けられます事、心よりお祈り申し上げます。感謝を込めて！

竹中三八（大 C34）
外大が阪大外語となって、レベルがどんどん上っています。外語生の皆さん、OB の皆さん、もっともっと自信を持って日々頑張って下さい。

井辻敦雄（大 F34）
長年経験したマーケティング、IT とプロジェクトマネジメントと企業幹部経験を生かし、53 年を節目に新しいビジネスにチャレンジしたいと考えています。

内山（湯浅）雅子（大 C35）
この夏に中国語放送の担当になりました。中国語に正面から取り組むのは 1987 年に卒業して以来です。また基礎から勉強しています。

伊藤　信（大 DM36）
「一般社団法人 共同通信社国際局」に勤務しています。

谷田宣浩（大 R37）
谷田倫子（大 S37）
4 月に千葉県習志野市に転居して元気にしております。こちらでも同窓生の方と時々会っています。

加來真仁（大 M39）
東京では年に何度か同級生と会いますが、そろそろ一同で会したいと思う今日この頃です。

小坂征史（大 E40）
病弱対象支援学校で小学生から高校生まで英語を教えています。

酒井さおり（東アジア大 K45）
箕面キャンパスが間谷から船場の方へ移転するということで、長く大阪を離れている OG としては驚きをかくせません。しかし利便性も高まり学部の新たな発展のためには良いことずくめのようですね !!

中村　健（中南米大 S48）
!Hola!?Como estais? 結婚して約 1 年半になります。仕事は、老人ホームで事務をしています。バレーボールも趣味で続けています。またお会いできることを楽しみにしています。

北川美玲（東アジア大 C51）
戦後 70 年世界平和の潮流は遅々としています。未だ戦争の大和魂が傷痕で今後も続く歴史は日本不信となるでしょう。諸外国との交流に先輩諸氏の活躍に期待します。今後とも咲耶会のご発展を祈念します。

泉谷晴香（東アジア大 C52）
みなさんお元気ですか？東京で 20 代～ 30 代の卒業生の飲み会をときどきひらいています。Facebook で Beerparty in Tokyo と検索してみてください。

山瀬靖弘（大 SH56）
文科省から統合の成果について問われているようだ。しかし、大阪外大と阪大は自主的に統合したと、当時の伊吹文科相が発言している。本当に自主的な統合なら、なぜ文科省は成果を問うのか。それとも、発言そのものが嘘だったのか。

安野莉加（阪大 K4）
社会人 2 年目です。大学で修得した語学を活かし、関西空港で働いています。忙しく充実した毎日を送っています。咲耶会の益々のご発展祈っております。

米田雄次（短 E2）
高血圧で毎日フラフラしています。

佐竹節寛（短 S2）
大阪大学知のアーカイブで中岡名誉教授の「外大の思い出Ⅰ、Ⅱ」を読ませて頂きました。47 年間の集大成ですがその中の一項に私の学んだ夜間短期大学の設立理念から当時の先生方の事柄が詳細に生き生きと描写されており懐かしくワクワクしながら拝読しました。

森　健蔵（短 E4）
お陰様で元気です。ESS 仲間とは時々会っていますが、クラス仲間、先輩、後輩方いかがお過ごしですか？機会があれば是非お会いしたいですね。

冨谷美香（南欧夜 S29）
2016 年 7 月に第 2 子出産しました。男の子 2 人の母になりました。

大江真実（北米夜 S31）
短歌を通信講座で始めました。将来英語や西語でも作ってみたいです。こつがあれば教えて下さい。

堤　真佐美（中・北欧夜 E39）
小学校英語教科化に向けて、大学で学んだことを生かせるように、日々研讃…といいたい所ですが、なかなかです。

住吉正行（Ⅱ E1）
今も英語（60 数年）・中国語（10 数年）学習していますが、マダマダですが歌はプロ級？

井上洋治（Ⅱ F1）
退職した後、かねてから希望していたヨーロッパ旅行を 1 年に 1 回、計 8 回ほどしてきました。さらに様々な国を訪れたいと思いますが、イスラム過激派のテロ行為が心配で困ったものです。

野村信二（Ⅱ E2）
69 才になり、外大の誇り増大。グローバル世界にしみじみ味わっています。常に歓喜をもち、大きな心でがんばっています。

田畑博章（Ⅱ C11）
本業である鍼灸施術業に勤しんでおります。鍼灸の免許を取って、今年で 40 年目です。こんな良い物はないと思っています。よく効きますよ。

田中増子（Ⅱ C12）
大阪外国語大学を卒業してから 36 年になります。在学時に学んだことの重要性を再認識し、これを材に再スタートしたいと思います。母校のますますの発展を祈ります。

西羅こづえ（Ⅱ E12）
故正木恒夫教官を偲び、恩師竹中靖史教官を思い出して俳句・詩を創作しておりました。思わぬ受賞、報告しましょう。NHK 俳句部門飯田龍太賞そして毎日新聞社短詩部門「優秀賞」ありがとうございます。今後も精進・努力するつもりです。

大島幹雄（Ⅱ F14）
現在、阪大アメフト部トライデンツの役員をしています。豊中・吹田には行きますが箕面にはあまり行かないです。箕面学舎がなくなるのはさみしいです。

近藤孝一（Ⅱ S17）
外国語学部のキャンパス移転先が紅葉の天ぷらとおさるの箕面なのでひと安心です。

戸田雅久（II R18）
田中泰子先生の「近況」を拝見し、26年程前クラスメートとモスクワ旅行の際、機内で偶然お目にかかり、現地で食事をご一緒させて頂いた事をなつかしく思い出しました。

韓　南洙（II R26）
現代朝鮮語の格助詞を研究しています。そのあと動詞・形容詞の形態論を経て、文章論に進む予定です。まだ道半ばです。法橋先生お元気ですか？

菊本孝一（II S27）
外大卒業生が自身を含めて３人職場にいます。母校のおかげで生徒とも楽しく働かせて頂いています。母校に感謝しております。ありがとうございます。

高橋典子（II E28）
白百合女子大学大学院博士課程に在籍。アメリカ演劇を学んでいます。

梅﨑麻衣（院前期日本 11）
ドイツのジュセルドルフに住んでいます。ルール大学ボーフムにて専任講師をしております。(実父・代筆)

氏名記載なし（IN26）
毎度咲耶会報をありがとうございます。阪大工学部卒の息子（杉村姓）とは思いもかけずに、親子揃って同窓生になったものだと笑い合っております。

氏名記載なし（大 E6）
H27.12 末まで 81 才まで働けました。伊藤忠商事 KK36 年含め 58 年も働けました。H28.7.1 より東京西南ロータリークラブの会長を仰せつかっております。人の為・世の為・日本の為に「奉仕」の精神です。何とか元気です。

氏名記載なし（大 F8）
元気に傘寿を迎えました。

氏名記載なし（昭和 34 年卒）
大阪までは中々出て行けませんが、元気にしております。折角母校大阪外大とミャンマー・ヤンゴン大学で身につけて頂いたビルマ語を朽ちさせては申し訳ありませんから、翻訳も続けています。来年は鎌倉で一般の方へビルマ（ミャンマー）語入門を教えるお話頂いています。当分健康につとめねば！です。

氏名記載なし（昭和 47 年卒）
咲耶会東北支部総会（第４回）での記念講演の準備の一環として福島と米沢との車とか列車での往復をくり返しています。早く、福島・米沢自動車道の早期開通を待望しています。

物故者

平成28年8月から平成29年6月までに連絡いただき、確認がとれた方々のお名前を掲載いたしました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

語科	氏名
旧教員	上野義和
C19	吉富　博
C20	髙木滋男
C21	石田貞夫
C21	原友次郎
C21	福井一夫
C21	増田泰男
C21	森　齊
C22	武村俊雄
C22	武内（田畑）耕三
C22	冨江寿雄
C22	長沢良一
C22	樋口三郎
C23	井端好美
C23	三宅義二
C23	吉田治郎
C24	岡田（田中）常昭
C26	青木　健
C26	坂口　弘
C26	佐野博持
C27	沢田能生
大C1	伊藤　務
大C2	鈴木邦昭
大C2	田中将介
大C2	西田　稔
大C2	安田武志
大C2	山崎須栄成
大C3	鍵村　省
大C4	武藤公典
大C5	立花茂樹
大C5	南　一弘
大C6	井上　健
大C6	西岡　博
大C8	桑室照八
大C9	宮浦敬雄
大C11	生駒邦夫
大C13	岩田武久
大C13	辻井利之
大C15	荒木慎吾
大C15	岩谷平行
大C15	須山（江里口）淳一
大C18	増井有子
大C27	加藤弘之
大C27	廣島紀雄
大K40	石丸ゆかり
M16	小泉名美男
M23	明神　一
M24	竹本（市川）憲二
M25	清水栄次郎
大M17	石馬祖俊
IN13	村上悌三
IN17	佐藤義章
IN18	池永義啓
IN18	廣田長三郎
IN19	近藤研三
IN19	三宅　勇
IN20	竹内信也
IN21	佐野泰輔
IN22	富松幸二
IN23	荻田寿雄
IN23	佐伯　勝
IN24	井上周蔵
IN25	長谷川元良
IN25	樋上廸弘
IN25	吉田博哉
IN26	小南（西川）正二
大IN6	中村英男
大IN12	本城丈夫
大IN15	山本　駿
大IN18	今城松之
大IN29	浅野敦司
大IN34	大島庄次
大IN34	下田　功
IP9	三渡幸雄
IP14	上田益司
IP20	陳　舜臣
IP22	櫛本利二
IP25	福知慶三
IP25	八嶋武夫
IP26	山村（大江）康史
IP26	阪本輝雄
大IP3	石垣　隆

語科	氏名
大IP5	池田　毅
大IP5	勝利公一
大IP5	高谷道夫
大IP6	塩谷忠人
大IP11	小田哲夫
大IP11	浜口信恭
大IP12	小坂勝重
大IP15	重里善朗
大IP21	藤井　彰
大IP29	澤嶋（岩越）真紀子
大IP30	荒内正敏
大IP42	熊野（久保井）順子
大TV1	佐々木久夫
大TV3	吉田　稔
大TV11	後藤昭二
大TV11	森　覚
大TV14	金子義久
大TV16	木村静也
大TV16	鈴木和男
大TV18	上沼政晴
大TV20	宮城雄二
大TV27	齋藤武夫
B24	乗若吉雄
大B8	西村正信
大B15	和泉本勝行
大B33	清水（清水）香也子
A19	田中四郎
A21	水谷　博
A24	米澤正光
A27	山本　宏
大A10	徳永文武
大A15	二村（境）義勝
大A18	南　和宏
大P14	立花（小林）郁夫
大P22	新谷建夫
E10	中島　涼
E10	山田　守
E12	河野幸弘
E13	山本　弘
E14	亀本秀雄
E16	在田一雄
E16	村井　實
E17	木村文一
E20	岡本庄三郎
E20	亀島良夫
E23	符阪　晃
E24	山口圭一
E25	川口　修
E26	大嶋智夫
E26	安井照生
E27	久保田郁夫
大E1	井水嘉彦
大E1	小野哲之
大E2	井上温通
大E3	井谷隆一
大E3	齋藤　尚
大E3	吉開徹昭
大E5	斉藤　博
大E5	篠原満雄
大E5	葛井健二郎
大E5	原田　博
大E7	石川義久
大E7	赤垣（岡野）睦雄
大E7	出口嘉彦
大E7	平岡佳一
大E8	岸野武司
大E9	熊澤嘉雄
大E9	宗徳安彦
大E10	稲垣研三
大E10	水野大志
大E11	林嗣郎
大E12	西田楠麿
大E15	河田基機
大E15	仲川靖司
大E18	東嶋伸憲
大E20	新谷哲男
大E20	片山（片尾）典子
大E20	山本修司
大E22	鶴崎雅博
大E22	宮原康一郎
大E25	河井（磯部）明子
大E26	三原（祖父江）文

語科	氏名
大E27	突出信吾
大E39	荒本幸宏
D12	出口安正
D14	大原知巳
D18	村井正三
D22	宮川（糸満）盛夫
D22	上嶋栄司
D22	大野敬一郎
D22	杉本一郎
D22	三好健一
D22	山家　毅
D23	小木戸重行
D23	林　昭
D23	吉村一郎
D26	北川圭三
D26	菜嶋八郎
大D1	吉本義俊
大D2	玉田義也
大D2	松下賢一郎
大D2	吉栖正康
大D3	川口哲児
大D3	吉田　淳
大D6	野田文二郎
大D7	玉田東也
大D9	安藤弘一
大D10	渋谷英昭
大D11	和田佑三
大D12	仙野　肇
大D24	石崎和彦
大D25	堀中（市村）泰子
F13	森吉武司
F15	西村要太郎（良平）
F19	藤原　勉
F22	鈴木秀郎
F23	森山（小池）正十四
F23	中川彪三
F23	久後一郎
F23	持田　坦
F24	片山正樹
F24	小西　貢
F24	牧野宗也
F26	片山　昇
F26	蛹沢　衛
F26	佐藤道夫
F26	田中三郎
F26	筒井光雄
F26	塙　省造
F26	山本玲二
大F1	津川樹弥夫
大F1	中沢　一
大F2	青島　惇
大F2	井上（弥園）寿子
大F3	岡本恵一
大F3	狭川康男
大F3	左藤　孜
大F5	松崎利夫
大F6	荒尾　守
大F7	池田瑛尚
大F7	川瀬　宏
大F7	藤野　薫
大F7	岡田（横山）博
大F8	山本　卓
大F9	武田　暹
大F13	田崎正道
大F14	中島康久
大F15	井上宣江
大F15	高瀬英彦
大F19	酒井　孝
大IT19	谷山（巽）啓子
大IT31	松本万里子
S15	鳥羽嘉久也
S17	林屋永吉
S18	塩路信八郎
S18	宮本道三
S19	藤津洋夫
S24	川崎治男
S24	久保利作
S24	小林章三
S26	大前博信
S26	岡部元昭
大S1	福井清一
大S3	荒田（田崎）増男

語科	氏名
大S5	喜多（石山）高弘
大S5	小松千加弘
大S6	倉田智行
大S6	中村楠一
大S7	楠田　修
大S7	三木正大
大S9	上田真平
大S9	竹村眞太郎
大S9	野中貴裕
大S9	三原幸久
大S10	浅村　聡
大S10	佐藤文隆
大S10	船見俊介
大S12	有馬恒夫
大S12	松島幸弘
大S14	藤雄木滋
大S19	四角（北代）すみ子
大S28	福嶋（塩河）ひとみ
R15	橋本（山元）俊二
R20	岡田　常
R20	久山恭一郎
R21	内山榮一
R21	河合忠信
R22	中西十四郎
R23	加藤忠夫
R23	山田幸平
R24	鳥取　昭
R24	中林博文
R24	横山正治
R25	伊地智昭
R25	加藤義治
R25	銅　政雄
R25	増田壽男
R25	宮本貴夫
R27	小松（城野）勇吉
R27	森山　宗
R27	安田一雄
大R1	山田英治
大R4	小野　堅
大R4	宮田　明
大R6	徳岡雲平
大R8	三田村文雄
大R10	来山宏八郎
大R10	杉本広道
大R11	竹馬　稔
大R12	国分嘉博
大R15	梅本　宏
大R16	小出和二
大R22	山川（山田）秀二
大C49	八本俊成
大SH52	田代章人
短C1	仲川英雄
短C2	前田正宣
短C3	矢野純雄
短D6	砂田芳一
短D7	鈴木泰三
短S2	藤林保彦
短R5	眞鍋廣近
IIC1	大原啓邦
IIC2	李　文博
IIC27	長谷川宗一
IIE1	賀内邦彦
IIE8	岡田孝信
IIE17	木目和男
IIE23	杉本久子
IIE28	村岸好昭
IID8	横地正弘
IID18	亀井慈隆
IID22	滝本勝豊
IIF1	梶村互朗
IIF8	東　昌伸
IIF9	西井内知子
IIS9	新田　潔
IIS20	長崎（山本）智恵子
IIS29	松原敏志
IIR4	岩永喬輔
IIR12	久山（北畠）陽子
IIR17	大倉（花塚）良子
院K6	李　文子
院A26	鈴木規夫
院IT11	鳥居正雄
院S28	石田佳代

年会費支払者・賛助金寄付者一覧

年会費のお支払い、賛助金のご寄付ありがとうございました。
※　は年会費と賛助金の両方を納入いただいた方です。ご協力ありがとうございました。

旧教員
貝田　守
C
12 三藤　勝
18 西川雅敏
19 杉谷好一
19 吉富　博
20 吉川　績
21 近藤　魁
22 若住　昇
23 周藤道生
25 平尾隆士
26 込茶三郎
26 廣川　浩
大C
1 橋本　敬
2 山根矩昭
3 尾崎泰雄
3 下神洋造
3 中井　隆
3 脇坂昭雄
4 青木明生
4 園田成起
4 近沢節夫
4 前川　奨
5 富永（磯部）邦夫
6 野口亮造
7 待場（一瀬）裕子
7 杉本達夫
7 田岡久幸
8 下司　上
8 小林　立
8 中空善彦
8 永井　宏
8 山田敬三
9 平岡　豊
9 平田宗広
10 朝熊建治
10 加來洋二郎
10 辻　優
11 藤山陽三
11 村岡　穆
12 大原洋三
12 前田（尾形）潤子
12 片桐淳二
12 木原康高
12 斎藤彰一
12 玉山（西田）順彦
12 南　賢
13 伊藤　宏
13 川原一行
13 坂野勝彦
13 住山　毅
13 竹下晃治
13 松井正雄
14 立入俊司
14 舟橋定保
15 吉村（池田）澄代
15 森本（石川）芙佐子
15 大水　勇
15 西原（土岡）萌美
15 守屋　求
15 若林道朗
16 河越　裕
16 河田悌一
16 鈴木莞爾
16 中土浩治
17 斉藤　誠
17 中村忠之
17 西脇義彦
17 野口忠夫
17 山本恒人
18 浅田隆司
18 井上尚弘
18 浜名義雄
19 梅本（井上）和子
19 白木　通
19 白銀　洋
19 中土（長尾）成子
19 春名　肇
20 荻田俊雄
20 茅田泰三
20 小林和能
20 重松孝司
20 服部健治
21 名和（木村）真弓
21 山田昭一
22 内野　勉
22 呂（王）英成
23 朝倉潤真
23 中川（雨堤）千枝子
23 遠藤（伊賀）良枝
23 村田（吉田）隆禅
24 岡田（塩野）光子
24 寺本　勉
24 米本（橋本）博子
24 福冨奈津子
25 安藤嘉孝
25 奥村洋一
25 笠井孝之
25 西川孝次
26 井上俊治
26 清水和彦

大C
26 杉田欣二
27 繁本孝一
28 井上俊二
29 古場文博
29 武田（田平）和子
29 田中（西村）和子
29 平松康弘
31 井上（高橋）順子
31 立川和彦
31 前野（牟田口）初音
31 福田（矢田）智美
32 伊藤敦子
32 沢田ゆかり
32 髙倉洋一
33 児玉良紀
34 長崎（小椋）靖子
34 竹中三八
34 竹中俊穂
34 橋本淳一
34 森下圭造
35 二河（井上）ゆかり
35 満原（上野）逸子
35 多門美穂
35 西邑一美
35 堀　健一
35 内山（湯浅）雅子
36 熊谷（小野）晃子
37 佐藤（大野）みのり
37 河本尚枝
38 牟禮（辰巳）朋子
38 南（橋詰）昌恵
38 南　敦幸
39 安藤誠志
39 池山良太郎
39 樫尾（榎本）季美
39 田中千賀子
40 島村（河野）多鶴子
40 藤田法子
40 三村章子
42 阿古智子
42 佐々木（日下）明子
43 星野（小笠）有紀
44 井上和佳
44 重岡智子
45 千田（伊東）理恵子
大K
16 前田征信
19 王　寛一
21 畑山康幸
24 三村浩一
25 渡部宏文
27 松本　哲
30 植村　茂
30 柴田康光
31 向頭達夫
31 淡路（町井）伸子
34 中田昌孝
35 福村（榎本谷）八代
38 森川広貢
40 山根泰延
42 浜田俊治
44 中川弘規
M
21 塩出亮治
22 近藤常太郎
24 田島孝弥
25 小林一隆
大M
7 橋田耕一
9 今井　亨
11 小貫（野間）千鶴子
11 平尾貞三
13 橋本　勝
16 三村（正田）サカエ
16 橘　勲
16 林　卓也
16 藤川千草
17 伊津野武晴
17 東村孝郎
18 戸川　浩
19 岡村　真
20 山下尚志
21 阿部博司
22 井上清昭
22 大和謙一
29 鈴木麻里子
31 片岡（岡田）るみ
31 奥田麻美子
31 山根由美
34 中村勝彦
35 大崎　恵
37 川岡美智恵
37 シャニエ（坪）容子
38 古定（田村）圭子
39 鶴羽（岡）祐美子
39 加來貞仁
39 佐藤（宮崎）悦子
41 小林悠子
41 南葉冬子
43 秋月（大橋）智子
IN
19 三宅　勇

IN
21 東郷芳温
21 浜田広一
25 石川欣也
25 田中辰男
26 長谷泰行
26 吉田勝博
26 脇田昭二
大IN
2 河野石根
3 池田英彦
3 石井義人
3 磯田良一
4 島崎忠彦
4 長谷謙雄
4 桝谷昌博
5 佐々木忍
5 西（塚口）俊彦
5 吉村英男
6 河上宗弘
6 磯浦（小林）美恵子
6 寺嶋正直
6 中村　徹
7 小黒　一
7 丹羽宏造
8 喜多山寛爾
8 滝本佳一
8 西田達雄
8 浜野圭市
9 木下　一
9 松尾充哲
10 石川恵二
10 高野郁男
10 中田浩二
10 松本　優
11 大田中実
11 小原一浩
11 島貫　全
11 中川昌衛
11 堀田　実
11 前田比佐夫
12 内原正司
12 品川辰弥
12 苗村和男
13 嘉味本正保
13 宮崎衛夫
14 鈴木安夫
14 山下勝男
15 岸田　功
16 広瀬（山田）加代子
17 川島　巌
17 中澤忠男
17 本田正伸
18 長尾善伸
19 野崎淳一
20 塩見　澄
21 荒川啓司
21 山口（藤田）仁朗
21 三好勝春
21 渡辺　茂
22 阿部（宇坪）直子
23 小野（小川）房子
24 廣澤義幸
25 大角幸彦
25 林内（高田）典子
26 芝崎（岡田）史子
26 中村由実
28 片山信英
28 澤井千尋
29 下野正一
29 道幸静児
30 安田哲司
31 高須（田中）加奈子
32 金井　篤
32 靏田譲治
34 墨　史朗
35 太田幸大
37 村上（辻井）真紀
40 三枝哲一郎
42 竹前（小林）望美
43 赤沢智彦
43 坂元　祐
43 中川（源田）有喜子
45 興梠雅哉
IP
16 江渕紀郎
22 藤井　浩
25 松永通温
26 調子　肇
26 中島宏二
27 奥村義寛
27 竹内玉蔵
大IP
1 西形昭夫
3 小林富蔵
3 橋口洋哉
4 福井義男
5 北山義一
5 谷本幸夫
5 田丸（徳永）青実
6 中島朝子
7 樫村　肇
7 高原　章

大IP
8 友金　守
8 藤本清志
8 増田次郎
8 三嶋敏一
9 岩木邦安
9 金子義和
9 田中　勝
9 谷　昌宏
9 美濃部宏
10 木内民二郎
10 久保泰三
11 大湊幹郎
11 中本　登
11 西森雅史
11 山川洋一
12 松田（春川）和子
13 奥平龍二
13 坂口嘉一
13 中村佳永
13 日比敏夫
13 溝上富夫
14 坂口捷男
14 須田悦生
14 西川　勝
15 竹内俊一
15 別所宏昭
16 稲岡俊一
16 下坂博信
17 家城義男
17 戸倉光明
17 中野勝一
18 宮崎（奥村）真知子
18 畔柳和夫
18 高木一義
18 中井誠一
18 鎌本（平田）京子
18 山本次介
19 生田愼吉
19 四方陽司
19 平岡富行
20 三宅（佐伯）幸子
20 横山節夫
22 井上保教
22 小野俊一
22 西田安民
23 岡本（増田）美和子
24 小幡良介
26 中村隆雄
27 神野（杉野）弘美
28 竹村（鈴木）康子
28 中南文生
28 長島（藤井）雅子
30 木本（鈴木）絹子
30 圓山　望
31 豊田（小田）美津子
31 竹内（佐々木）厚子
32 大橋廣美
32 ヴェンケ（坂下）優子
32 三原久美
34 桑林浩治
34 辻　裕紀夫
34 中江加津彦
35 堀（太田）京子
36 青山（久保）聡子
36 長山雅映子
36 桐生（細川）正弘
38 中野（森本）純子
38 高尾　誠
38 高尾（藤林）節子
40 垣生千春
41 西村昌也
42 池田（伊藤）由佳
42 石川（神吉）浩子
43 今井久美子
43 寺井（佐伯）知恵
45 辻井利昭
大TV
3 前川清一郎
8 高橋滋次
11 西沢毅彦
14 上野明信
15 西内　顕
17 土森道雄
17 藪　庄治郎
18 田口　進
20 榎　崇
20 山崎（安岡）明子
22 西村朋也
25 小野　隆
27 関　裕之
28 池田衆一
28 内田隆博
28 宮森（谷口）和美
28 西村俊一
28 福田和弘
29 川村優理
29 大木　守
30 磯部英美
30 上杉和哉
30 田中美穂子
31 中野（中塚）雅子
32 野津幸治

大TV
33 田島啓行
33 村岡貴子
34 西尾全司
36 寺田　章
36 寺田（本多）美貴子
36 村上忠良
37 池嶋伸晃
37 廣島輝夫
40 三田（中西）初音
44 岡松由理香
44 東中（佐野）昌代
49 前田研吾
B
24 卜田治闊
大B
2 和田　達
6 美濃部親良
7 土橋（山田）泰子
8 石堂知宏
8 蔭山　豪
8 藤原史和
15 大重昭子
15 小泉清司
15 前田義隆
15 藪　司郎
16 龍村季男
18 南田（井上）みどり
18 原田尚人
19 小野（笹田）嘉久
19 森　英昭
20 大藤裕司
21 内田　隆
24 重富勝己
25 中川晴吾
26 江藤修平
27 谷口雅俊
29 中山（高木）あけみ
30 花蘭　誠
31 末永（三浦）成美子
33 安達（中辻）紫
35 竹内恭子
38 倉本和寛
39 小西（長田）てるみ
40 植草（竹村）美香
A
24 井本利一
24 松村　平
25 今井精紀
25 今井辰行
大A
6 野村敏一
8 竹内良知
10 森野欣一
13 妹背捷二
13 海東　泰
13 長浜栄一
14 加藤　勇
14 菅原邦城
14 森　滋
15 塩尻　宏
15 塩尻（中村）和子
15 吉崎史明
16 中元康裕
17 小林良三
17 篠崎由紀子
19 高階美行
21 古角未廣
21 野中正晴
26 山崎（田葉井）章代
26 松宮（山内）庸子
27 小野田勝哉
27 久保田法順
27 下脇一博
27 三木正夫
27 三木（山本）昌枝
28 後藤（木村）泉
28 松原　浩
28 横山博史
29 森野（池添）有希子
29 田中（山崎）久美子
31 南場（曽田）祥子
32 及川英一
32 妻鳥克昭
33 安井弘之
34 川口（一番ケ瀬）洋子
34 藪内亜紀
35 島田郁子
35 高尾（三木）敦代
37 野間（榎本）了子
37 武藤宏幾
38 汐田直美
39 谷田川（般若）優子
43 BLAKE（四宮）聖子
43 内藤早智
44 前川（今元）裕美子
47 古川美晴
大P
14 川島孝夫
15 山尾　進
16 香川英明
20 芝野松次郎
20 長塚　匠

大P
22 石田義博
22 泉　四郎
24 遠藤比登志
25 泉（安達）るみ子
25 日比　隆
26 宮原武文
27 浅山（西）三津枝
28 吉田（大見）多恵子
28 松井俊一
29 志茂（小方）智子
33 野垣（清松）和美
35 結城　徹
37 米田（森田）豊子
40 五十嵐（井上）美治子
41 毛利仁美
42 高橋（貞利）厚江
43 佐藤慶一
44 平尾祐美
E
20 飯田一生
22 松原房夫
23 隅田周治
25 中江吉三郎
26 金井　清
26 由里正雄
大E
1 浦木一郎
1 東條（太田）喜代子
1 片山　黎
1 笹井常三
1 正保富三
1 柴田千蔭
1 玉城勝也
1 福本太一
1 武田（藤岡）暢樹
1 本多謙一
2 加田吉晴
2 釜谷研造
2 西田喜一
2 宮浦　博
3 伊藤保一
3 岩崎英夫
3 奥村和巳
3 金山弥寿雄
3 好田　實
3 齋藤　尚
3 高岸敏雄
4 堀江幸夫
4 森　茂
5 土井（植村）哲司
5 大久保孝博
5 清水　誠
5 馬場弘行
6 金川弘美
6 日下寛治
6 清水重雄
6 田代圭治
6 田渕弘通
6 六藤隆夫
7 井口　毅
7 礒崎豊一
7 伊藤豹一郎
7 岩崎嘉蔵
7 河盛龍三
7 岸田　洋
7 芳賀直美
7 箱木眞澄
7 福岡正彦
7 藤田欣吾
8 浅野　弘
8 石井純一
8 出原　勲
8 井上善二
8 小笠原茂喜
8 菊井忠雄
8 阿部（佐々木）祚子
8 清水正治
8 竹中　弘
8 松尾尚治
8 屋敷　潔
9 網本保榮
9 氏家重幸
9 大石義之
9 小和田晴康
9 住江　漠
9 高木成佳
9 宮川（中嶌）長生
9 服部昭光
9 芦澤（森）幸子
9 横関静雄
9 孝橋（吉田）明子
10 大西駿二
10 小川眞一
10 片岡利昭
10 高野益行
10 丹野哲男
10 荒木（新田）泰子
10 西村茂忠
11 板橋宏昌
11 弓庭（大景）喜和子
11 木戸淑夫
11 坂口正行

年会費支払者・賛助金寄付者一覧

年会費のお支払い、賛助金のご寄付ありがとうございました。
※ は年会費と賛助金の両方を納入いただいた方です。ご協力ありがとうございました。

大E
11 佐治洋一
11 少徳敬雄
11 伊達正幸
11 中川　隆
11 仲地弘善
11 西尾　齊
11 西村泰作
12 浅井正博
12 山邊（上田）利正
12 岡崎邦夫
12 中村明人
12 長谷川清
12 松田　聰
12 武藤禎雄
12 茂籠昭男
13 舟阪（池田）洋子
13 田村（植松）喜美代
13 高井　忠
13 辻　斌
13 出口健治
13 村上　光
13 横山憲次
14 今本芙佐子
14 小林　烈
14 篠原昌彦
14 常深建雄
14 上（藤崎）弘子
14 黒田（真屋）好子
14 吉川千鶴子
15 伊東昭廣
15 佐々木康治
15 井上（冨田）泰子
15 長尾和壽
15 足立（西本）幸枝
15 穂積健次
15 松本　博
15 村山久二子
15 吉田征子
16 今城（小田）八洲子
16 小林正受
17 上杉（佐藤）千代子
17 長谷川和久
18 井上晶二
18 坂本俊弘
18 八木　一
18 吉田久夫
19 岡嶋正雄
19 藤岡　繁
19 船戸誠一郎
20 小泉（稲山）明紀子
20 交野正隆
20 河端省三
20 須藤眞一
20 田中（曽根）美佐子
20 平井（太尾）佳代子
20 宮里　護
21 上野隆男
21 知念絹子
21 十名立己
22 藤岡（上田）和代
22 奥野忠徳
22 高田信證
22 高橋博一
22 谷渕初枝
23 樋口正次
24 田中（藤井）容子
25 高井知二
25 林　雅則
26 上山光夫
26 讃岐（小倉）紀久子
26 平田（金田）廣子
26 清水　隆
26 千代田（仲野）啓子
26 村上堅治
26 山崎紳治
27 味岡保雄
27 大橋章子
27 窪薗晴夫
27 田中正博
28 橋本（松林）かほる
27 吉川靖弘
28 小林信彦
28 横田（竹内）優子
28 山尾（松原）好子
28 宮島早苗
29 立石（小堀）光子
29 山岸（渡辺）由加利
31 朝戸理恵子
31 伊丹　豪
31 永井　晃
31 永山　隆
32 池本（小栗）淳子
32 立川（弾）美江
32 中路　亨
33 石井和夫
33 秋田（泉）佳子
33 松井（井本）洋子
33 宮本（梶浦）直子
33 金山亮太
33 小坂（土本）晋子
33 畝岡（中川）栄子
34 岡田昌代

大E
34 多田昌美
34 田邉（濱田）裕紀子
34 間崎敦子
34 檜垣（山本）美保
35 明吉正知
35 児玉（尾上）知嘉子
35 岡嶋（片岡）浩子
35 伊藤（長谷川）直子
35 華田克則
35 森岡佐紀
36 百留秀宗
37 梅迫（池辺）陽子
37 浅野（白井）元子
38 金野（岩井）千春
38 浅野（梶村）千世
38 鐘ケ江慎司
38 平田朋絵
38 古本剛之
38 横瀬克之
39 吉本憲司
40 村田（木津）育子
40 小坂征史
41 金子　晃
41 佐々木愛
41 井川（中村）千穂
41 横田幸恵
42 田中裕幸
42 友田（中澤）佳代
42 平（濵）美由紀
42 松原陽子
43 小林知博
44 塚本（見座）めぐみ
46 瓜生（樽林）雅代

D
21 堀　秀光
23 寺澤健治
23 山尾昭一郎
26 金加行雄

大D
1 塩路　稔
1 藤原兼夫
4 久保章雄
4 三野達夫
5 畦地敏則
5 西　彰
5 正木（野村）和代
6 河上秀夫
6 北尾利夫
6 清水大三
6 曽田廣治
6 西川　統
6 保田武司
7 安田正宏
8 岩中秀雄
8 大塚　享
8 藤田友彦
8 望月敬三
8 渡辺彰子
9 大西　宏
9 鈴木庄太郎
10 尾子　明
11 松本（本多）ヒロ子
11 森下修一郎
12 永井龍太郎
13 松島憲三郎
14 木本泰臣
14 松永秀夫
15 岡田三郎
15 三木達也
16 高井桂三
16 平野　直
16 吉川昌宏
17 貴田昭和
17 春名幹男
18 高岡寛治郎
18 津田眞人
19 大塚敏雄
19 白岩　修
19 辻（飯銅）みち代
21 飯尾尚一郎
21 分林寛三
22 佐々木修三
22 石野（高竹）伸子
22 小笠原（洞井）保夫
22 水谷　等
22 村山（吉野）恵美子
23 小田切（森田）邦子
24 片山俊介
24 岡田（川勝）真水（真美子）
25 遠藤　裕
25 高池久隆
25 中山敏朗
27 小山（川渕）真由美
28 金井孝明
28 中原明彦
29 木村真也
29 安井昌子
30 STANKIEWICZ（大村）雅子
30 津田治彦
30 橋本圭司
30 山本直光
31 中西雅代

大D
31 平井博英
32 小笠原純二
33 松居洋司
34 高見（大谷）素子
34 油谷（村山）真美
36 宮田（長瀬）恵子
36 平井直文
37 津村（岩崎）綾子
37 上林（橋本）美也子
40 竹中（小谷）優子
41 岡部憲明
42 藁科（菅）奈津子
43 佐藤（金平）真由美
43 岡部（中原）夕紀

大DM
18 荒木和夫
20 藤嶋照夫
20 宮辻政夫
20 望月（宮本）みどり
21 岩瀬正一
24 瀧川義章
24 中島裕司
25 渡邊（菊地）雅子
25 若松（後藤）君子
25 中野　均
27 齋藤安弘
27 宮嶋京子
28 樽田良和
29 山本俊博
30 古沢嘉通
30 奈良岡（松田）明子
32 松野（於勢）世央子
32 箕浦（箕浦）まゆみ
33 中川聡美
35 高橋真理
36 田邉　欧
38 近藤（松行）香奈子
40 伊藤晴彦
40 岩佐托朗
41 石黒　暢
41 澁谷（島田）尚子
41 奥寺（山口）友子
41 桜井（渡辺）史子
42 北嶋（尾崎）三喜子
42 越前（門脇）亜紀子
43 中村友紀
43 井形（原田）真理子

F
21 福田玲三
22 斎藤　裕
26 弦川　功
26 塙　省造
27 岩崎義親

大F
1 赤木（浅野）富美子
1 日台（中村）松子
1 村井茂昭
2 高輪　琢
2 原　勇
4 並川（大兼）正江
4 金田靖夫
4 竹中清蔵
4 寺村　武
4 三好憲治
5 野田健史
5 原田　修
6 恒成喜久子
6 廣岡幹雄
7 石川邦彦
7 小川丈治
7 酒井　斌
7 千布正人
7 長山泰利
7 山根　徹
8 青野光裕
8 井田憲之
8 鈴木謙輔
8 堂本三代子
8 福知　忍
9 高倉信雄
9 長縄正治
10 大藤　勲
10 高井光子
11 大西　弘
11 千田　享
12 岩瀬清浄
12 丸山一朗
13 高木嘉彦
13 古畑　功
14 星野（猪口）道子
15 門田海婦子
15 成願紘一
15 加藤（中野）豊子
15 松本俊史
15 山﨑壽雄
16 朝妻（乾）和子
16 高畑千秋
16 横手（山崎）真理子
16 仲本（山本）邦子
19 神崎康彦
20 杉本和恵
20 宮川文子

大F
21 坂口（谷口）善子
22 谷尾毅司
24 安部誠治
24 京極（冨善）洋子
24 森際克子
25 上田（福田）伴子
26 奥田一夫
26 大亀（冨田）恵子
26 興石（永見）美和子
26 吉田（松本）潤子
27 内山浩二郎
27 西尾啓子
28 井出（樽井）直美
29 板垣（大川）公子
29 中川（櫻井）圭子
31 安藤利恵
31 櫻木（的場）ちえ
32 井上博之
33 中林（木野）いさ子
34 井辻敦雄
34 長尾達浩
34 巻田由利
35 今村（橋本）祐子
36 喜多（小畑）美葉
37 江口　豪
37 松尾孝治
37 宮下昌之
37 脇坂敏和
40 藤原（城口）智子
40 宮里綾子
41 斉藤きょう子
43 奥井（岡本）純子
43 太田（藤田）英恵
43 矢加部桜
45 神野順子
45 吉開秀勝

大IT
20 谷尾（白土）裕子
21 金子研二
21 小南重治
21 永田一憲
21 永野雄造
21 松本（横手）美知子
22 粟野修司
25 西村（小松原）秀也
28 松宮良衛
29 吉川（鴨井）由香利
30 尾形希和子
30 松田博安
32 野﨑（仲井）一恵
33 藤尾（野田）恵子
35 大桑景子
37 吉田（林）孝子
38 清水記行
41 清野（坂根）弘美
41 信田（田邊）阿芸子

S
21 寺田　傳
24 山田善郎
26 橋本彌壽男
27 並河秀夫
27 西村貞夫

大S
2 入江則嘉
2 田辺寿夫
2 中居篤也
2 中原孝三
2 松永和泰
3 玉利　虹
3 長谷川匡則
3 丸木正登
4 青木良夫
4 竹原順三郎
4 本多祥二
4 三宅正澄
4 木下（渡辺）昭男
5 川上武男
5 首藤正登
6 稲永丈夫
6 今西統衍
6 北川浩司
6 木村義彦
6 高橋一三
6 内藤秀彦
7 中野正治
8 石原正紀
8 応武善登
8 清水忠彦
8 多田　脩
8 中澤芳弘
8 桧垣　修
8 三宅　敬
8 和田　衛
9 辻田義尚
9 津森健吾
9 中島康憲
9 早川幸夫
9 原　秀雄
9 平島彬伸
9 平間　茂
9 山本紘八郎
10 今川（一見）彰男

大S
10 川瀬光彦
10 鈴木宏吉
10 中田公司
10 中村邦雄
10 西川　進
10 根岸史修
10 馬場承平
10 東谷穎人
10 広瀬彰彦
10 八木三木男
10 山口勝三
11 庵原專三
11 岡本耕蔵
11 小畑克之
11 小上馬昭雄
11 新出武雄
11 杉山　晃
11 高島陸雄
11 中山弘之
11 福田忠紀
11 前田直明
11 三神　徹
11 山本幹雄
12 小笠原幸治
12 永田憲一
12 三浦　鴻
12 安野正起
12 横山俊明
12 吉永行夫
13 石川善夫
13 市川英二
13 貝谷安宏
13 大倉（上島）美和子
13 酒井（鬼頭）礼子
13 阪本好伸
13 細　英機
14 柴田　進
14 本城　清
14 満谷康治
14 三好準之助
14 久保（吉川）義昭
15 西原　宏
15 西村信勝
15 森本（宮崎）勝幸
16 鈴木惟司
16 西野　誠
16 土屋（久谷）育子
16 平田任敷
17 板村哲也
17 中川裕二
18 阿部能成
18 石橋伸夫
18 上脇武子
18 田中正明
18 中塚博己
18 波田典亮
18 藤岡慎弥
19 亀井廉幸
19 河嶋正之
19 小林士郎
19 諏訪忠泰
20 芦田正裕
20 岡本　修
20 下郷（北浦）幸子
20 瀬山（小山）博子
20 下郷義男
20 瀬山雅博
20 田中清二
20 波田（渡辺）淑子
21 石田新一
21 杉本重雄
22 足立明洋
22 亀田陽一
22 下村孝夫
22 轟　俊一
23 井上　明
23 石川（内田）知草
23 児玉益夫
23 竹田晴仁
23 長野　稔
23 山下裕己
24 東雄二郎
26 入矢玲子
27 植田（千馬）友子
28 小田真奈美
28 藤井尚平
28 笹尾（松岡）久美
28 佐藤（松永）美子
29 加来由美子
29 斉藤達郎
29 片桐（龍田）眞美
29 芳賀麻里
29 福嶋　寛
29 岡本（宮崎）晶子
30 梅澤美香子
30 恵崎政裕
30 小松正伸
30 大島（廣岡）玲子
32 久米川（清水）みどり
32 三浦（野口）由香里
32 牧本成俊
33 久保田（我孫子）昌栄

大S
35 宝徳　修
36 鈴木正士
37 石倉博
37 河田（濱田）明代
39 岩田美代子
40 青木（上野）宙美
40 伊東（大谷）ゆかり
40 荒川（古川）恵子
43 苗村（谷岡）伸子
44 加藤（杉山）真紀
45 小谷（井上）晶子

大PB
31 長野（妹尾）久美子
38 伊藤淳一
40 野川朋香
42 軽込　郁
44 鈴木（中西）恵子

R
23 木村明生

大R
2 和田政雄
4 小野　堅
4 舟橋弘美
6 安井祥祐
7 中林速雄
7 宮田敏郎
8 金谷康夫
8 塚崎義弘
8 手島清之助
9 坂田　愷
9 山口一光
10 坂下善亮
10 杉本広道
10 松村孝一
11 笹井明夫
11 陣内卓一
11 濱田（古海）ケイコ
11 馬野喜夫
11 山野善生
11 横井弘昌
12 太田武男
12 藤川昌良
12 藤本和貴夫
13 柴田重徳
14 岡田尚三
14 西岡定美
14 田中（前川）富子
15 岩浅武久
15 田原佑子
15 渡辺　昭
18 大東健治
18 尾藤義弘
19 松原繁生
19 丸尾光子
19 山之内重美
20 稲富哲夫
20 三枝　仁
20 牧野（山口）晶子
20 吉岡伸一
20 吉嶺恵助
21 岸本直己
21 中村友則
22 江尻博秋
22 幸田正章
22 中村（椹木）咲子
23 太田定次
23 二神（岡本）美枝子
23 内田（中西）幸代
23 中根進吾
23 片山（松村）ふえ
24 上田哲也
24 白鳥（山根）由美子
25 宮下（城近）知子
25 高木　亨
25 堤　雅昭
25 佐伯（湯川）晴子
26 八木（大山）ゆり子
26 高橋　修
27 河井（小川）洋子
27 松平（麴谷）桃子
28 西郷（青木）佐登美
28 岩崎公徳
28 土居本稔
28 山田　誠
29 川辺　亮
30 藤林（土田）容子
31 中本（川崎）浩美
32 中松基史
32 橋本晃壮
32 白井（福井）元子
33 吉田（仲西）圭子
33 鍛治谷（吉野）真理
34 宮崎（河島）乃里子
34 誓山祥子
34 藤本敦朗
34 山口（前田）直美
34 宮永祐子
35 生駒尚美
35 崔　泰秀
35 高尾　潤
35 平井（馬場）冬至子
36 根岸　勉

大R
36 松尾美喜
36 松本美保
36 光島（森本）真由美
38 鐘ケ江（岡本）美津子
38 風間　斉
38 長尾俊一
39 河尻慶子
40 大西（隠岐）理津子
40 小関慈治
40 堀内（齊内）明子
42 宮澤純子
43 三島（小原）桃子
43 野上（角南）佳子
45 飯井　巧
45 稲葉（上条）美和子
45 依田（佐藤）貴子

大J
39 嶋田かをり
39 西野入リサ
39 山下（福野）ますみ
40 及川（日下部）京子
40 古谷（柳田）奈緒子
40 山本邦博
41 鈴木聡司
41 横山（宮）早苗
43 高橋　彰

言語大
45 織田淑子
47 胡内（氏家）真美
47 柳澤（大森）和恵
47 株本義久
48 佐々木（大平）未来
51 安居さやか
52 柴田恵子
56 雨堤円香
55 津田幸乃
56 高岡百合恵
57 梅谷　綾
57 井川（渡部）亜希子

日本語大
46 山口しのぶ
47 東爪絵里
49 坂西（栗木）真由美
52 五十嵐小優粒
53 勝間真由美
57 村田（杉山）唯
57 堤野圭子
58 若井（今出）夏唯
59 村上絢美

比較大
45 井上真里
46 大津英子
46 岡美穂子
50 角南圭祐
51 高梨美和
52 林（高見）真美子
52 神内（田中）千絵
58 原真紗美
59 久米川綾子

国際大
46 栗本篤志
48 青木（高畑）あいこ
48 八木（高見澤）恵美
48 三上（藤川）祐子
49 角本義憲
49 藤井俊宏
51 本田友子
53 安岡あずさ
54 田端篤史
54 野上（藤江）智美
58 作田大樹
58 三輪（畑）陽子

開発大
47 金行抄穂
51 田村由美
51 真砂周子
58 山島あゆみ

大C
45 海老名健司
45 越智雅代
46 青木里菜
46 川越宗一
46 濵島千裕
47 高田（栗沢）真紀子
48 高根（南本）円理
49 浅野（大塚）恵子
50 佐野（黒竹）淑子
50 榎本（吉村）佳
51 北崎（北川）美玲
51 濱田寛子

大C
52 泉谷晴香
52 西　文也
53 石崎浩司
53 山口大輔
58 吉岡康代
59 平井友梨

大K
45 酒井（福田）さおり
48 朝長　綾
55 山本佳奈
58 藤井（金岡）歩美

大M
45 森矢栄子
54 島村（三木）聡子
58 中瀬瑛太

大IN
51 藤田（木塚）裕子

大PH
51 中田（横井）さやか
56 美馬香都子
59 武部政希

大T
52 渡部　結
53 中島勇輔

大V
53 井筒（柳坂）京子

大B
45 幸村（久保）成美
57 久我勇人

大H
56 塩見知代
59 裙　麻耶

大U
45 中安貴美
46 多喜大祐
60 松本　航

大A
46 堀尾明子
47 吉岡（牛嶋）明子
54 塚田俊介
55 佐藤　航
56 澤越（島川）智恵
56 牧野充江
57 高橋留唯
57 古井憲行

大P
48 深澤（澤田）育子
52 川村由加里

大SH
46 窪田（金子）明香
46 村上幸実子
48 浅川（吉岡）忍
50 香川（深谷）香奈
51 中山依子
55 田上未紗
56 山瀬靖弘
60 中尾麻里

大R
48 嶋田（南本）容子

大HG
50 加藤友子
55 村上（分銅）朝美
57 松本陽大
58 森下友里加

大DM
49 鎌倉（福島）容子
50 高柴（青木）加奈子
50 前田順子
51 伊部勝俊

大SD
45 近藤めぐみ
47 神田（加藤木）佐和子
49 吉田麻衣子
51 津田和子

大D
45 牧野喜弘
46 大村比香留
46 坂井（幸地）晶子
46 森本安紀
50 菊地一恵
55 平石（鴨居）美歩
56 奥村直敏
57 永尾真美
58 横山祐美子
59 森（渡邊）麻奈

中北欧大E
46 長谷川江奈
49 中村由紀子
50 田丸一総
56 松井（青木）奈津子
59 深谷沙緒梨

大F
45 浦本　華
47 荒井（村尾）綾子
50 栗山裕美子
52 溝口由里子

大IT
53 奥村佳之
56 波多野亮介
56 山中　匠
57 宿院美里

大F
57 蜂谷知花
58 白神（岩本）真里依
58 冨田沙織

南欧大S
60 源五郎丸遥
60 平松めぐみ

北米大E
45 天野貴史
47 伊東大輔
47 木村憲治
47 川島（草間）紗織
47 中谷信彦

北米大E
47 森川（前田）晃江
54 清水（張）君恵
59 奥村麻衣子
60 森下修平

中南米大S
45 原田（小林）由子
48 中村　健
50 谷口（福島）由樹子
54 村田喜庸

中南米大PB
57 海住知里

阪大C
3 谷川綾佳
4 小西拓馬
4 齊藤寛乃
5 鳥羽加寿也

阪大K
2 土居沙希子
4 安野莉加
5 木村友美
5 溝口菜津美

阪大M
1 長谷川奈美
3 田中　力

阪大IN
3 八木昭彦

阪大T
1 伊藤　彩
5 川谷真以
5 堂前佑輔

阪大V
2 大西正也
4 畔取亜矢乃

阪大B
5 村中澄怜
6 片寄有紀

阪大U
2 福山（廣川）紗弓
3 有年孝将

阪大A
2 川口奈穂
6 今中里佳子

阪大SH
4 川村明日香
4 坂野清香
6 高波巧実

阪大R
4 永沼栄理子
5 中野満里奈

阪大HG
3 吉田光輝
5 大貫瞬治

阪大DM
4 畔柳祥子
4 椀田明子

阪大SD
3 菊地　灯

阪大D
1 能勢尚子
4 上本（阿部）明希子

阪大E
2 市毛奈都美
2 笠嶋祐志
2 島田和広
2 中尾友美
3 河内（西本）啓晋
3 吉中真優
5 磯　智憲
5 黒田絢香
6 福本広光

阪大F
2 長谷佳菜子
3 北村　彩
5 中上奈苗
6 和田祥子

阪大S
4 七條憲正
4 鳥生知美
4 森山みのり
5 廣瀬由奈

阪大PB
2 鈴木恵梨子
4 山本真悠子
5 清水沙季

短C
1 泉　清二
5 譚　振勲

短E
1 林　昌也

短E
1 水本敏司
1 吉岡正道
2 神田紘道
2 堀内（桜島）佳久
3 岡本　剛
3 佐々木淳子
4 呉竹　正
4 森　健蔵
5 佐野仁紀
5 シュミット（田中）澄子
6 井上文男

短D
2 古賀昭良
3 金子和彦
4 久國宣弥
5 藪嘉壽男
6 砂田芳一

短F
2 乾　昭
4 仕田原（三宅）順子
5 豊田英男

短S
2 佐竹節寛
4 峯松（川上）順江
4 太原（林）好子
5 梅田　勲
5 大下勝巳

短R
2 春名（比嘉）邦子
5 林（岩田）省治
7 大嶋（板並）厚子

IIC
1 幸　英隆
2 福島勝彦
5 三次召尚
11 林　沢松
11 薮中（鷲尾）恵美子
12 田中（河合）増子
13 田中秀治
13 南　健治
13 三村　勝
14 西村誠志
16 村上大洋
18 伊皆修一
20 井村　隆
20 古川季靖
22 今村増徳
22 広川由美
23 小島洋子
27 瀧本文治
28 常　義宏
29 堂山綾子

IIE
1 住吉正行
1 古澤英一
2 石川定義
2 野村信二
3 茂木（土屋）文子
3 西出恵子
6 小泉賢一郎
8 西田達昭
10 金村義夫
10 黒木一吉
10 斉藤雄司
11 吉田千秋
12 高瀬博之
13 川本勝生
14 松田　修
16 高橋直樹
18 岡内（冨永）三重
19 松本（瓜生）多美子
19 椙　良樹
19 垰　美江
19 山崎千景
20 池永　洋
20 福原慶尚
21 福西浩光
21 西野（桝井）佳代子
24 井上芳子
28 高橋（月城）典子
28 中村　泉
28 森下明輝
30 宮田惠子

IID
2 飯代恒彦
2 高橋善介
2 西出誠作
3 栗原陽子
3 増田治生
5 柏原　豊
7 穴瀬一夫
12 石黒真一
23 福島宗史
25 竹内文彦
27 Mazur（大森）泉
28 藤田敏文
29 加来千佳美

IIF
1 井上洋治
1 細江伸典
3 杉田（水本）奈津枝

IIF
12 小澤文彦
12 宮山博光
14 清水（和田）昌子
19 遠藤（鈴木）正子
22 永田（棚橋）杉子
27 野本久美子

IIS
1 山川太三
2 浅沼（山崎）恵美子
3 山崎　詮
6 本山（郭）星求
6 桃井（北川）みち子

IIS
6 松本時恵
6 桃井　満
7 藤井広徳
10 近藤哲二
12 浅井延亮
15 仲谷喜代子
17 近藤孝一
19 植田竜也
23 森田（北尾）文枝
27 菊本孝一

IIR
1 吉川顕麿
4 大北義郎
8 出口（山地）聖子
9 小澤正三
14 尾崎　茂
18 戸田雅久
26 韓　南洙

言語夜
28 山下（岩浅）麻利子
30 小野佳子
30 日野文子

比較夜
30 中道望美
30 山田眞介
35 坪根公平
37 東　清司

国際夜
28 梅山　文
32 宇野聡宏
35 古永敬一
36 長谷川真
37 尾高絵理

夜C
31 倉澤（式部）登詩子
32 岩永浩一
32 堀澤良充
33 春日厚子

夜R
31 黒住明子
32 楠（平井）晶
4 藤原智美
37 加納聖子

夜D
34 浜崎美樹

中北欧夜E
30 富永（鄭）真己
38 野木剛子
39 堤真佐美

夜F
36 内田育子
42 後藤　峻

南欧夜S
29 金森暁世
36 宇谷直樹
43 吉村卓也

北米夜E
36 広井康延
37 大山之夫
中南米夜S
29 有澤恭子

院C
1 是永　駿
15 谷川　毅

院K
27 高橋　学

院TV
23 野津（寺本）初美

院IP
19 山根　聡

院A
11 藤井章吾
22 竹村景子

院P
27 竹原　新

院E
5 樋上　勲

院D
2 友田舜三
7 楠根重和
16 福元圭太
27 吉澤早苗

院F
10 福本逸美
15 安慶名操

院S
4 山蔭（蔭山）昭子
11 東　明彦

院R
1 東井（岡谷）充子
10 寺田吉孝
20 須佐多恵
21 西川啓子
22 上原順一

院J
16 寺尾（渡邊）裕子
22 脇田里子
28 橋本佳美

院前東ア
1 宮崎いずみ
3 栗田靖子
11 井口年子

院前東南ア
5 宮井芙実子
8 矢元貴美

院前アジア
4 笹尾幸子

院前中北欧
2 有福美年子
4 秋山實子
7 大辺理恵
8 久保田勝己

院前南欧
2 北岡久嗣

院前アメ
11 川邊靖子

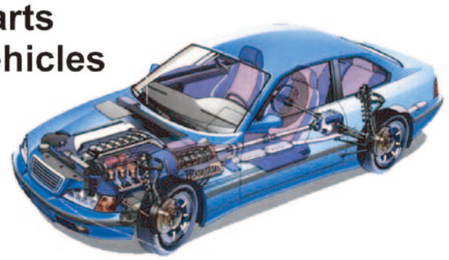
院前日本
7 ミグリアーチ（下園）慶子

院後言語
3 日野みどり
4 森　庸子
9 脇坂（佐々木）洋子
◆ 団体
七英会
◆ 大J
笹川史絵
◆ 大C
奥　詩織
面出　望
◆ 大K
下田崇生
◆ 大M
岸田直昂
田代　遥
森山賢美
有本佳代
◆ 大INV
岡崎早希子
◆ 大V
中野聡美
松本愛子
山里啓太
◆ 大B
遠藤加菜
◆ 大H
清水結衣
富沢　和
◆ 大U
豊田倫央
◆ 大A
中村朱里
東良純那
花崎　陸
柴　秀喜
石津　彰
◆ 大P
加納千聖
寺岡美咲
奥田智子
◆ 大SH
長野文香
◆ 大R
中村咲絵
◆ 大DM
増田歩実
伊勢田如奈
柳岡敬吾
◆ 大SD
福井祐美
岸本絵里香
◆ 大D
玉置朋祐
今井博之
七條浩正
◆ 大IT
佐藤奈津子
伊藤　卓
橋場汐海
◆ 大E
谷岡翔平
濱田祐輔
石井秀平
瀧口将司
塚本千尋
藤本雅恵
◆ 大S
土肥慎吾
森葉太郎
金戸亮馬
◆ 大PB
奥野仁美
渡辺　格
泉谷梨彩子

※卒回の前の「◆」は、在学生です。

咲耶会（同窓会）本部・支部一覧表

本　部	会　長	連絡先		E-mail or TEL/FAX
	少徳敬雄 (大E11)	事務局	〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1 大阪大学外国語学部内	TEL&FAX (072)728-2327 sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp
支　部	**支部長名**			
北海道	喜多義憲 (大M20)		〒062-0901 札幌市豊平区豊平一条3-1-33-1003	yokok@22351@gmail.com
東　北	黒木一吉 (ⅡE10)			kukoki@o-bb.net
		中村勝彦 (大M34)	〒131-0046 東京都墨田区京島1-38-1-917	nakamura.shokado11@gmail.com
東　京	青野光裕 (大F8)	樽井一仁 (大R23)	〒114-0003 東京都北区豊島5-2-20-1603	taru2742@yahoo.co.jp
静　岡				
名古屋	塚崎義弘 (大R8)	白岩　修 (大D19)	〒465-0066 名古屋市名東区梅森坂西1-801-107	shiraiwa1123@yahoo.co.jp
岐　阜	安田哲司 (大IN30)		〒501-6241 羽島市竹鼻町2980-13	changer_lavie_cpta@nifty.com
石　川	楠根重和 (院D7)	吉田孝子 (大IT37)	〒921-8171 金沢市富樫1-10-4-601	taka5yomako@gmail.com
福　井	山下裕己 (大S23)	森　　茂 (大E4)	〒910-0002 福井市町屋3-25-23	irom@biscuit.ocn.ne.jp
京　都	宮川督三 (大S16)	西尾　齊 (大E11)	〒606-8404 京都市左京区浄土寺下南田町70	dkals108@kyoto.zaq.ne.jp
奈　良	神谷忠雄 (大E4)		〒630-8424 奈良市古市町31-32	mahoroba-nara-kamitani@iris.conet.ne.jp
大　阪	金村義夫 (ⅡE10)		〒540-0012大阪市中央区谷町1丁目7番3号 天満橋千代田ビル	ykanemun@forest.ocn.ne.jp
神　戸				
播　但	釜谷研造 (大E2)	岩田正美 (大R28)	〒675-0053 加古川市米田町船頭401-54	masayoshi_iwata@pref.hyogo.lg.jp
丹波市	岸田　功 (大IN15)		〒669-3309 丹波市柏原町柏原47	rskq59484@zeus.eonet.ne.jp
香　川	小林　立 (大C8) 代行	小野　博 (大E5)	〒760-0004 高松市西宝町2-3-14	TEL&FAX (087)862-0836
徳　島		小田敏治 (大IN21)	〒770-0003 徳島市北田宮3丁目2-34	tom_oda@emn.ne.jp
愛　媛	上田　稔 (大K19)			cogwayueda@yahoo.co.jp
		岡井眞知子 (大D45)	〒791-8025 松山市衣山1-238-4	tenderlovedragon@gmail.com
高　知				
岡　山	草野　徹 (大DM23)		〒701-1221 岡山市北区芳賀5112-98	akirakusano0319@i.softbank.jp
広　島	楠見昭二 (C25)	山岡　哲 (大IT20)	〒733-0814 広島市西区己斐西町19-37	yamaoka@tosc.co.jp
鳥　取		長本喜夫 (大R4)	〒680-0013 鳥取市江崎町47	TEL&FAX (0857)22-5771
福　岡	吾郷健二 (大S10)	中尾史子 (大IN27)	〒815-0083 福岡市南区高宮2-18-12-501	hirako@lisa.co.jp
熊　本	かじえいせい (大S21)		〒861-2405 熊本県阿蘇郡西原村出の口1547-1	dreamincountry@gmail.com
宮　崎	近藤哲二 (ⅡS10)		〒880-1101 宮崎県東諸県郡国富町大字本庄1702-2	tkondo53@yahoo.co.jp
沖　縄	金城　徹男 (ⅡD5)	尾形希和子 (大IT30)	〒903-0812 那覇市首里当の蔵町1-4 沖縄県立芸術大学　芸術学専攻	k-ogata@okigei.ac.jp
北　京	中嶋清治 (大C21)	斉藤恵美 (大C44)	(送付物宛先) 100044 中国北京市海淀区首体南路6号 北京新世紀日航飯店写字楼1256室 北京首旅日航国際酒店管理有限公司 佐藤理恵	doragonpekin@yahoo.co.jp
上　海	渡邊　洋 (大C29)	河野由香 (大C55)	200030 中華人民共和国 上海市斜土路2897弄50号 南3B-2, 書楽工業園内	you_xiang78@yahoo.co.jp
香　港	太田明雄 (大IT26)	小林敏子 (東アジア大C57)	(送付物宛先) Flat 9B, Chuen Fat Building, 9 Valley Road, Ho Man Tin, Kowloon, Hong Kong	4styles.enterprise@gmail.com
ソウル	渡邊浩一 (大K35)		Daiwa Securities Capital Markets Korea Co., Ltd 20 Fl.&21Fl., OneIFC, 10 Gukjegeumyung-Ro, Yeongdeungpo-Gu, Seoul, Korea	kwatanabe@kr.daiwacm.com
ジャカルタ	内原正司 (大IN12)		JL. Senjaya 4, No. 2, Kebayoran Baru, Jakarta Selatan Indonesia	uchihara@sgl.co.id
マニラ	テンマタイ柴垣都喜代 (大E25)		# 16 Waling-waling St., Tahanan Village, Paranaque City, Metro Manila Philippines 1720	tsukiyotenmatay@gmail.com
バンコク	川村芳範 (大TV24)			kawamura-yoshinori@earth-chem.co.jp
		工藤　博 (大TV30)		kudo@technoresin.com
		阪本法子 (開発・環境大47)	Ms.Noriko Sakamoto #2007 Cape House Serviced Apartments, 43 Soi Langsuan, Ploenchit, Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330 Thailand	osakagaidaibkk@yahoo.co.jp
ハノイ外語会	勝原尚実 (大B24)		c/o Sanshin Vietnam JSC R401, 111 Mai Hac Ba Trung District, Ha Noi, Viet Nam	n.katsuhara@shikokucable.vn
ヤンゴン外語会		松島勇治 (大B27)	Kubota Corporation Yangon Branch No(25), Room-307, 3rd floor, Bldg(4), Yuzana Business Tower, Dhama Zedi Road, Myanigong, Sanchaung Townships, Yangon, Myanmar	centro318@gmail.com
ニューヨーク		石田佳子 (大D29)	230 East 44th Street # 3C New York, NY 10017 USA	yishida@rcn.com
ロサンゼルス	望月一郎 (大E25)		951 Kingsley Drive Arcadia, CA91007 USA	ichimochizuki@yahoo.co.jp
		西川ノーマン裕子 (大TV36)	4060 Alla Road, Los Angeles, CA 90066 USA	hirokonaumann@gmail.com
サンパウロ	平野　茂 (大S20)		Av.Amgelica, 727 Apto.72 Bairro Higienopolis, Sao Paulo-SP, Brasil CEP 01227-000	hiradesco@hotmail.com
		草薙綾子 (中南米大PB48)	Alameda Santos, 705-cj. 17-Cesar Sao Paulo-SP-Brasil-01419-902	wec@wecbrazil.com
ロンドン				
デュッセルドルフ	片岡　惇 (大S4)	小玉亜衣 (大D52)	Grenzstr. 33 40670 Meerbusch Germany	sakuyakai_dus@yahoo.co.jp
パ リ	松本隆男 (大F4)		c/o Mr. Takao MATSUMOTO 11 Rue Delabordere 92200 Neuilly / Seine France	matsumototakao@netntt.fr
ミラノ				
モスクワ	岩本　茂 (大R18)		c/o JAPAN TOOL SERVICE 119049 Ul..Korovij Val dom7, kv168 Moscow	iwamoto@jtools.biz
シドニー外語会		河原一夫 (大DM40)	45 Moree Street Gordon, 2072 NSW Australian	kawahara345@oki.com

motorix INTERNATIONAL
MOTORIX INTERNATIONAL, INC.
（モトリックス商事株式会社）
Worldwide distribution of auto parts
for Japanese vehicles

Web: http://www.motorix.co.jp
UMEDA/Isao　（短 S5/ 昭和 40 年卒）
YOGO/Tomoki　（南欧大 S49/ 平成 13 年卒）

平成29年度 咲耶会役員名簿

名誉会長	東　明彦	院S11	
会　長	少徳　敬雄	大E11	
副会長	宮崎　衛夫	大IN13	
〃	大水　勇	大C15	
〃	井上　泰子	大E15	
〃	樽井　一仁	大R23	
幹　事	加来洋二郎	大C10	
〃	藤本和貴夫	大R12	
〃	中塚　博己	大S18	
〃	白岩　修	大D19	
幹　事	三次　召尚	ⅡC5	
〃	西村　朋也	大TV22	
〃	青野　繁治	院C12	
〃	笹原　敬生	大IN27	
〃	河井　洋子	大R27	
〃	金村　義夫	ⅡE10	
〃	村上　忠良	大TV36	
〃	上原　順一	院R22	
〃	松本　健二	院S24	
〃	大辺　理恵	院前中北欧7	
幹　事	五十畑浩平	夜F37	
〃	山瀬　靖弘	大SH56	
〃	松藤　泰代	阪大E1	
大学役員	長谷川信弥	院S19	
〃	竹村　景子	院A22	
会計監査役	荒木　和夫	大DM18	
〃	亀井　廉幸	大S19	
相談役	磯田　良一	大IN3	
〃	池田　修	大A4	

『咲耶』編集委員会　**委員長** 井上泰子 ／ **委員** 上原順一・松本健二・大辺理恵 ／ **事務局** 八代田幾世・西田貞子・大熊美紀

◆ 個人情報の取扱いについて

咲耶会は個人情報保護法遵守の立場から会員個人情報については適切に扱うことが重要であると考えています。

○ 登録の個人情報は、下記の目的に利用します。
- 会員のデータ管理
- 総会・同窓会活動各種案内
- 会報『咲耶』の送付
- 各支部からの申請に基づき、当該地域のデータ提供
- 語科・同期会責任者からの申請に基づき、データ提供
- その他会則に基づく活動

○ 自己情報の提供は任意です。

○ 個人データの本人からの請求があった場合には、開示、訂正、追加、利用停止、削除を行います。

○ 同窓生情報のお問合せは、相手方会員の了解があった場合のみのご案内といたします。

○ 登録の個人情報は委託先も含め、機密保持に万全を尽くします。

編集後記

『咲耶』28号をお届けします。

2007年の統合から10年になる今年、「母校は今―統合後10年」のテーマで特集を組みました。大阪外國語学校の創設から100年近くの歴史の中で、この10年はまさに激動の時代であったと言えます。外大時代から受け継がれた教育理念、伝統や文化を、大阪大学という新しい土壌に根付かせ、大きく開花させるべく尽力された先生方には、当時のご苦労や母校の未来に託す想いを語っていただきました。一方、学生の意識に変化はあったのか、在学中に統合を経験した世代、阪大生として入学し卒業した世代、そして在学生の視点から、それぞれの学生生活を振り返っていただきました。母校の「今」から、変わらざる伝統と同窓の絆を確認し、伸び行く「未来」の姿を思い描いていただければ幸いです。

定番となっている「留学体験記」や「私のキャリアレポート」からは、母校が育んだ人材の多様性、豊かさに今更ながら驚きます。その逞しい行動力の源こそ「外語魂」であると考えます。会報『咲耶』を通じ、世代を超えて受け継がれる「外語魂」を伝え続けたいと願っています。様々な形での皆様の温かいご支援に感謝しつつ、その使命の大きさを改めて実感しています。

（編集委員会）

咲耶
会報 No.28（2017）

発　行　平成29年9月
発行者　**咲耶会（大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会）**
〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1 大阪大学外国語学部内 E棟1F
TEL＆ FAX：072（728）2327　E-mail：sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp
ホームページ：sakuyakai.net
フェイスブックページ：www.facebook.com/SAKUYAKAI
郵便払込口座番号：00910-7-21536　加入者名：咲耶会

咲耶会 メールアドレスおよび連絡先 QR コード

咲耶会 facebook QR コード